

# 介護者調査 編



## 4 介護者調査結果

### (1) 介護者の基本属性

#### 問35[34] 本人との関係

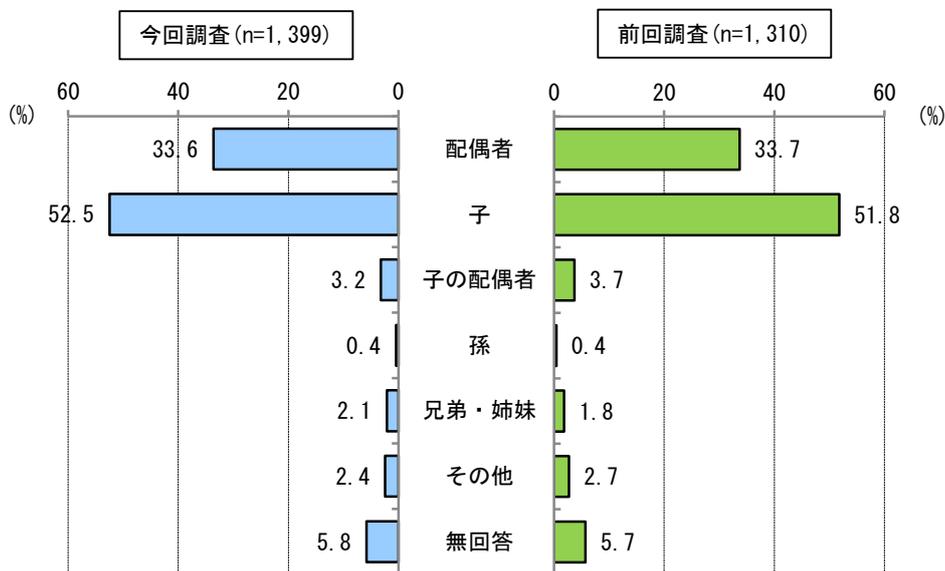
あなたは、ご本人とはどのような関係ですか。(○はひとつ)

サービス利用者本人との関係は、「子」の割合が52.5%で最も高く、次いで「配偶者」が33.6%、「子の配偶者」が3.2%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問35[34])

#### <A. サービス利用者>

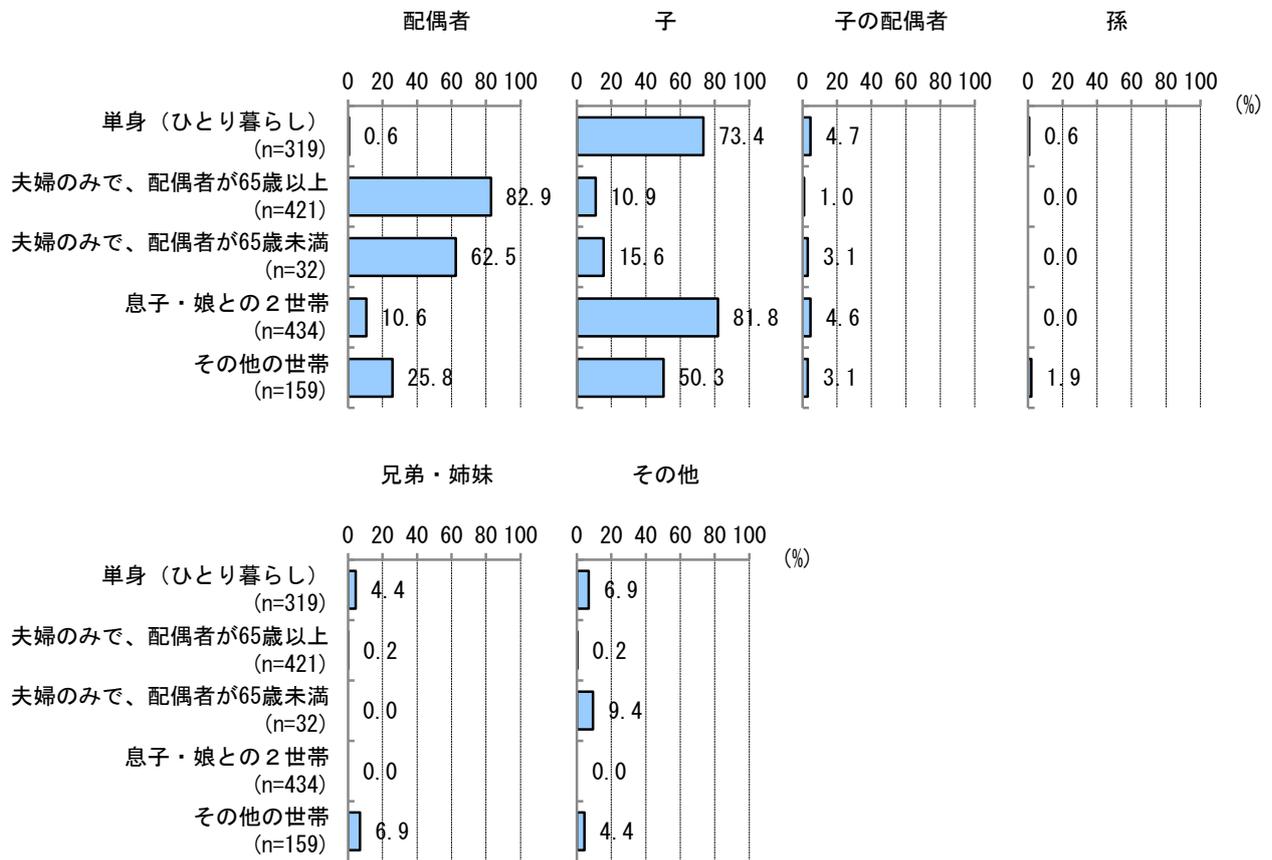
【A問35[34] 本人との関係（経年比較）】



【介護者調査】

世帯状況別では、単身（ひとり暮らし）世帯、息子・娘との2世帯の世帯、その他の世帯の世帯では「子」の割合が最も高く、夫婦のみ世帯では「配偶者」の割合が最も高くなっている。  
 (A問35[34]-a)

【A問35[34]-a 本人との関係（世帯状況別）】



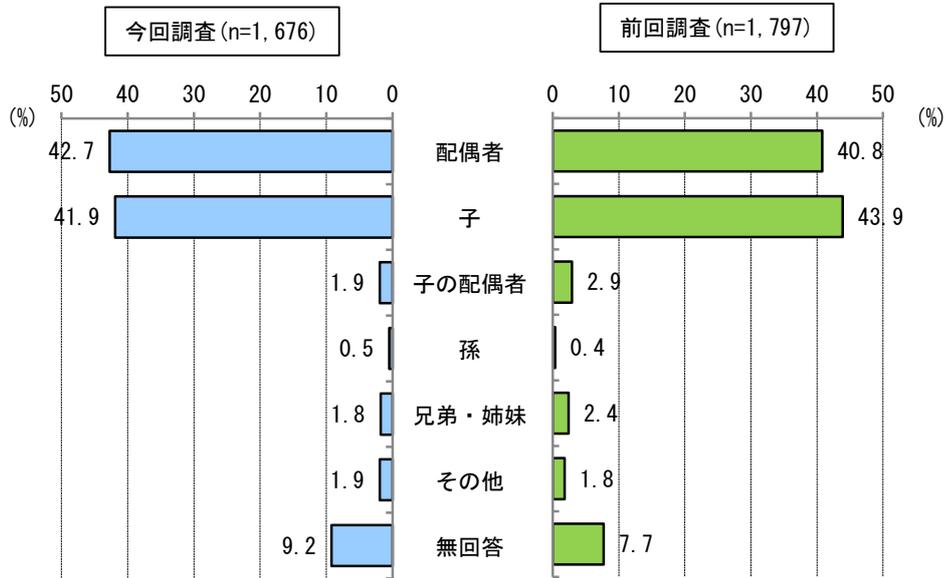
【介護者調査】

サービス未利用者本人との関係は、「配偶者」の割合が42.7%で最も高く、次いで「子」が41.9%、「子の配偶者」が1.9%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「配偶者」と「子」の順位が入れ替わっている。  
(B問35[34])

< B. サービス未利用者 >

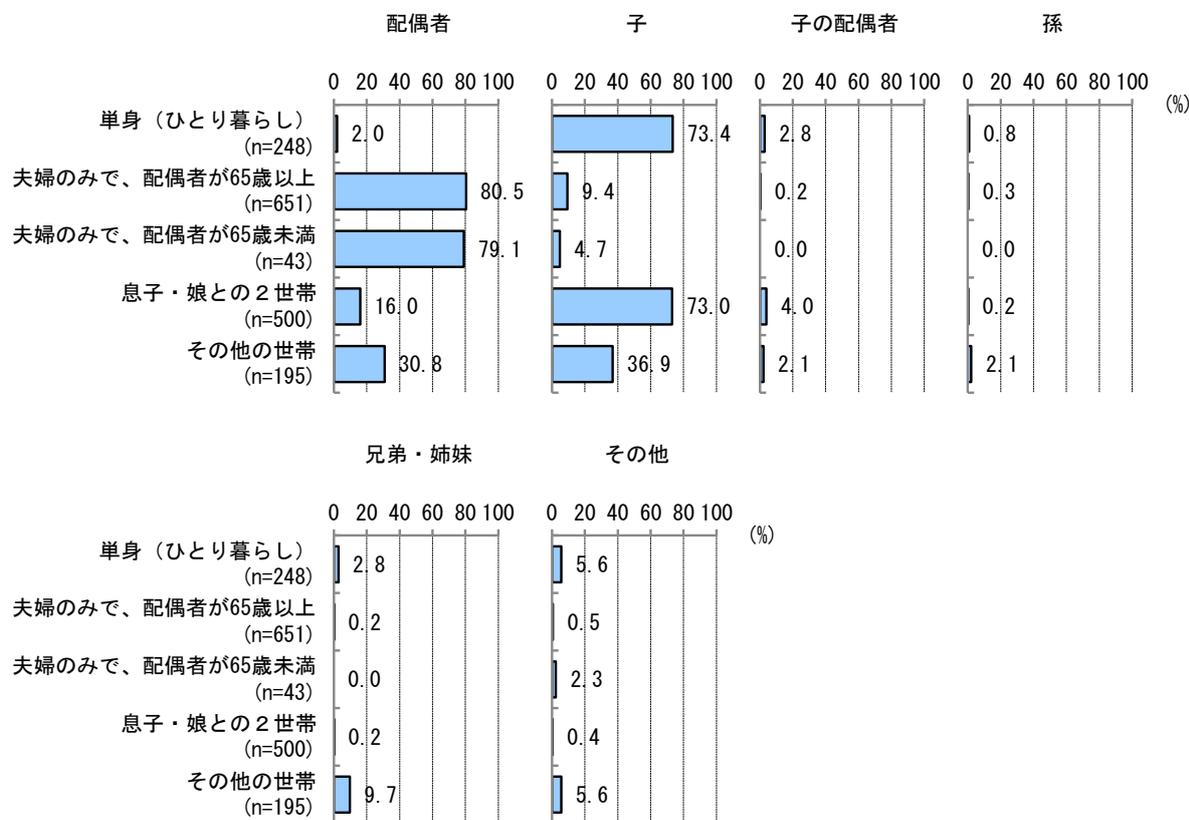
【B問35[34] 本人との関係（経年比較）】



【介護者調査】

世帯状況別では、単身（ひとり暮らし）世帯、息子・娘との2世帯の世帯、その他の世帯の世帯は「子」の割合が最も高く、夫婦のみ世帯では「配偶者」の割合が最も高くなっている。  
 (B問35[34]-a)

【B問35[34]-a 本人との関係（世帯状況別）】



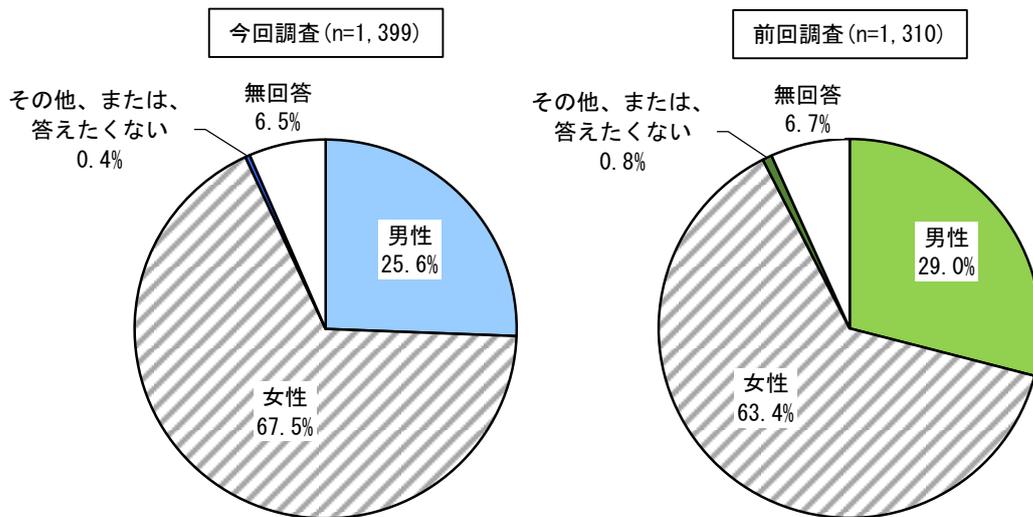
### 問36[35](1) 介護者の性別

あなたの性別、年齢、ご本人との同居の有無についておうかがいします。  
(それぞれ○はひとつ)

サービス利用者の介護者の性別は、「男性」が25.6%、「女性」が67.5%となっている。  
前回調査の結果同様、「男性」より「女性」の割合が高い状況は変わらない。(A問36[35]  
(1))

#### <A. サービス利用者>

【A問36[35](1) 介護者の性別（経年比較）】

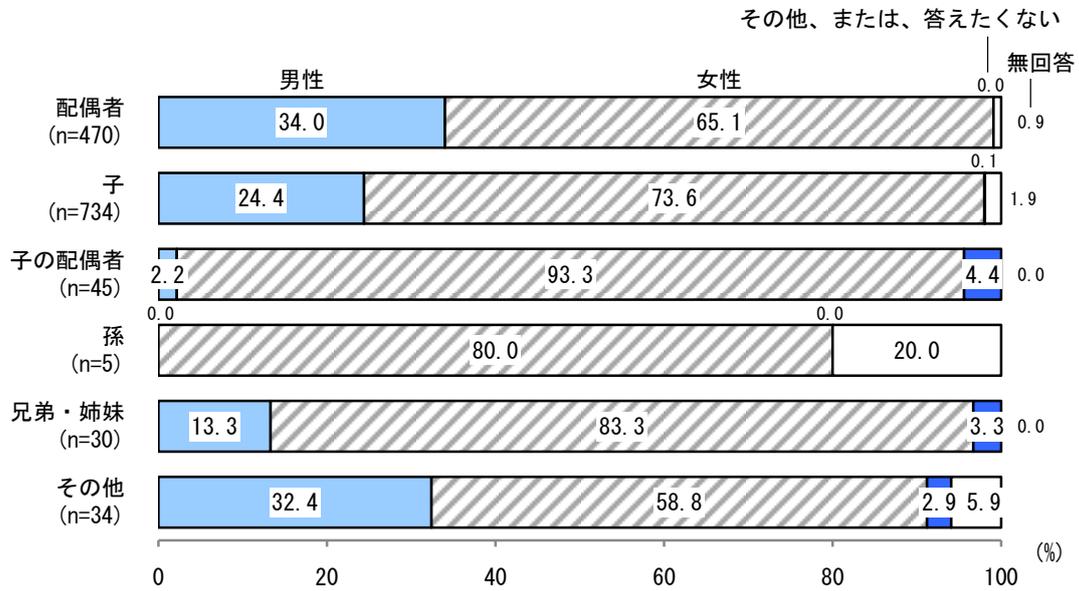


【介護者調査】

本人との関係別では、関係性にかかわらず「女性」の割合が高くなっている。

「男性」の割合は、介護者が配偶者では34.0%、子では24.4%となっている。(A問36[35] (1)-a)

【A問36[35](1)-a 介護者の性別（本人との関係別）】

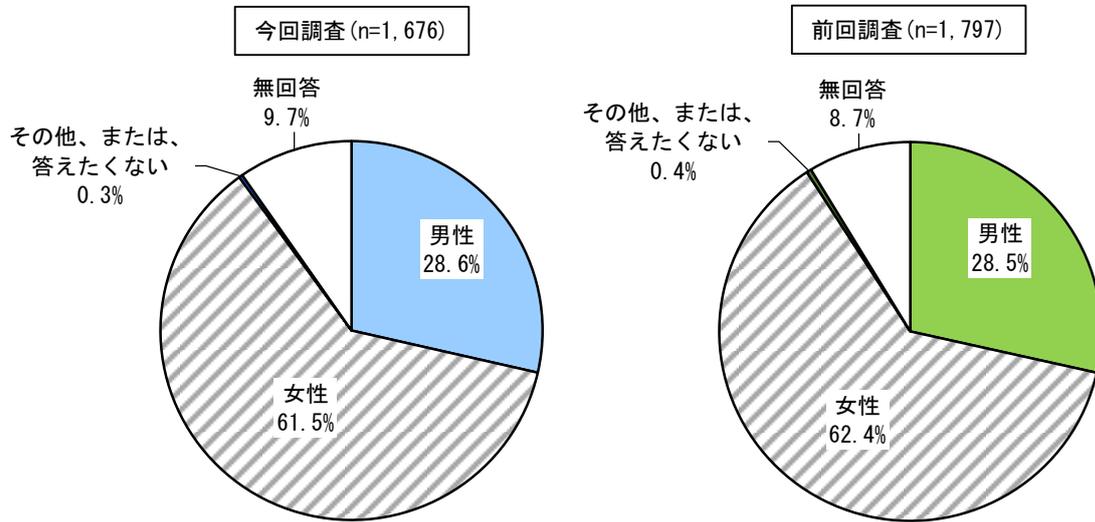


【介護者調査】

サービス未利用者の介護者の性別は、「男性」が28.6%、「女性」が61.5%となっている。  
前回調査の結果同様、「男性」より「女性」の割合が高い状況は変わらない。(B問36[35](1))

< B. サービス未利用者 >

【B問36[35](1) 介護者の性別（経年比較）】

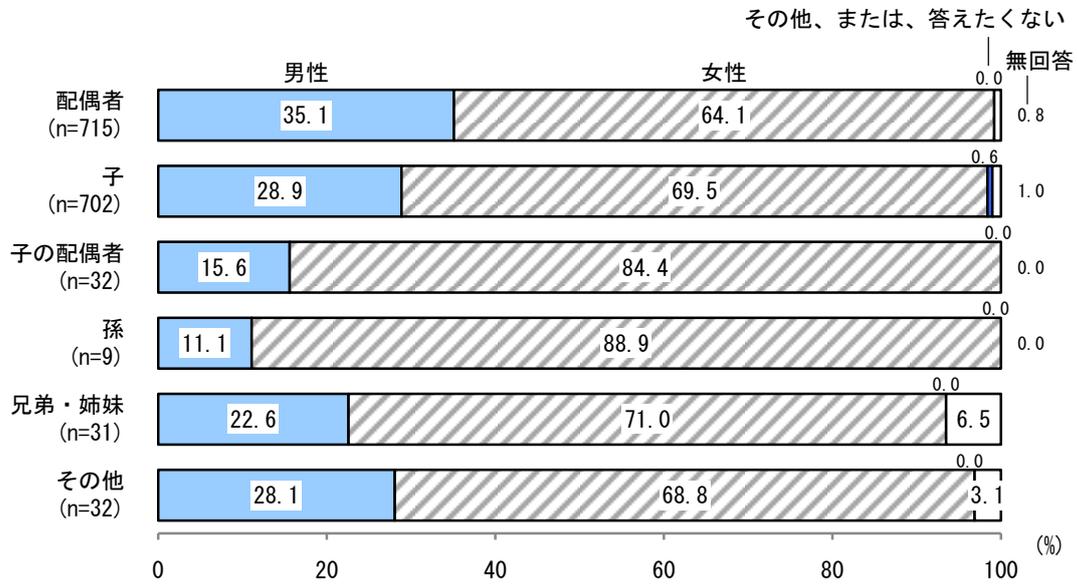


【介護者調査】

本人との関係別では、関係性にかかわらず「女性」の割合が高くなっている。

「男性」の割合は、介護者が配偶者では35.1%、子では28.9%となっている。(B問36[35](1)-a)

【B問36[35](1)-a 介護者の性別（本人との関係別）】



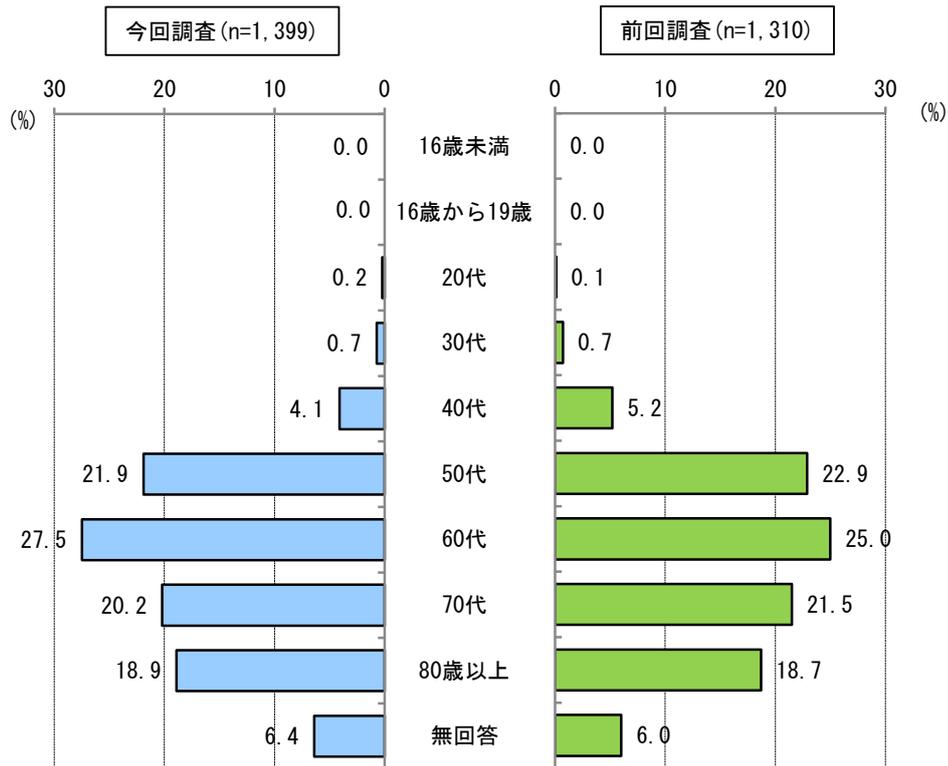
問36[35](2) 介護者の年齢

サービス利用者の介護者の年齢は、「60代」の割合が27.5%で最も高く、次いで「50代」が21.9%、「70代」が20.2%となっている。

前回調査の結果同様、「60代」の割合が最も高く、介護者の年代の分布には大きな変化はみられない。(A問36[35](2))

< A. サービス利用者 >

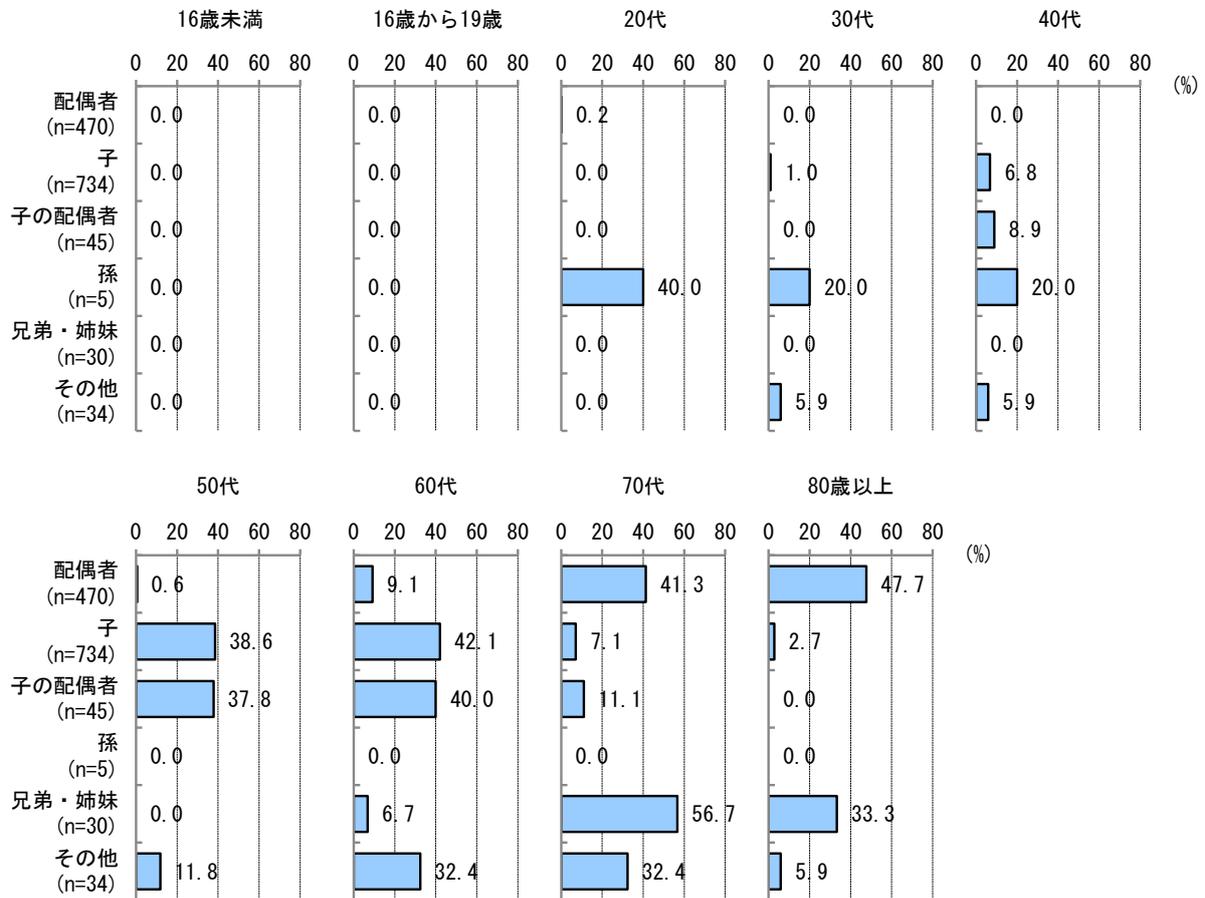
【A問36[35](2) 介護者の年齢（経年比較）】



【介護者調査】

本人との関係別では、介護者が配偶者では「80歳以上」、兄弟・姉妹では「70代」、子及び子の配偶者では「60代」の各割合が、それぞれ最も高くなっている。(A問36[35](2)-a)

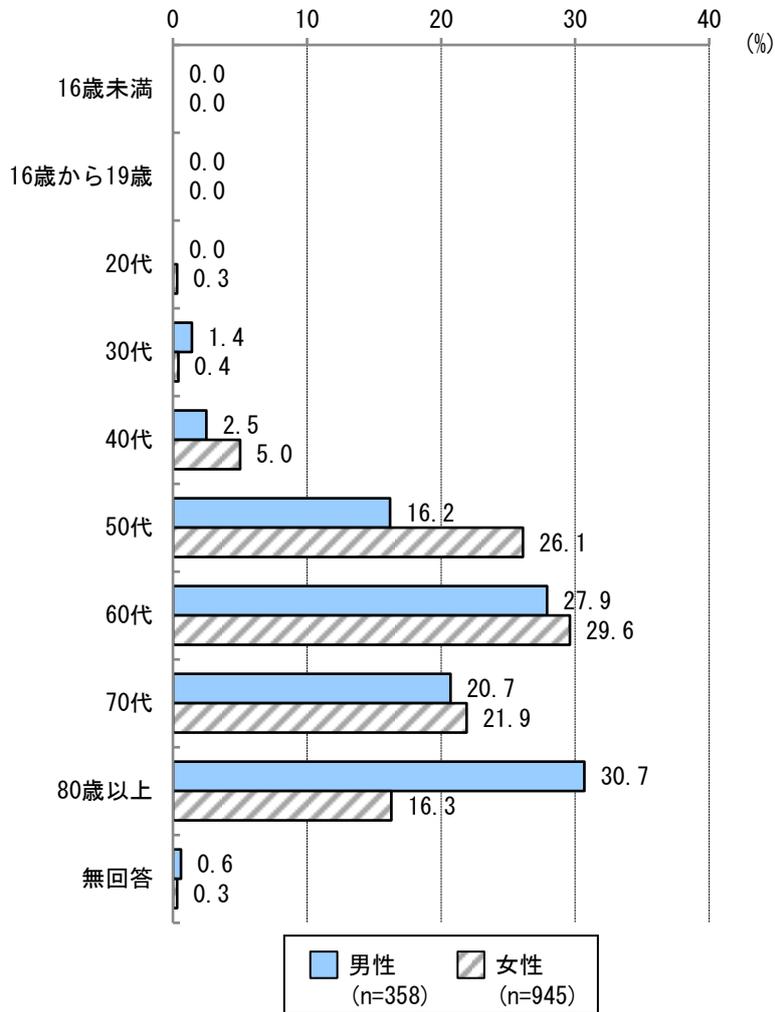
【A問36[35](2)-a 介護者の年齢（本人との関係別）】



【介護者調査】

介護者の性別では、男性の介護者は「80歳以上」の割合が30.7%で最も高くなっている。女性の介護者は「60代」が29.6%で最も高くなっている。(A問36[35](2)-b)

【A問36[35](2)-b 介護者の年齢（介護者の性別）】



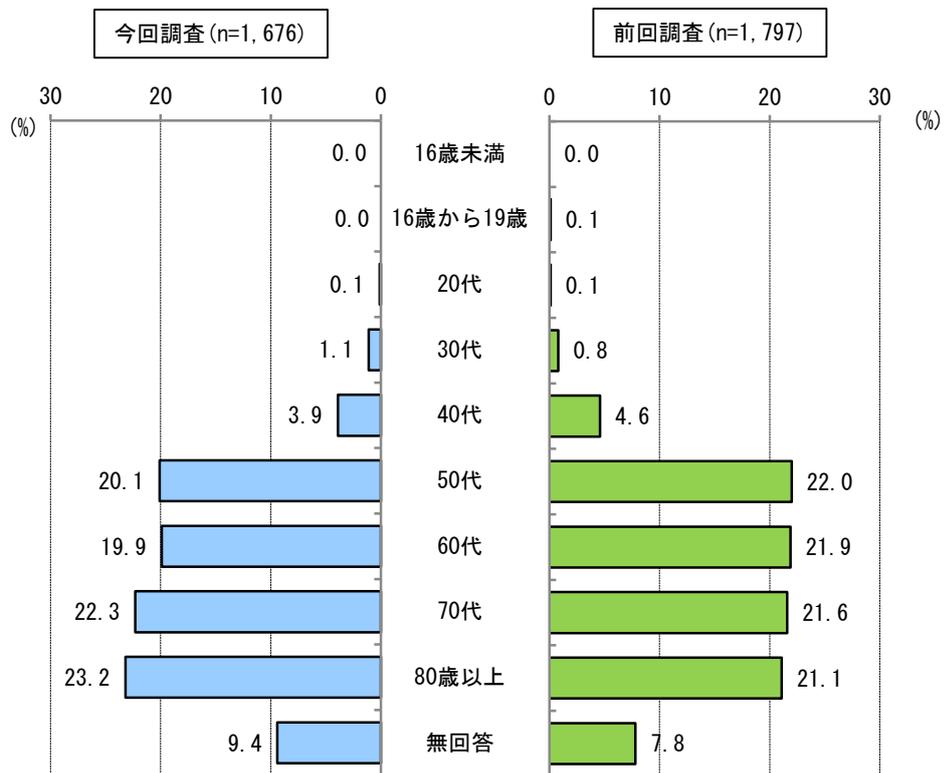
【介護者調査】

サービス未利用者の介護者の年齢は、「80歳以上」の割合が23.2%で最も高く、次いで「70代」が22.3%、「50代」が20.1%となっている。

前回調査の結果同様、50代以上の年代の割合が高いことに変わりはないが、今回「50代」「60代」の割合は微減し、「70代」「80歳以上」の割合が微増している。(B問36[35](2))

< B. サービス未利用者 >

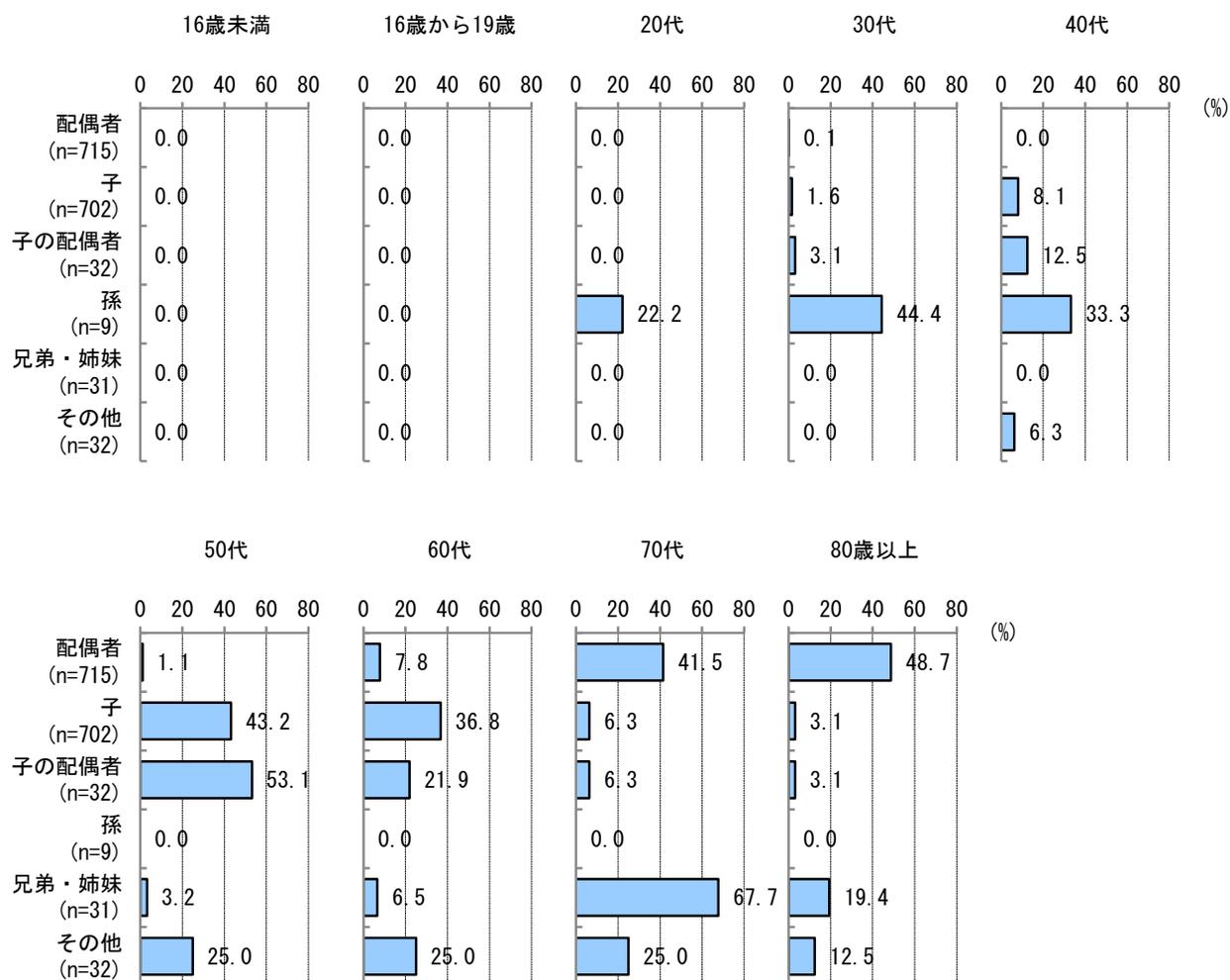
【B問36[35](2) 介護者の年齢（経年比較）】



【介護者調査】

本人との関係別では、介護者が配偶者では「80歳以上」、兄弟・姉妹では「70代」、子及び子の配偶者では「50代」の各割合が、それぞれ最も高くなっている。(B問36[35](2)-a)

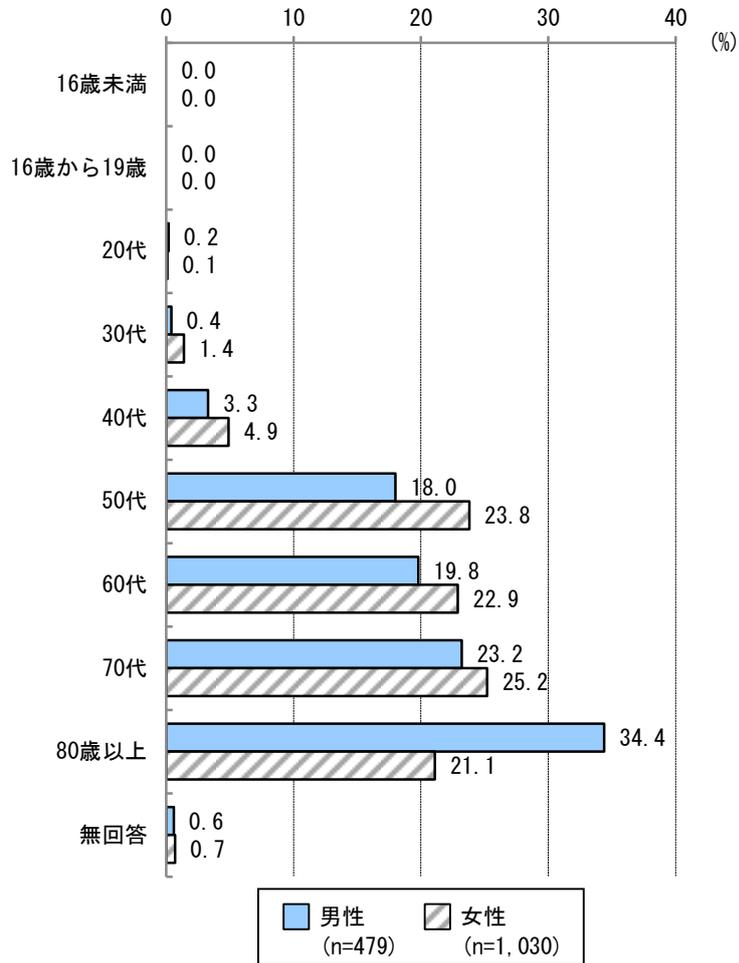
【B問36[35](2)-a 介護者の年齢（本人との関係別）】



【介護者調査】

介護者の性別では、男性の介護者は「80歳以上」の割合が34.4%で最も高くなっている。女性の介護者は「70代」の割合が25.2%で最も高くなっている。(B問36[35](2)-b)

【B問36[35](2)-b 介護者の年齢（介護者の性別）】



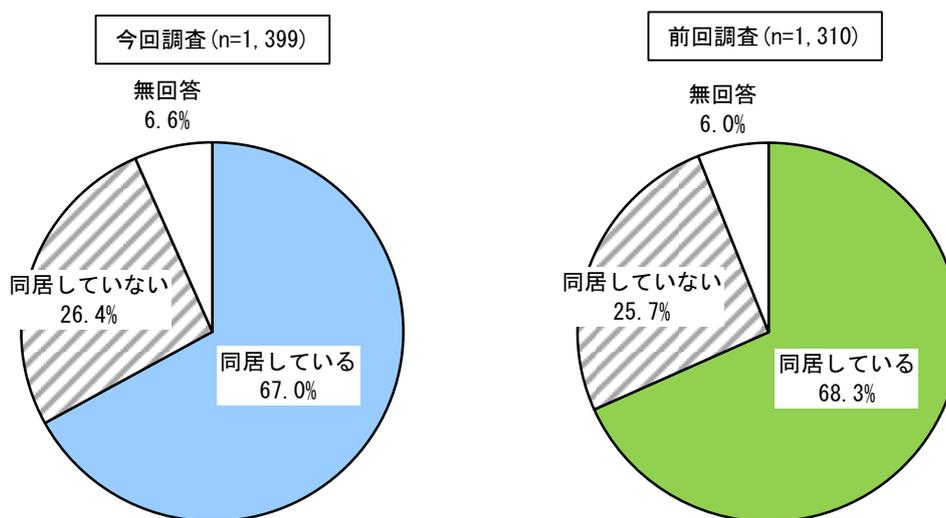
### 問36[35](3) 本人との同居の有無

サービス利用者本人と介護者が「同居している」割合が67.0%に対し、「同居していない」は26.4%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問36[35](3))

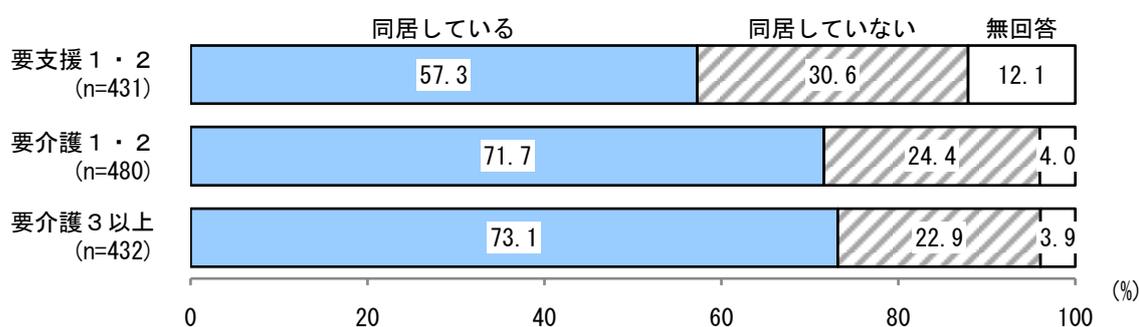
#### < A. サービス利用者 >

【A問36[35](3) 本人との同居の有無（経年比較）】



本人の要介護度別では、要介護度にかかわらず「同居している」割合が5～7割を占めている。(A問36[35](3)-a)

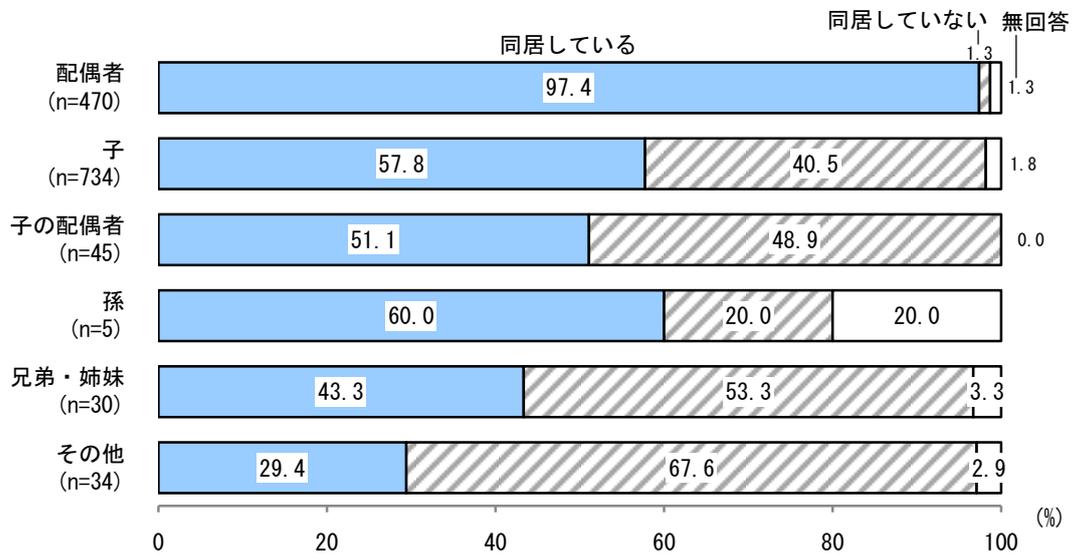
【A問36[35](3)-a 本人との同居の有無（本人の要介護度別）】



【介護者調査】

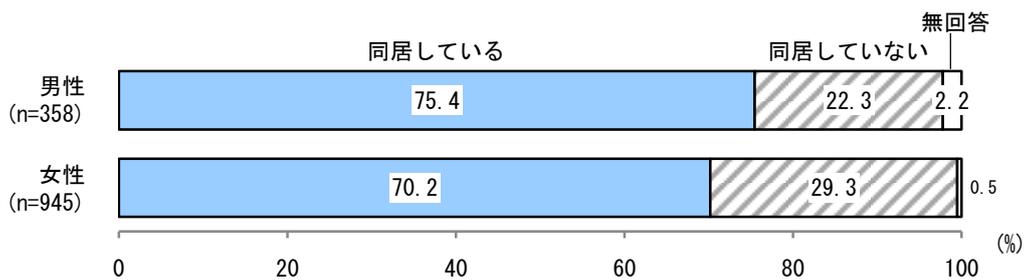
本人との関係別では、兄弟・姉妹、その他以外の介護者は「同居している」割合が5割以上を占めている。(A問36[35](3)-b)

【A問36[35](3)-b 本人との同居の有無 (本人との関係別)】



介護者の性別では、男女とも「同居している」割合の方が高くなっており、男性の介護者では75.4%、女性の介護者では70.2%で、男性の介護者の方が5.2ポイント高くなっている。(A問36[35](3)-c)

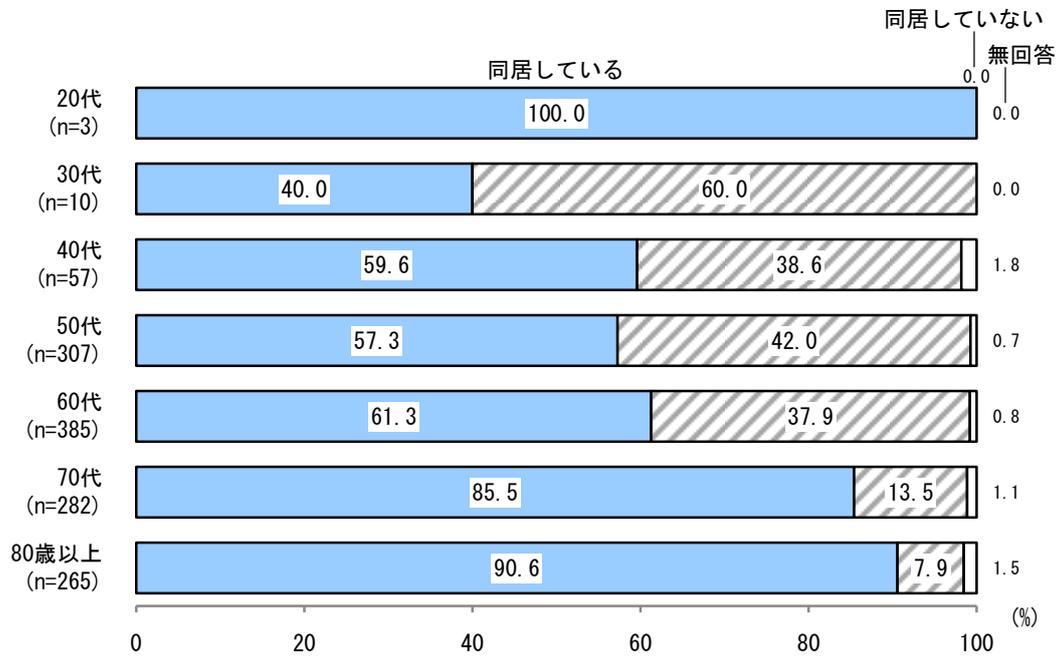
【A問36[35](3)-c 本人との同居の有無 (介護者の性別)】



【介護者調査】

介護者の年齢別では、30代以外の年代の介護者で「同居している」割合の方が高くなっており、70代以上では8割を超えている。(A問36[35](3)-d)

【A問36[35](3)-d 本人との同居の有無（介護者の年齢別）】



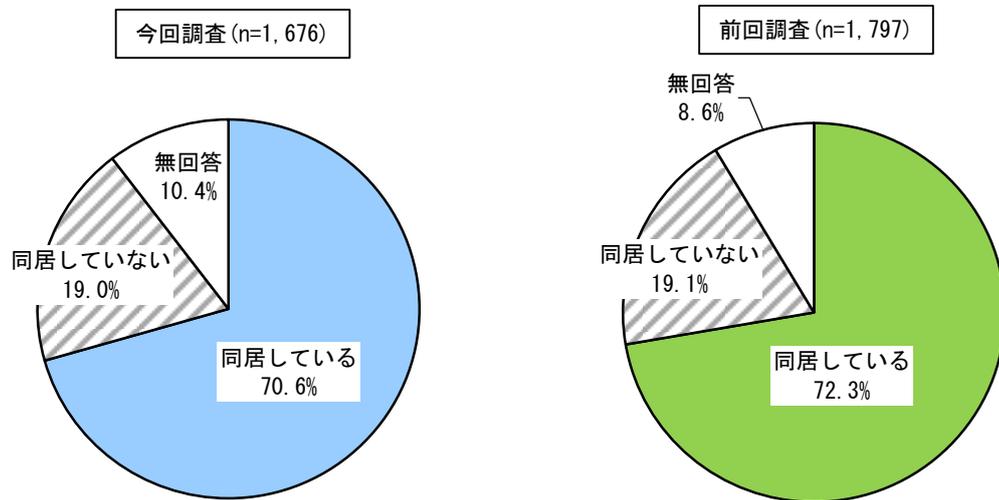
【介護者調査】

サービス未利用者本人と介護者が「同居している」割合が70.6%に対し、「同居していない」が19.0%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(B問36[35](3))

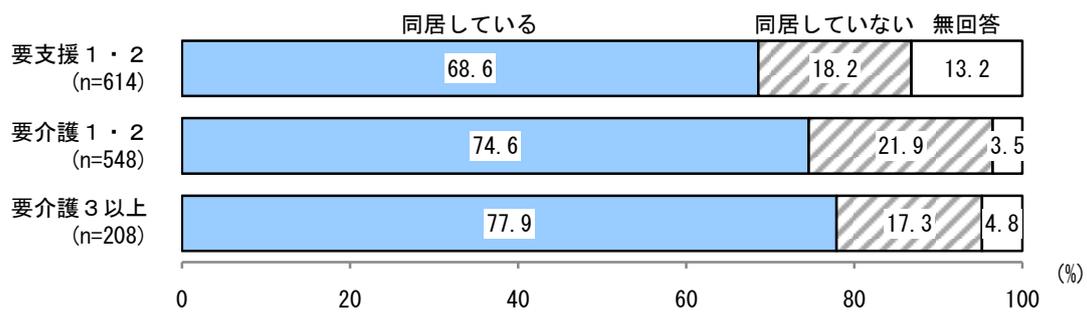
< B. サービス未利用者 >

【B問36[35](3) 本人との同居の有無（経年比較）】



本人の要介護度別では、「同居している」割合は、要介護度が重度になるとともに増加している。(B問36[35](3)-a)

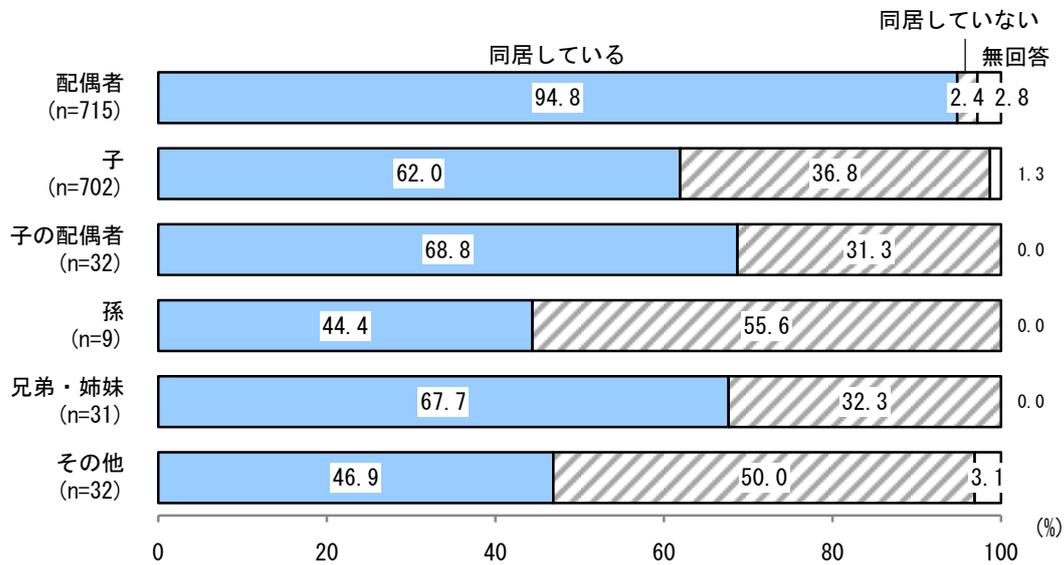
【B問36[35](3)-a 本人との同居の有無（本人の要介護度別）】



【介護者調査】

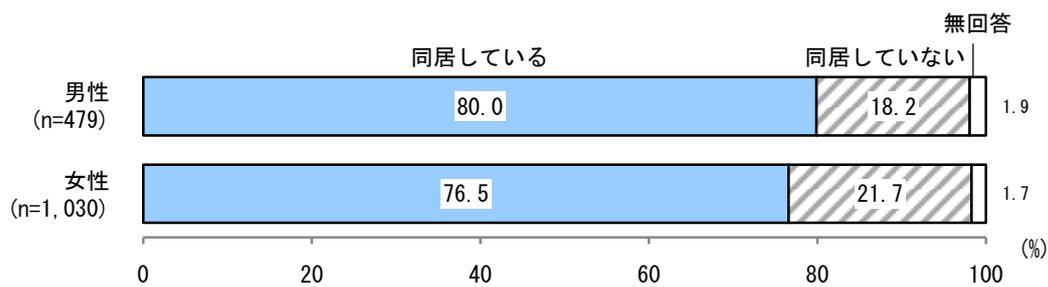
本人との関係別では、「同居している」割合は配偶者及び子、子の配偶者、兄弟・姉妹の介護者で6割以上を占めている。(B問36[35](3)-b)

【B問36[35](3)-b 本人との同居の有無 (本人との関係別)】



介護者の性別では、男女とも「同居している」割合の方が高くなっており、男性の介護者では80.0%、女性の介護者では76.5%で、男性の介護者の方が3.5ポイント高くなっている。(B問36[35](3)-c)

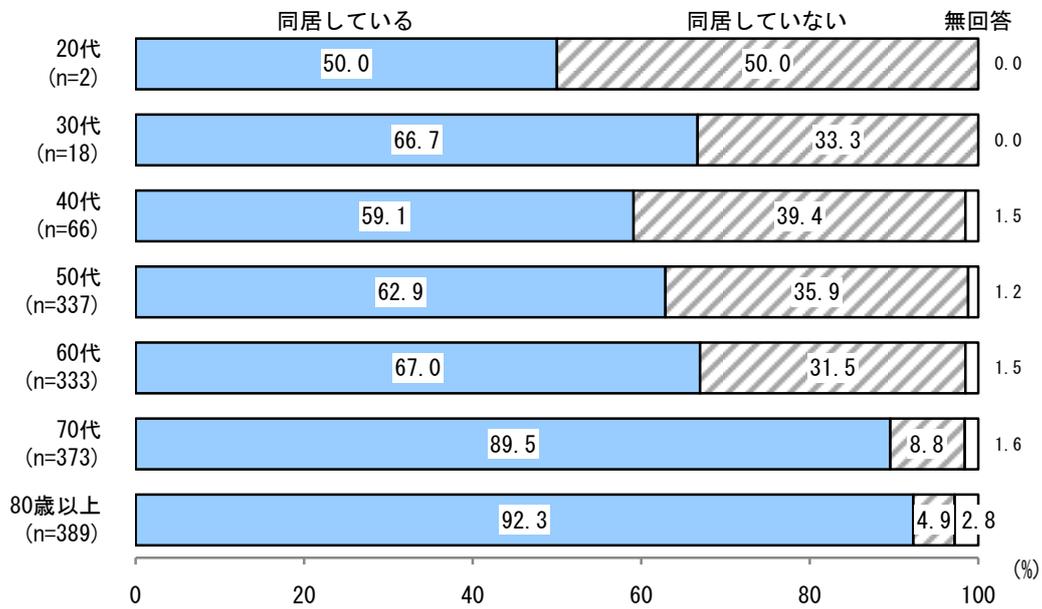
【B問36[35](3)-c 本人との同居の有無 (介護者の性別)】



【介護者調査】

介護者の年齢別では、20代を除く各年代では、「同居している」割合の方が高くなっており、70代以上では9割前後を占めている。(B問36[35](3)-d)

【B問36[35](3)-d 本人との同居の有無 (介護者の年齢別)】



### 問37[36] 介護者の健康状態

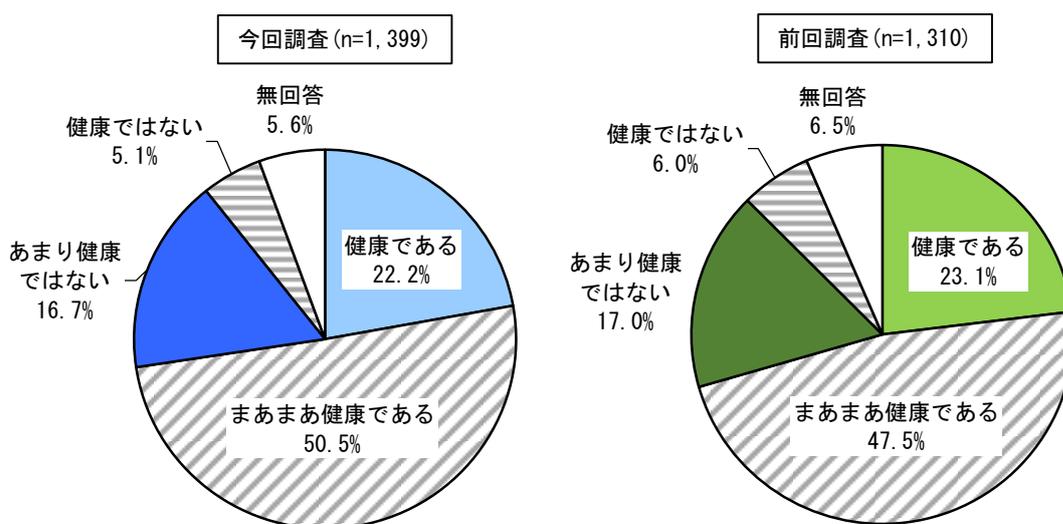
あなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

サービス利用者の介護者の健康状態は、「まあまあ健康である」の割合が50.5%で最も高く、次いで「健康である」が22.2%、「あまり健康ではない」が16.7%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問37[36])

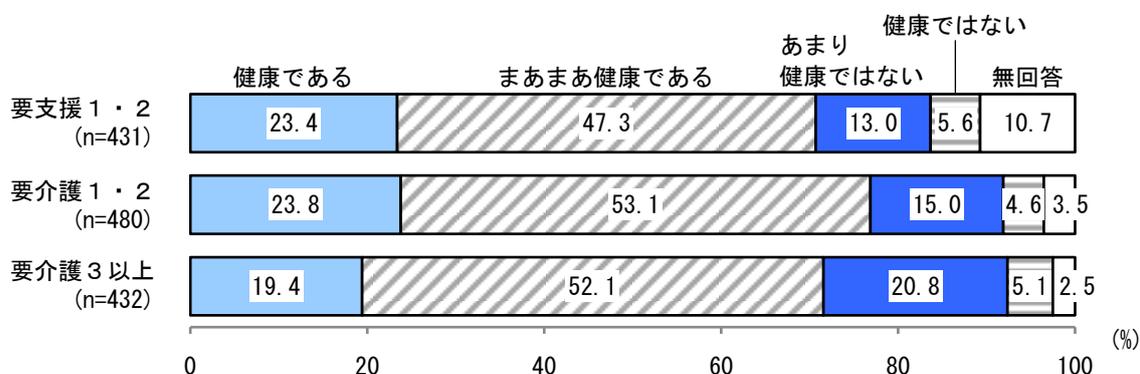
#### < A. サービス利用者 >

【A問37[36] 介護者の健康状態（経年比較）】



本人の要介護度別では、要介護度にかかわらず「まあまあ健康である」の割合が5割前後を占めている。(A問37[36]-a)

【A問37[36]-a 介護者の健康状態（本人の要介護度別）】

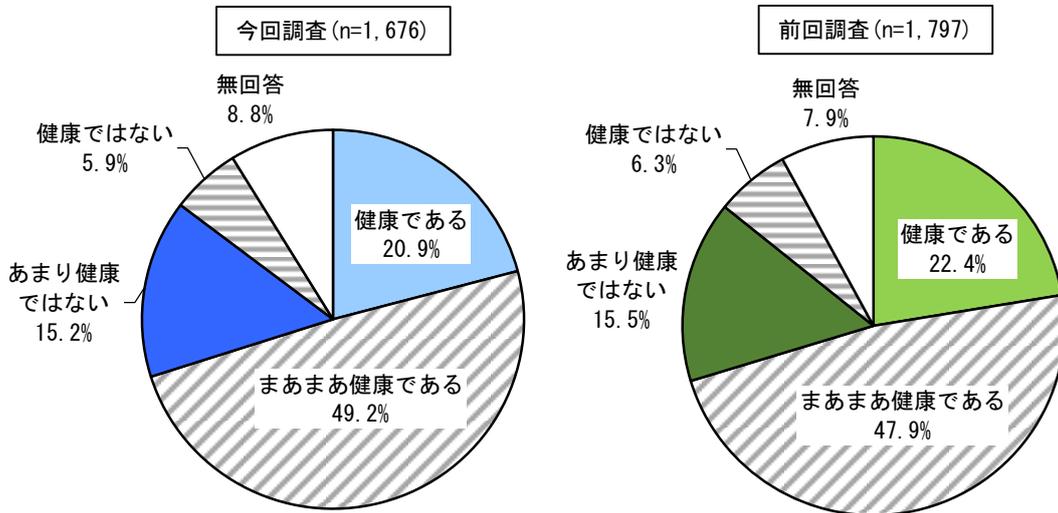


【介護者調査】

サービス未利用者の介護者の健康状態は、「まあまあ健康である」の割合が49.2%で最も高く、次いで「健康である」が20.9%、「あまり健康ではない」が15.2%となっている。前回調査の結果から大きな変化はみられない。(B問37[36])

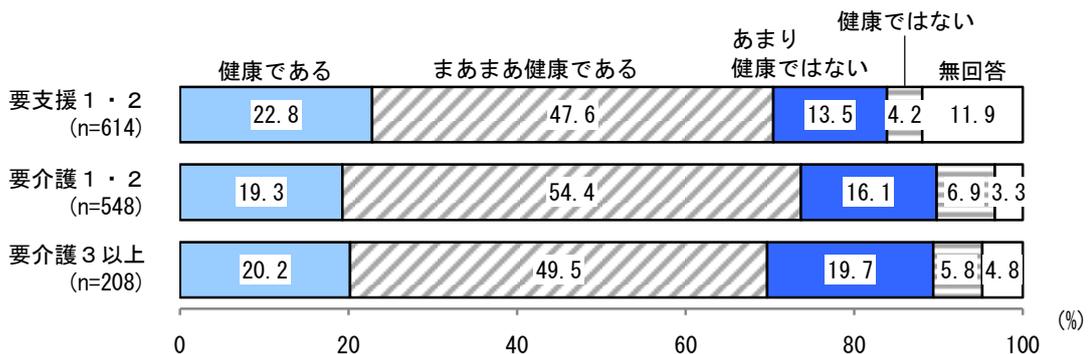
< B. サービス未利用者 >

【B問37[36] 介護者の健康状態（経年比較）】



本人の要介護度別では、要介護度にかかわらず「まあまあ健康である」の割合が5割前後を占めている。(B問37[36]-a)

【B問37[36]-a 介護者の健康状態（本人の要介護度別）】



(2) 介護の状況

問38[37] 介護者がよく話をする相手

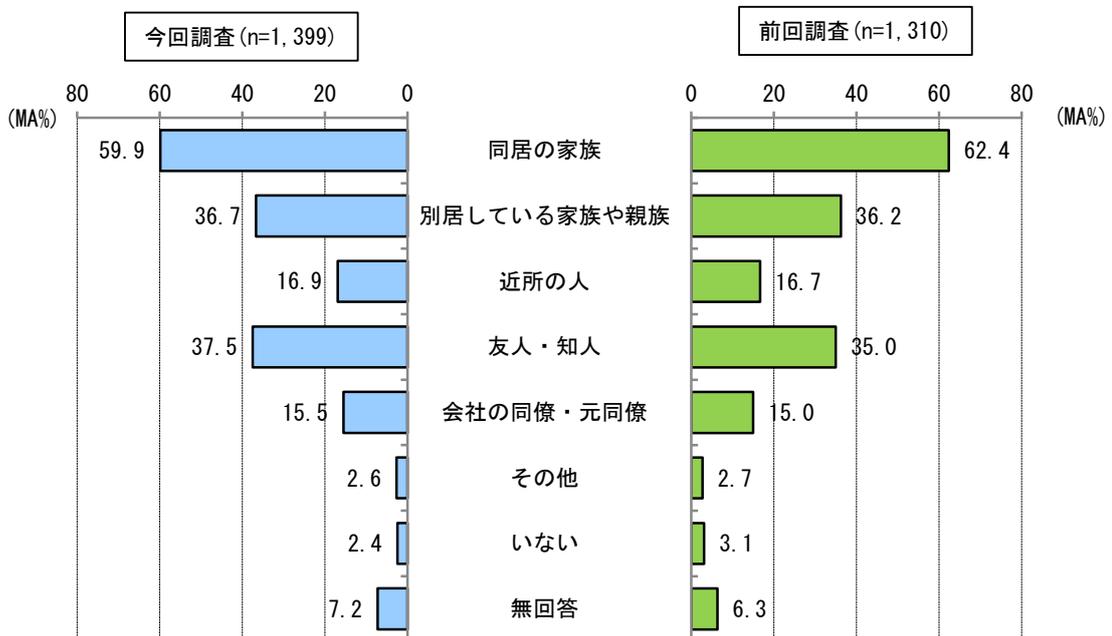
あなたがよく話をする相手は誰ですか。(○はいくつでも)

サービス利用者本人以外でよく話をする相手は、「同居の家族」の割合が59.9%で最も高く、次いで「友人・知人」が37.5%、「別居している家族や親族」が36.7%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「別居している家族や親族」と「友人・知人」の順位が入れ替わっている。(A問38[37])

< A. サービス利用者 >

【A問38[37] 介護者がよく話をする相手（経年比較）】



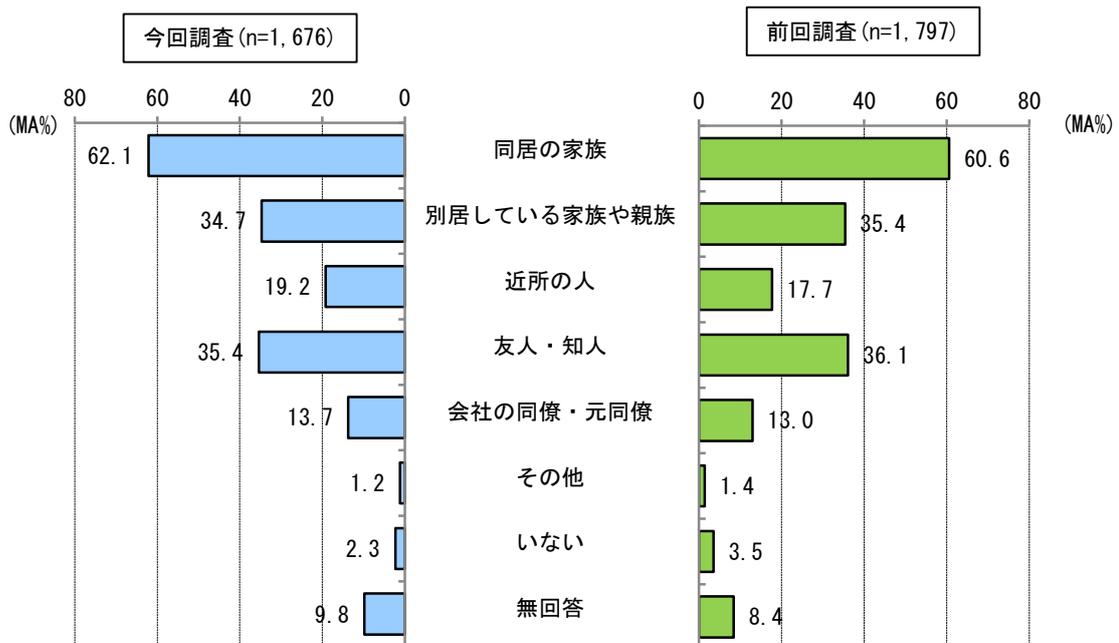
## 【介護者調査】

サービス未利用者本人以外でよく話をする相手は、「同居の家族」の割合が62.1%で最も高く、次いで「友人・知人」が35.4%、「別居している家族や親族」が34.7%となっている。

前回調査の結果に比べ、「別居している家族や親族」の割合が0.7ポイント減少している。  
(B問38[37])

### < B. サービス未利用者 >

【B問38[37] 介護者がよく話をする相手（経年比較）】



問39[38] 介護を手助けしてくれる人の有無

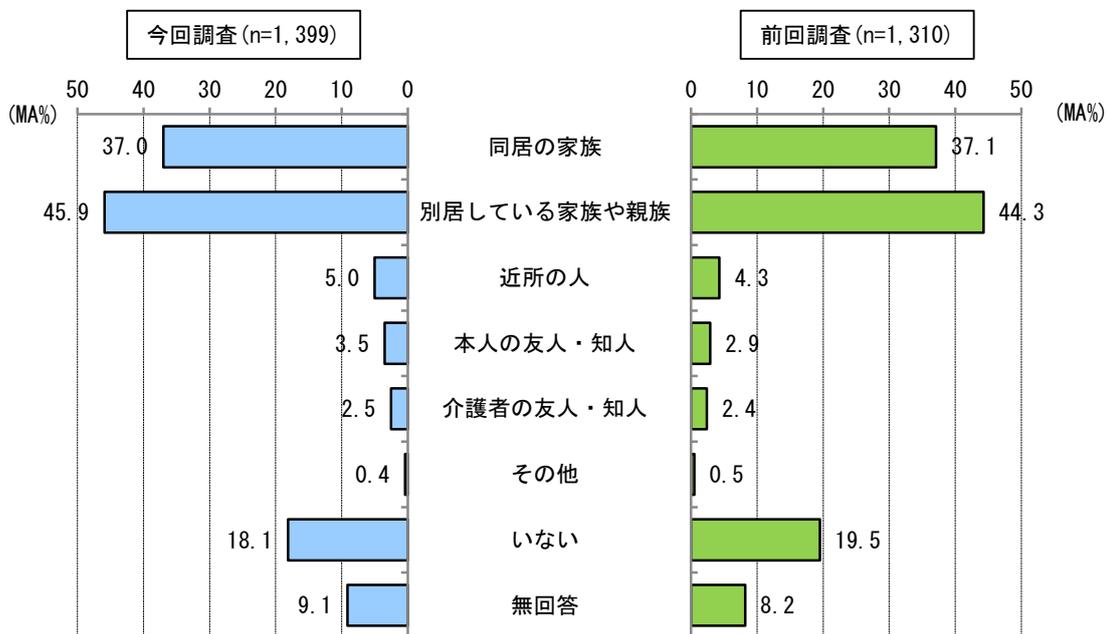
(介護保険サービス提供者以外で、) 介護を手助けしてくれる方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

サービス利用者本人の介護を手助けしてくれる人について、「別居している家族や親族」の割合が45.9%で最も高く、次いで「同居の家族」が37.0%、「近所の人」が5.0%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問39[38])

< A. サービス利用者 >

【A問39[38] 介護を手助けしてくれる人の有無 (経年比較)】



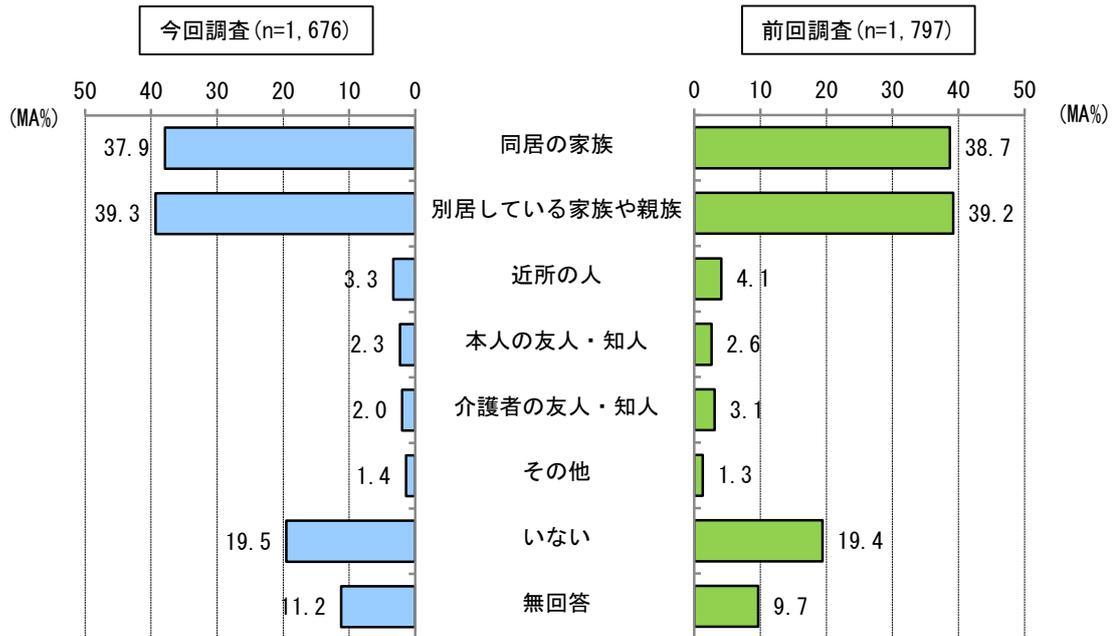
【介護者調査】

サービス未利用者本人の介護を手助けしてくれる人について、「別居している家族や親族」の割合が39.3%で最も高く、次いで「同居の家族」が37.9%、「近所の人」が3.3%、「本人の友人・知人」が2.3%となっている。

前回調査の結果に比べ、「本人の友人・知人」と「介護者の友人・知人」の順位に変動があるが、それ以外は大きな変化はない。(B問39[38])

< B. サービス未利用者 >

【B問39[38] 介護を手助けしてくれる人の有無（経年比較）】



## 問40[39] 本人の認知症の程度

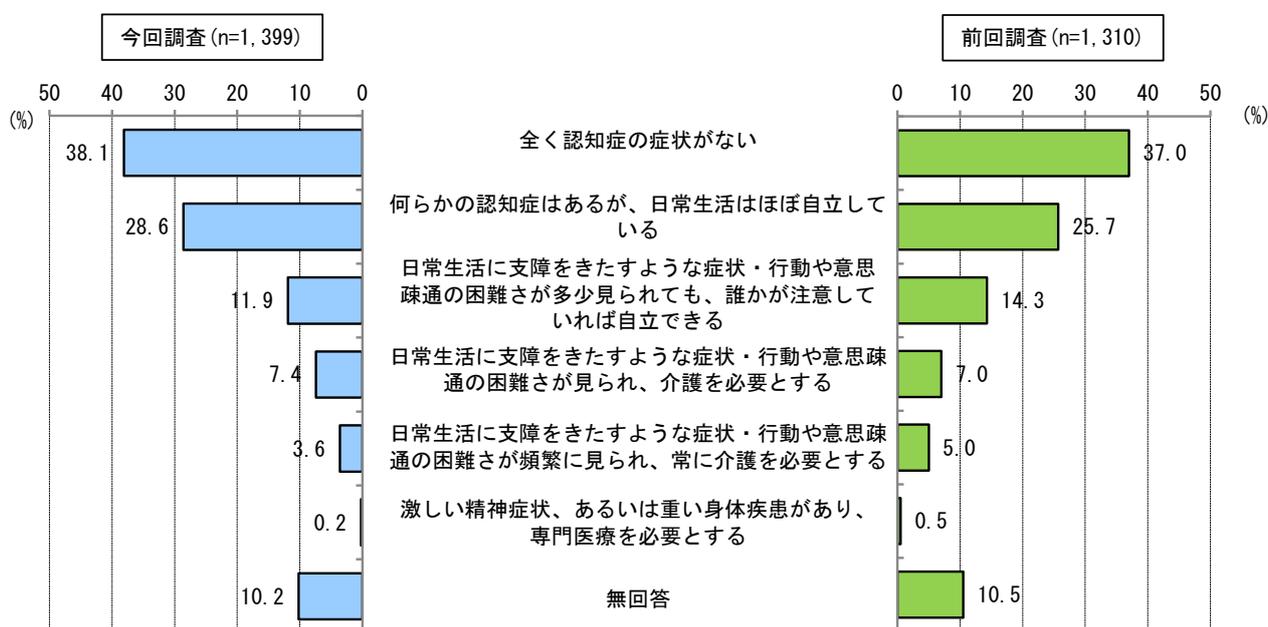
ご本人の認知症の程度について、もっとも近いものに○をつけてください。(○はひとつ)

サービス利用者本人の認知症の程度は、「全く認知症の症状がない」の割合が38.1%で最も高く、次いで「何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している」が28.6%、「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」が11.9%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問40[39])

### <A. サービス利用者>

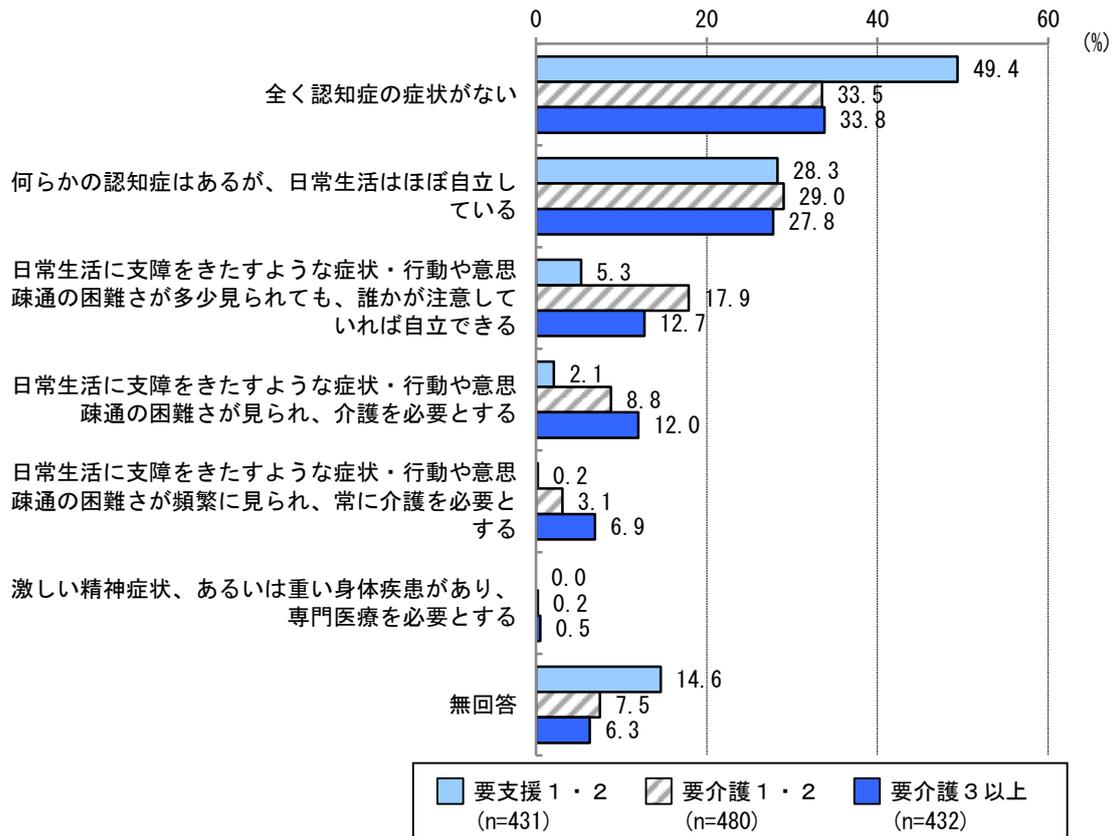
【A問40[39] 本人の認知症の程度（経年比較）】



【介護者調査】

本人の要介護度別では、要介護度にかかわらず「全く認知症の症状がない」の割合が最も高く、特に要支援1・2の割合が高くなっている。また、「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする」「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする」「激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする」の各割合は、要介護度が重度になるほど高くなっている。(A問40[39]-a)

【A問40[39]-a 本人の認知症の程度（本人の要介護度別）】



【介護者調査】

世帯状況別では、夫婦のみで配偶者が65歳未満の世帯は「何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している」の割合が最も高い。それ以外の世帯では「全く認知症の症状がない」が最も高くなっている。(A問40[39]-b)

【A問40[39]-b 本人の認知症の程度（世帯状況別）】

(単位：%)

	n	全く認知症の症状がない	何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	も、誰かが注意しているが、日常生活はほぼ自立している	動や意思疎通の困難さが見られ、日常生活に支障をきたす	必要とする	日常生活に支障をきたす	常に介護を必要とする	動や意思疎通の困難さが見られ、日常生活に支障をきたす	日常生活に支障をきたす	激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	無回答
単身（ひとり暮らし）	319	38.9	26.6	9.4	7.5	2.8	-	14.7				
夫婦のみで、配偶者が65歳以上	421	40.4	30.2	11.6	5.5	2.1	0.2	10.0				
夫婦のみで、配偶者が65歳未満	32	34.4	40.6	-	9.4	6.3	-	9.4				
息子・娘との2世帯	434	35.9	29.7	14.1	9.2	5.3	-	5.8				
その他の世帯	159	40.9	21.4	15.7	7.5	3.8	1.3	9.4				

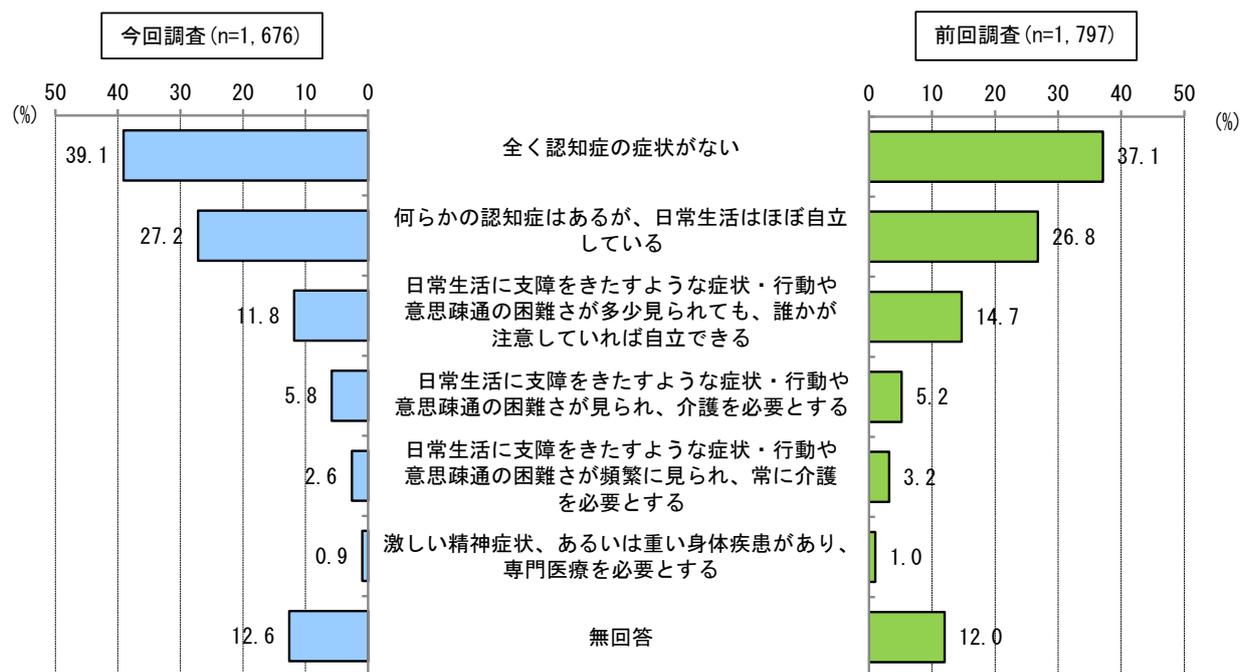
【介護者調査】

サービス未利用者本人の認知症の程度は、「全く認知症の症状がない」の割合が39.1%で最も高く、次いで「何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している」が27.2%、「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」が11.8%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(B問40[39])

< B. サービス未利用者 >

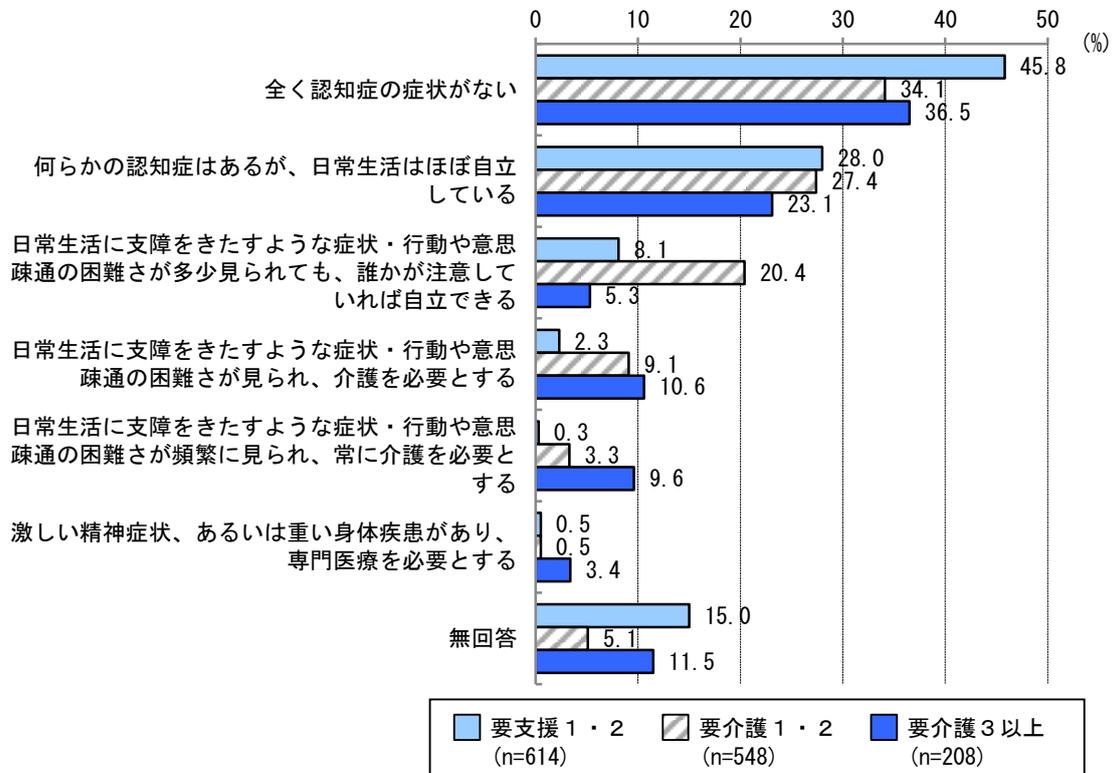
【B問40[39] 本人の認知症の程度（経年比較）】



【介護者調査】

本人の要介護度別では、要介護度にかかわらず「全く認知症の症状がない」の割合が最も高く、特に要支援1・2の割合が最も高くなっている。また、「何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している」の割合は重度になるほど低くなっている。(B問40[39]-a)

【B問40[39]-a 本人の認知症の程度（本人の要介護度別）】



【介護者調査】

世帯状況別では、いずれの世帯も「全く認知症の症状がない」の割合が最も高くなっている。(B問40[39]-b)

【B問40[39]-b 本人の認知症の程度（世帯状況別）】

(単位：%)

	n	全く認知症の症状がない	ほぼ自立している	何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	も、誰かが注意している	動や意思疎通の困難さが見られ、日常生活に支障をきたすような症状・行動・行	必要とする	動や意思疎通の困難さが見られ、日常生活に支障をきたすような症状・行動・行	常に介護を必要とする	動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、日常生活に支障をきたすような症状・行動・行	激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	無回答
単身（ひとり暮らし）	248	39.5	26.2	11.7	5.2	1.6	1.6	14.1				
夫婦のみで、配偶者が65歳以上	651	37.3	29.2	11.5	5.5	2.3	0.9	13.2				
夫婦のみで、配偶者が65歳未満	43	39.5	27.9	7.0	4.7	2.3	-	18.6				
息子・娘との2世帯	500	40.2	26.4	13.2	7.2	3.4	0.2	9.4				
その他の世帯	195	42.6	23.6	11.3	4.6	3.1	1.0	13.8				

### 問41[40] 本人に行っている介護内容

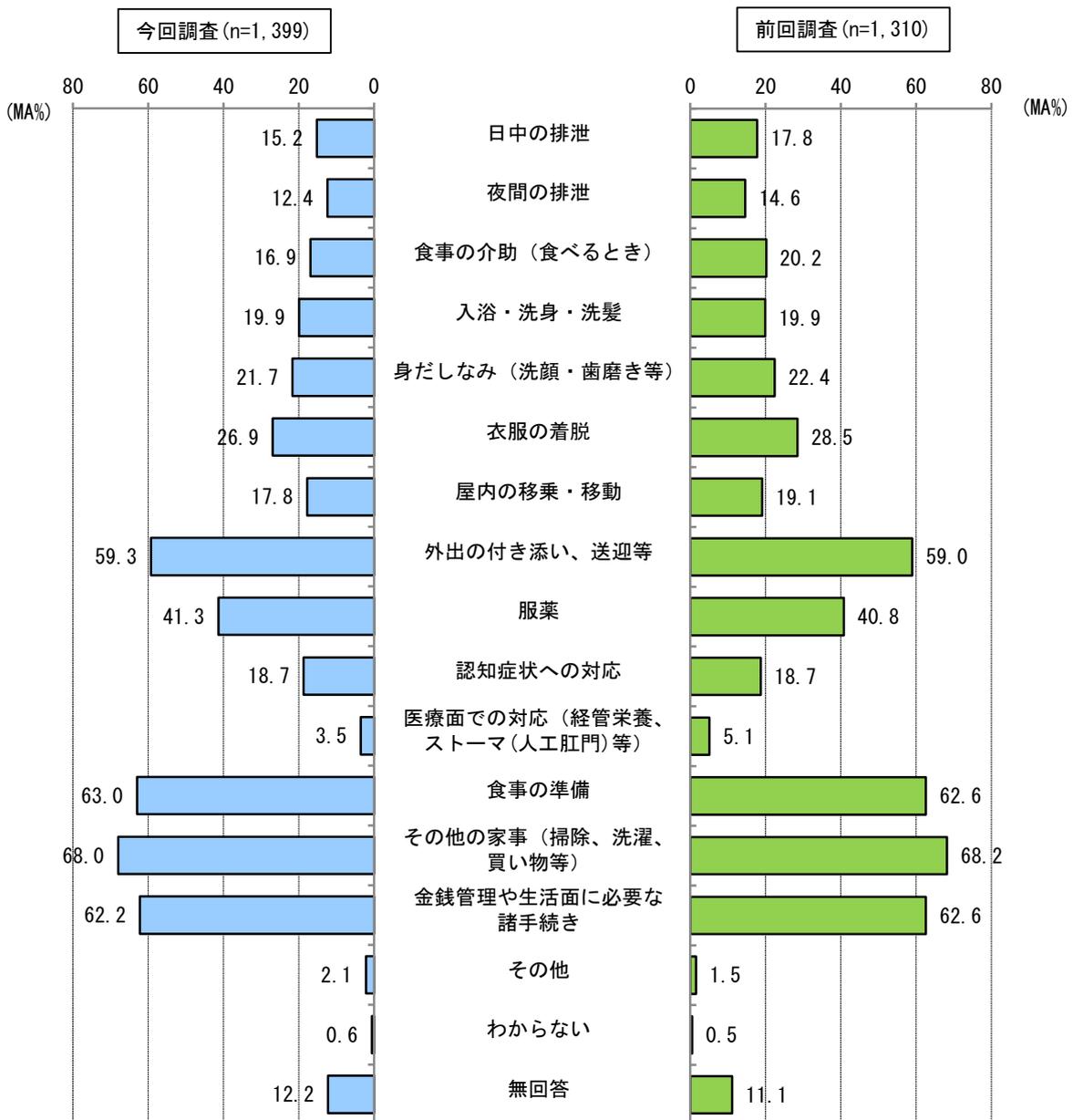
あなたは、ご本人に対し、どのような介護を行っていますか。(〇はいくつでも)

サービス利用者本人に介護者が行っている介護内容は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が68.0%で最も高く、次いで「食事の準備」が63.0%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が62.2%、「外出の付き添い、送迎等」が59.3%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問41[40])

< A. サービス利用者 >

【A問41[40] 本人に行っている介護内容（経年比較）】

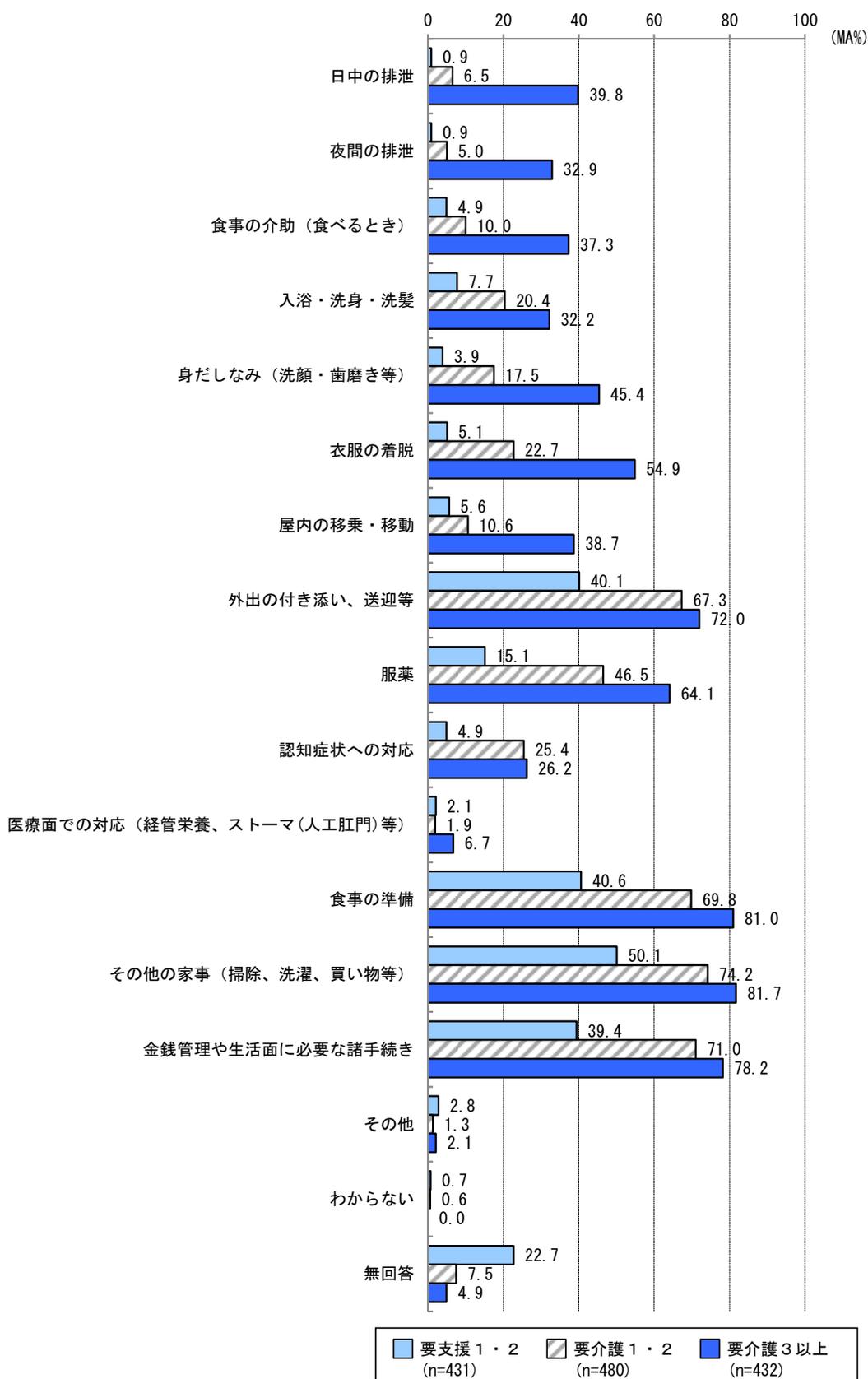


※前回調査の「入浴・洗身」は、今回調査では「入浴・洗身・洗髪」に変更している。

【介護者調査】

本人の要介護度別では、要介護度にかかわらず、いずれの項目の割合は、重度になるほど高くなる傾向がある。(A問41[40]-a)

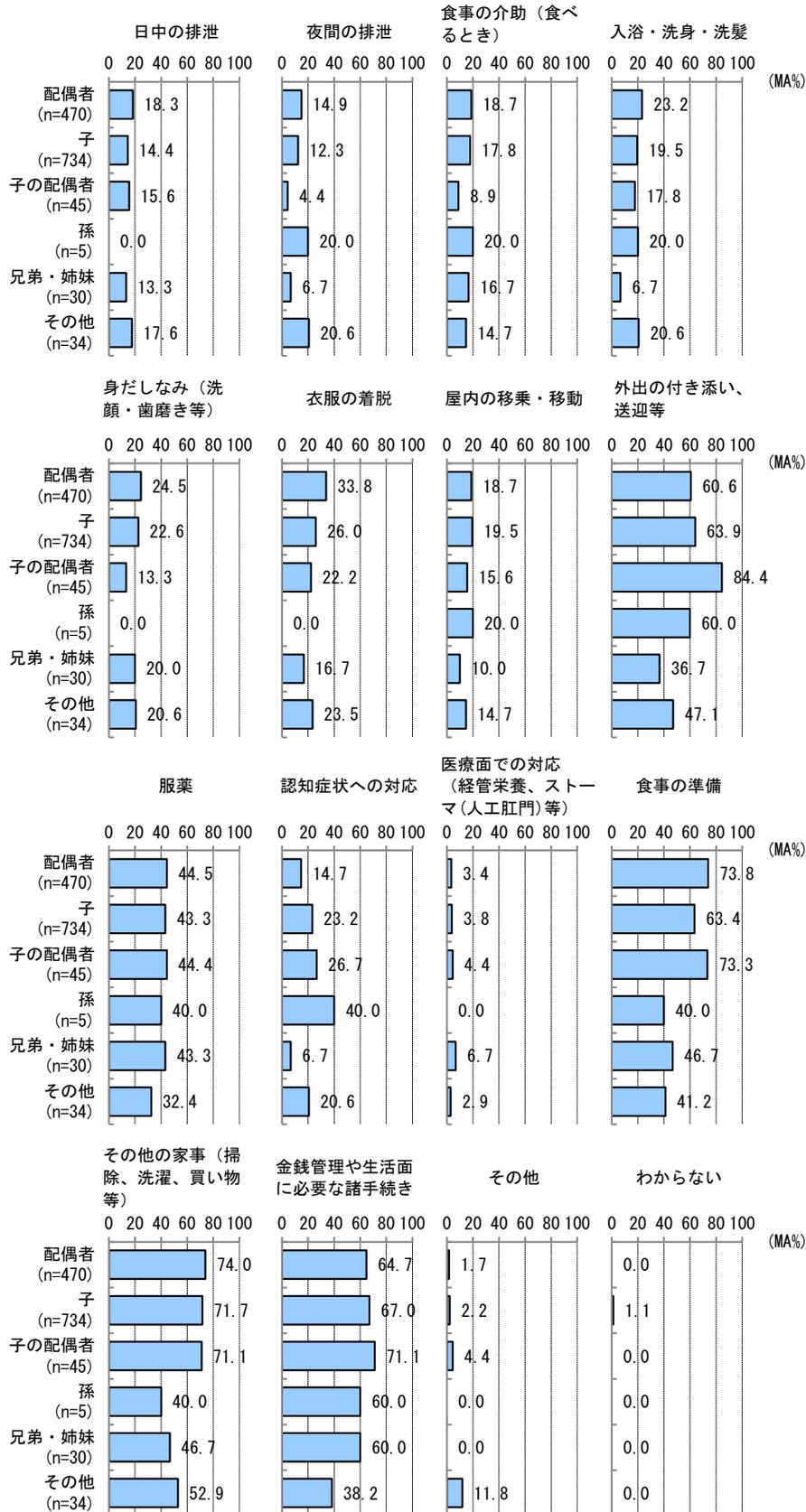
【A問41[40]-a 本人に行っている介護内容（本人の要介護度別）】



【介護者調査】

本人との関係別では、介護者が配偶者及び子では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が最も高く、介護者が子の配偶者では「外出の付き添い、送迎等」の割合が最も高くなっている。（A問41[40]-b）

【A問41[40]-b 本人に行っている介護内容（本人との関係別）】



【介護者調査】

本人の認知症の程度別では、介護内容のいずれの割合も、全般に認知症の重度化に伴って高くなる傾向にある。全く認知症の症状がない、もしくは何らかの認知症があっても自立している・自立できる人では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が、介護を必要とする症状のある人では、「食事の準備」または「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、あるいは「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が、それぞれ第1位となっている。（A問41[40]-c）

【A問41[40]-c 本人に行っている介護内容（本人の認知症の程度別）】

	n	(単位：MA%)																
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べるとき）	入浴・洗身・洗髪	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	トーマ（人工肛門）等	医療面での対応（経管栄養ス	食事の準備	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない
全く認知症の症状がない	533	14.1	10.9	16.5	19.3	19.1	24.2	17.3	59.8	30.6	6.9	3.9	62.3	70.4	56.7	2.1	0.6	7.3
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	400	11.8	10.3	14.8	20.8	18.3	24.3	15.5	58.0	42.8	13.0	3.0	64.0	68.8	66.3	0.8	1.3	6.3
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	167	18.6	15.6	16.2	22.2	26.9	33.5	22.8	77.2	68.3	46.1	1.2	79.6	82.0	84.4	5.4	-	1.2
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難が見られ、介護を必要とする	104	29.8	26.0	30.8	28.8	46.2	52.9	31.7	82.7	69.2	54.8	3.8	89.4	82.7	88.5	3.8	-	1.0
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	50	40.0	32.0	44.0	34.0	56.0	58.0	42.0	74.0	78.0	72.0	12.0	84.0	92.0	90.0	4.0	-	2.0
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	3	66.7	33.3	66.7	-	33.3	66.7	33.3	66.7	66.7	66.7	33.3	100.0	100.0	66.7	33.3	-	-

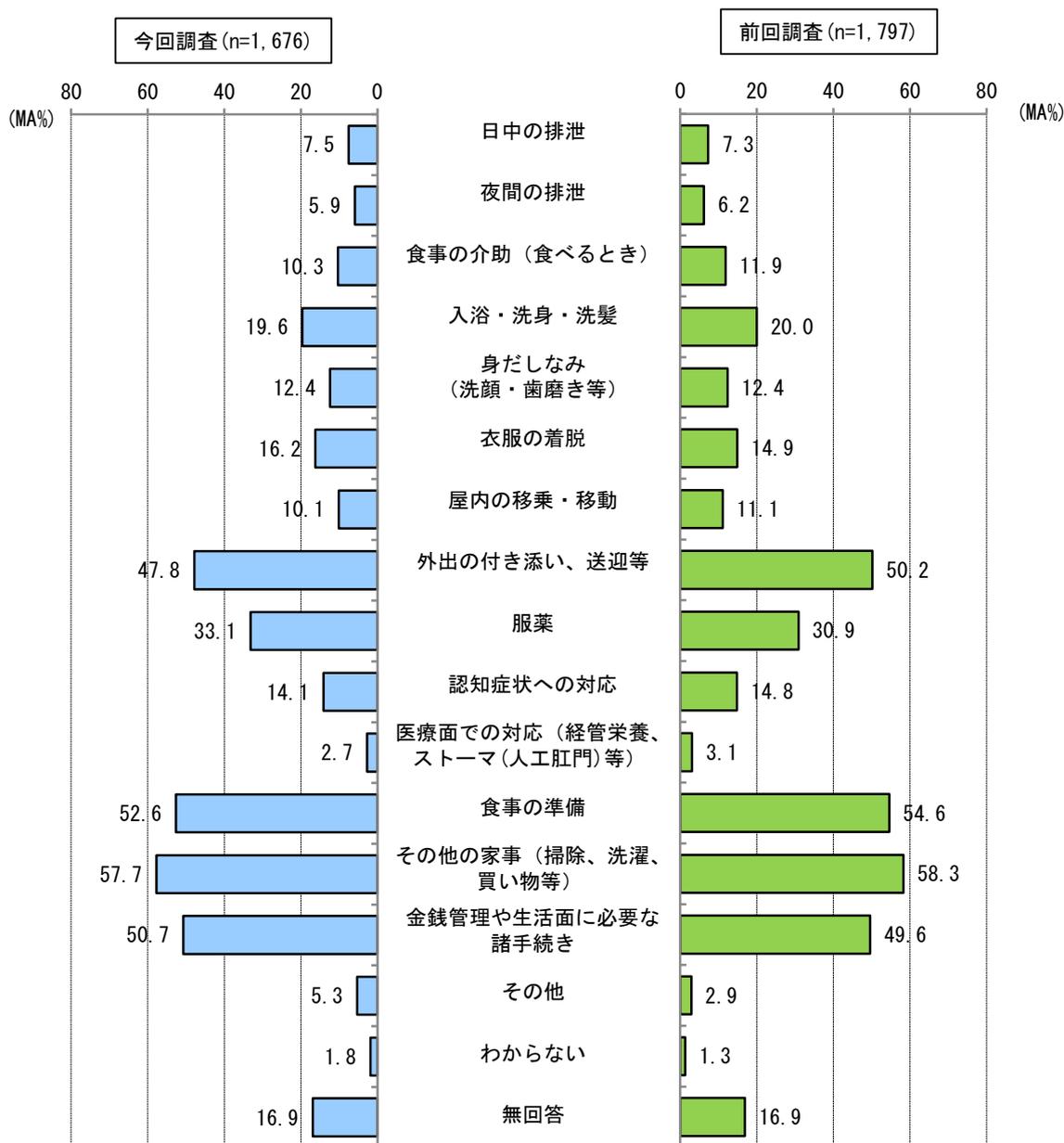
【介護者調査】

サービス未利用者本人に介護者が行っている介護内容は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が57.7%で最も高く、次いで「食事の準備」が52.6%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が50.7%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「外出の付き添い、送迎等」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の順位が入れ替わっている。（B問41[40]）

< B. サービス未利用者 >

【B問41[40] 本人に行っている介護内容（経年比較）】

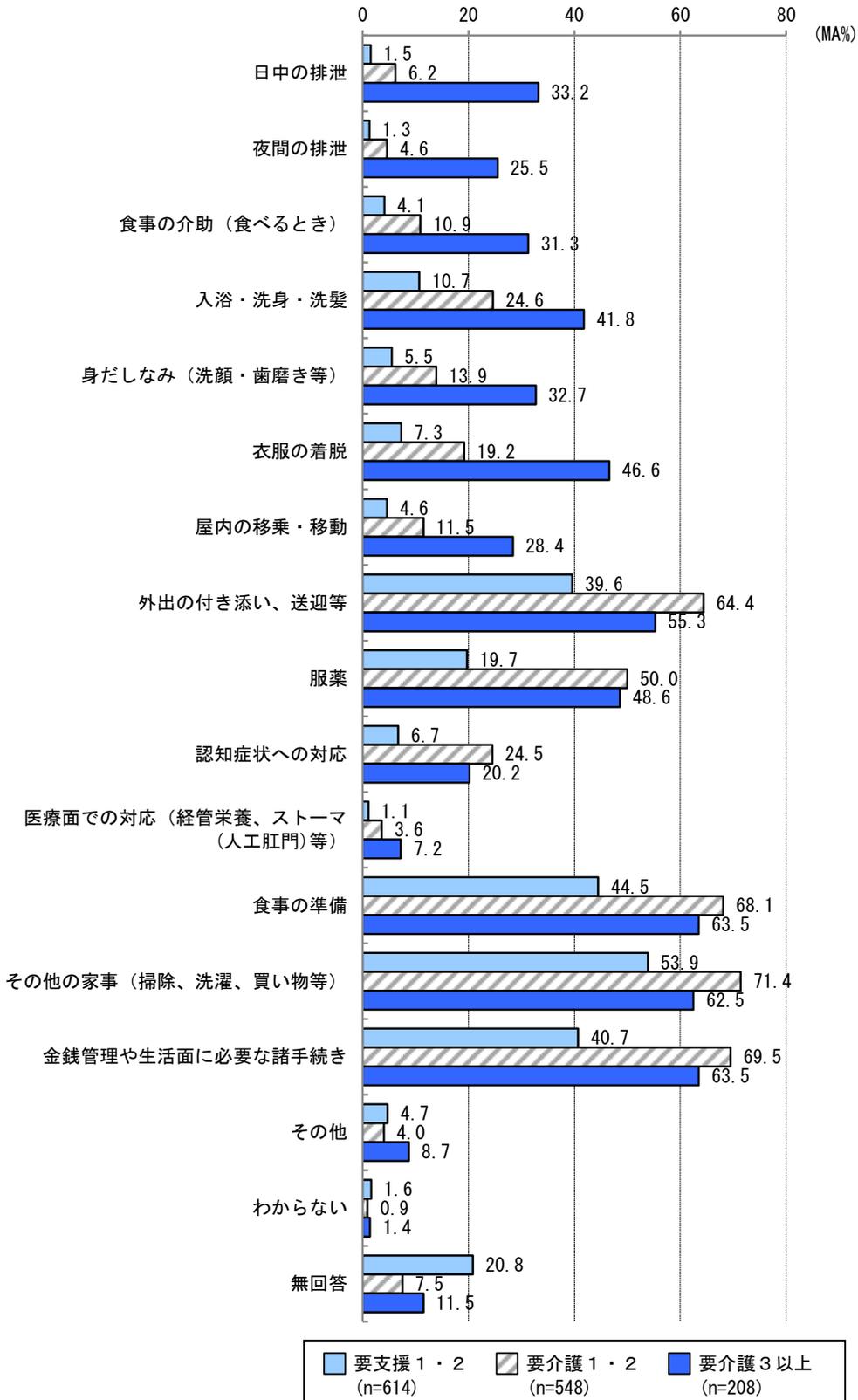


※前回調査の「入浴・洗身」は、今回調査では「入浴・洗身・洗髪」に変更している。

【介護者調査】

本人の要介護度別では、要支援1・2、要介護1・2は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が、要介護3以上では「食事の準備」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の各割合がそれぞれ最も高くなっている。（B問41[40]-a）

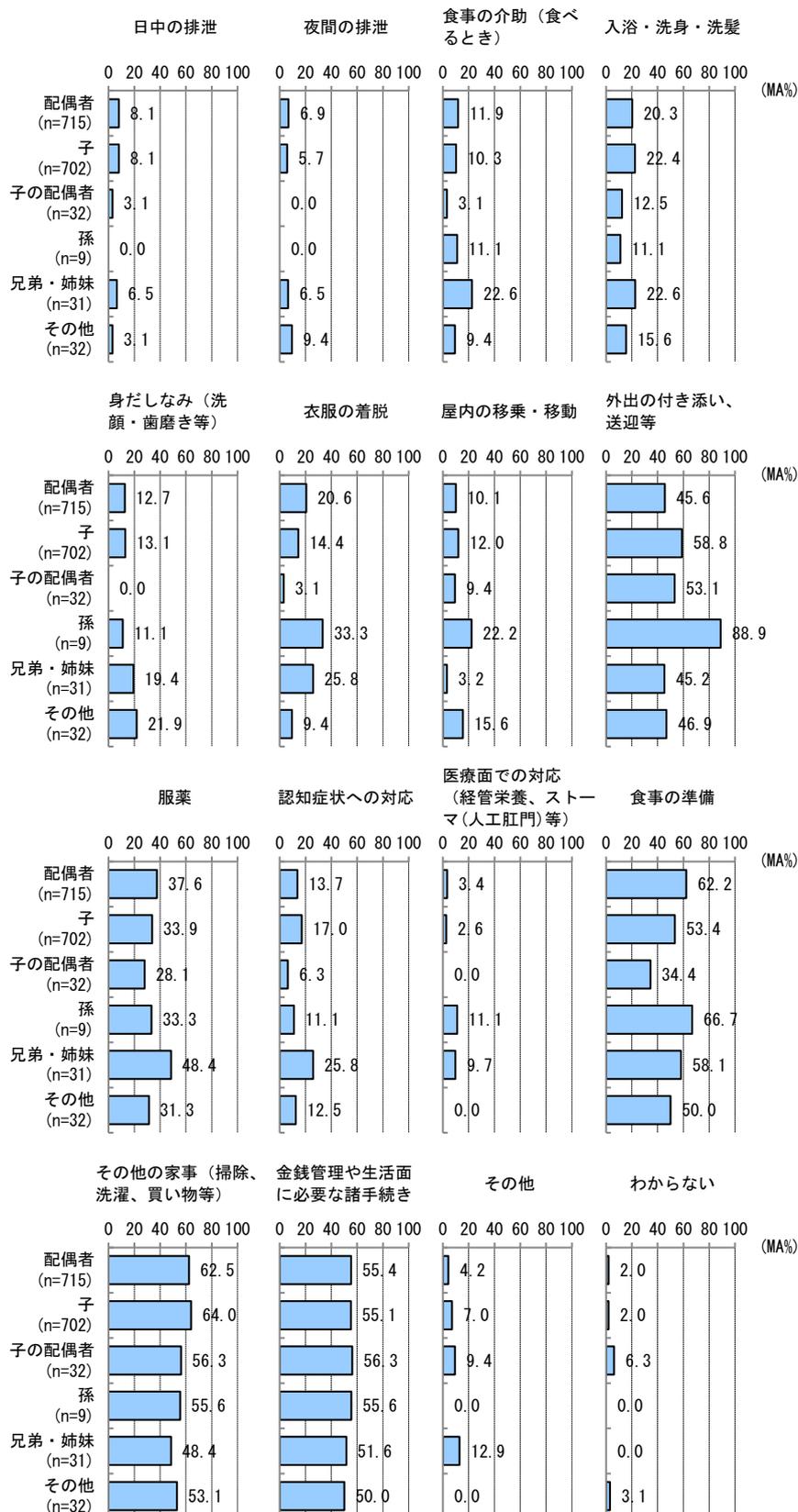
【B問41[40]-a 本人に行っている介護内容（本人の要介護度別）】



【介護者調査】

本人との関係別では、介護者が配偶者、子、子の配偶者では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が最も高くなっている。子の配偶者では、同率で「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」も高くなっている。（B問41[40]-b）

【B問41[40]-b 本人に行っている介護内容（本人との関係別）】



【介護者調査】

本人の認知症の程度別では、各介護内容の割合は、全般に認知症の重度化に伴って高くなる傾向にある。全く認知症の症状がない、もしくは何らかの認知症があっても自立している・自立できる人では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が、介護を必要とする症状のある人では、「食事の準備」または「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が、それぞれ第1位となっている。（B問41[40]-c）

【B問41[40]-c 本人に行っている介護内容（本人の認知症の程度別）】

（単位：MA%）

	n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べるとき）	入浴・洗身・洗髪	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ（人工肛門）等）	食事の準備	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	手続き	金銭管理や生活面に必要な諸	その他	わからない	無回答
全く認知症の症状がない	655	7.8	5.8	9.3	21.4	9.8	14.4	11.0	49.3	24.4	4.4	2.0	52.5	59.1	45.6	5.8	2.1	12.2	
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	456	4.6	3.9	8.1	17.1	9.4	15.1	7.9	49.6	34.9	9.2	3.3	56.4	62.7	55.3	4.6	3.1	7.9	
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	198	5.1	6.1	11.6	18.2	18.7	18.7	12.1	67.2	63.1	37.4	2.0	67.2	73.2	74.7	5.6	-	3.0	
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	97	15.5	10.3	19.6	39.2	32.0	34.0	18.6	66.0	60.8	60.8	3.1	78.4	76.3	79.4	6.2	-	2.1	
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	44	43.2	29.5	43.2	40.9	50.0	54.5	27.3	68.2	75.0	65.9	11.4	86.4	86.4	88.6	13.6	-	-	
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	15	13.3	13.3	13.3	33.3	13.3	20.0	13.3	40.0	20.0	20.0	6.7	40.0	33.3	53.3	20.0	6.7	20.0	

### 問42[41] 自宅での介護で毎月もっとも必要とするもの

あなたが、自宅での介護を行う上で紙おむつや尿とりパッドのほかに、次のうち、毎月もっとも必要とするものに○をつけてください。(○はひとつ)

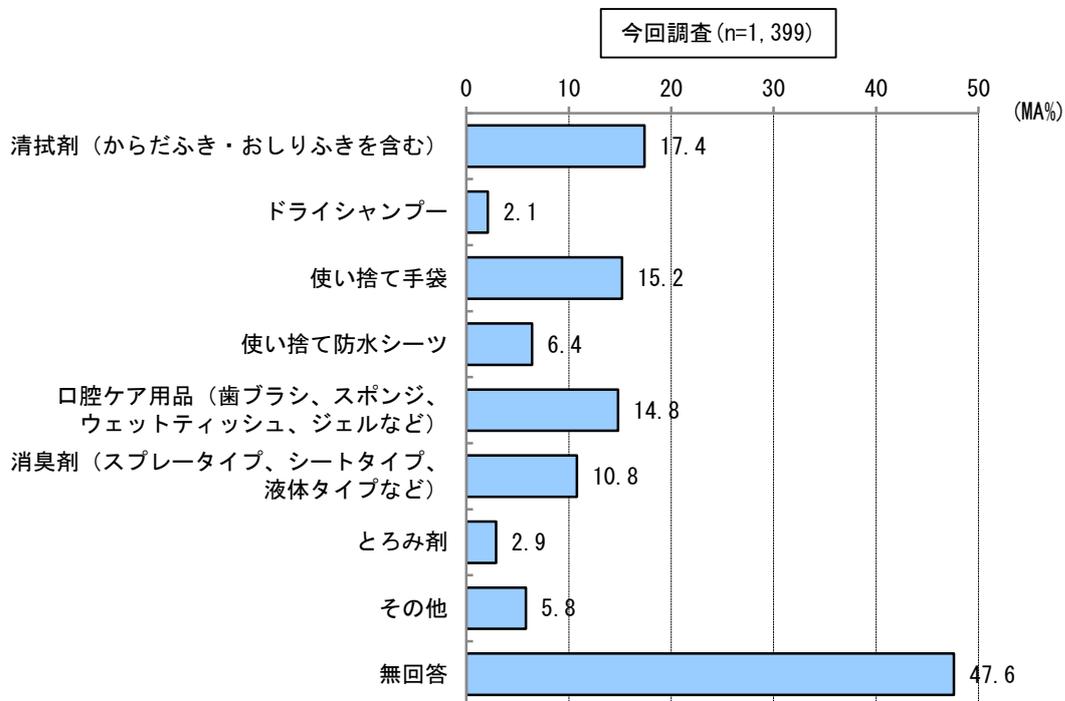
※2つ以上の回答が多かったため、複数回答に変更している。

サービス利用者本人に対し、在宅介護で毎月最も必要とするものは、「清拭剤(からだふき・おしりふきを含む)」の割合が17.4%で最も高く、次いで「使い捨て手袋」が15.2%、「口腔ケア用品(歯ブラシ、スポンジ、ウェットティッシュ、ジェルなど)」が14.8%となっている。

(A問42[41])

#### < A. サービス利用者 >

#### 【A問42[41] 自宅での介護で毎月もっとも必要とするもの】

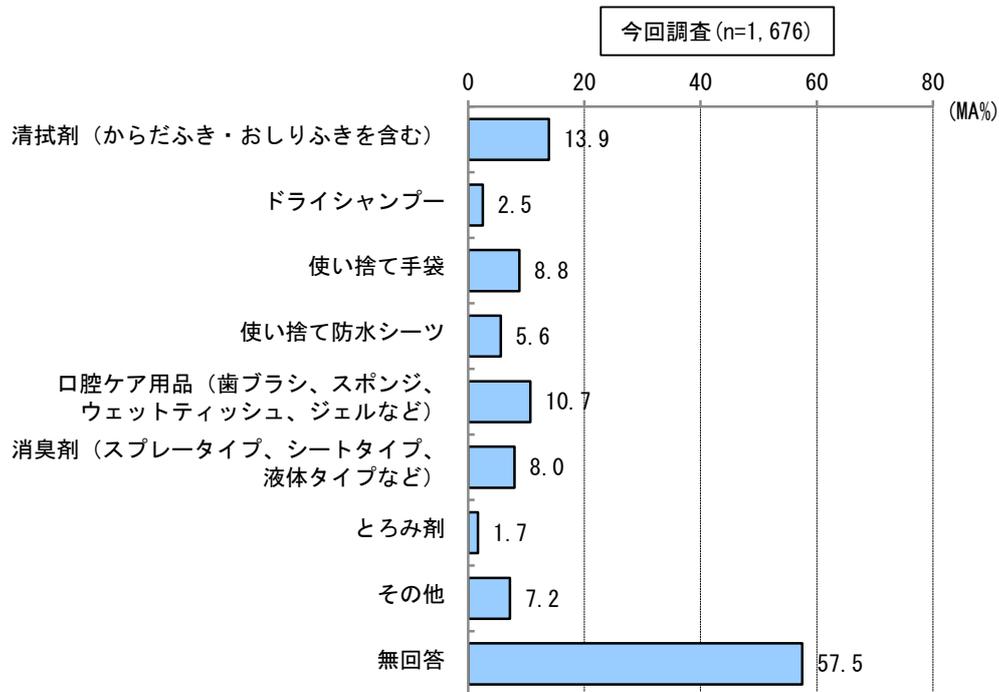


【介護者調査】

サービス未利用者本人に対し、在宅介護で毎月最も必要とするものは、「清拭剤（からだふき・おしりふきを含む）」の割合が13.9%で最も高く、次いで「口腔ケア用品（歯ブラシ、スポンジ、ウェットティッシュ、ジェルなど）」が10.7%、「使い捨て手袋」が8.8%となっている。（B問42[41]）

<B. サービス未利用者>

【B問42[41] 自宅での介護で毎月もっとも必要とするもの】



### (3) 介護上の問題

#### 問43[42] 自宅での介護で困っていること

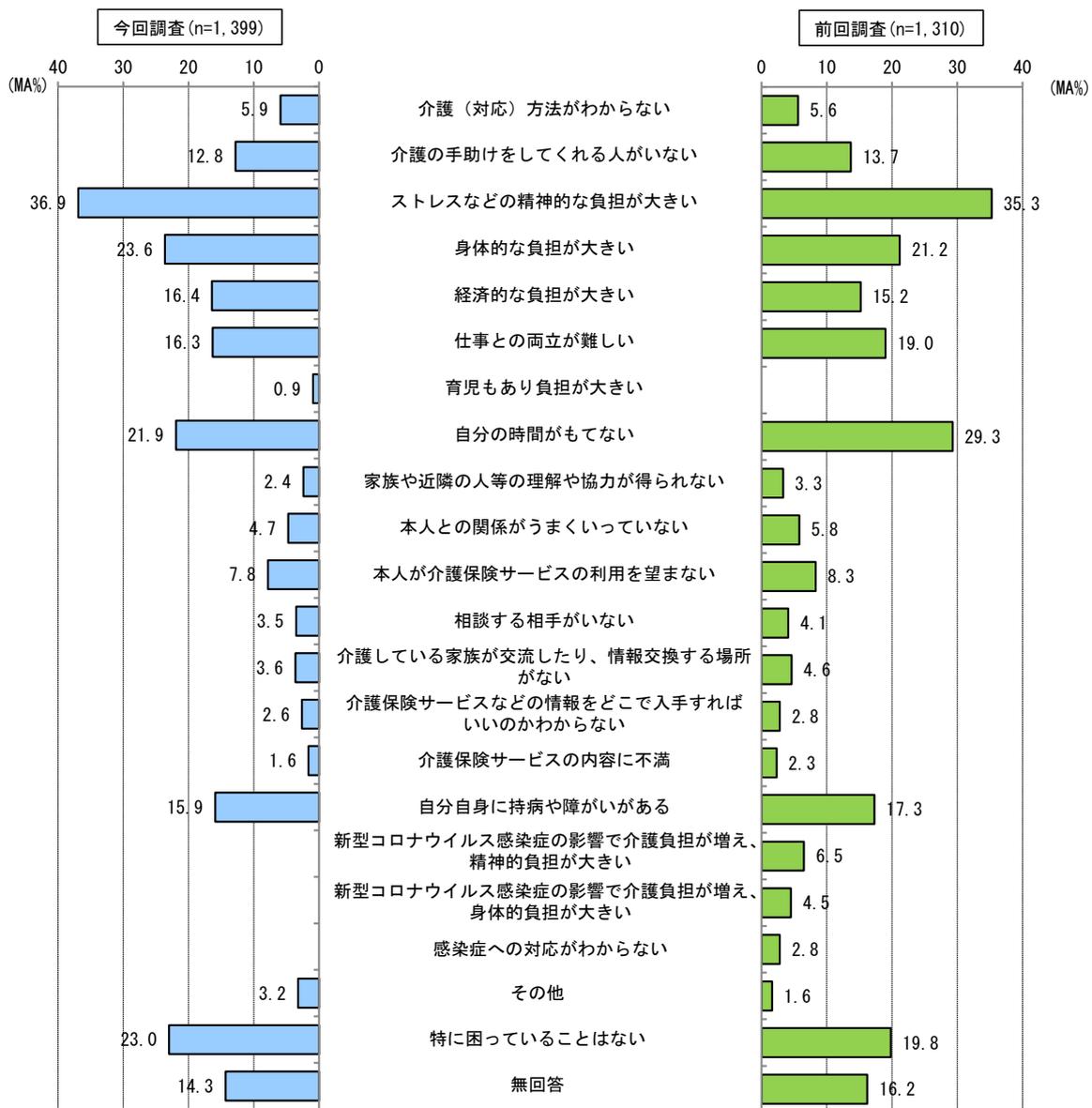
あなたが、自宅での介護を行ううえで困っていることはどのようなことですか。  
(○はいくつでも)

自宅でのサービス利用者の介護で困っていることは、「ストレスなどの精神的な負担が大きい」の割合が36.9%で最も多く、次いで「身体的な負担が大きい」が23.6%、「自分の時間がもてない」が21.9%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「身体的な負担が大きい」と「自分の時間がもてない」の順位が入れ替わっている。(A問43[42])

#### < A. サービス利用者 >

【A問43[42] 自宅での介護で困っていること（経年比較）】



※「育児もあり負担が大きい」は、今回調査の新規項目である。

※前回の「新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増え、精神的負担が大きい」「新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増え、身体的負担が大きい」「感染症への対応がわからない」は、今回調査では設けていない。

【介護者調査】

本人の認知症の程度別では、認知症を有しない高齢者は「特に困っていることはない」の割合が36.8%で最も高くなっている。認知症の症状が少しでも見られる高齢者は「ストレスなどの精神的な負担が大きい」が最も高い。「介護（対応）方法がわからない」「介護の手助けをしてくれる人がいない」「身体的な負担が大きい」の割合は、認知症の重度化に伴って割合が高くなる傾向がみられる。（A問43[42]-a）

【A問43[42]-a 自宅での介護で困っていること（本人の認知症の程度別）】

(単位：MA%)

	n	介護（対応）方法がわからない	介護の手助けをしてくれる人がいない	ストレスなどの精神的な負担が大きい	身体的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事との両立が難しい	育児もあり負担が大きい	自分の時間がもてない	家族や近隣の人等の理解や協力が得られない
全く認知症の症状がない	533	3.9	9.2	24.2	19.9	14.3	12.6	1.1	17.4	1.1
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	400	5.8	14.0	36.5	26.0	15.3	17.0	0.5	19.8	2.3
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	167	9.0	16.2	61.7	28.7	19.2	23.4	-	36.5	4.8
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	104	13.5	23.1	72.1	35.6	34.6	32.7	3.8	33.7	6.7
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	50	14.0	24.0	64.0	42.0	34.0	22.0	2.0	56.0	6.0
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	3	-	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-

	本人との関係がうまくいっていない	本人が介護保険サービスの利用を望まない	相談する相手がいない	介護している家族が交流したり情報交換する場所がない	介護保険サービスなどの情報がない	介護保険サービスの内容に不満	自分自身に持病や障がいがある	その他	特に困っていることはない	無回答
全く認知症の症状がない	2.6	3.8	2.4	2.6	2.3	0.8	11.3	2.6	36.8	10.5
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	6.0	9.8	3.5	3.0	3.3	1.3	18.0	2.8	22.5	11.0
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	7.8	15.0	7.2	8.4	3.0	4.2	22.8	6.0	12.0	1.2
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	6.7	14.4	5.8	2.9	3.8	2.9	26.0	4.8	5.8	2.9
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	10.0	10.0	6.0	12.0	2.0	4.0	20.0	8.0	8.0	6.0
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3

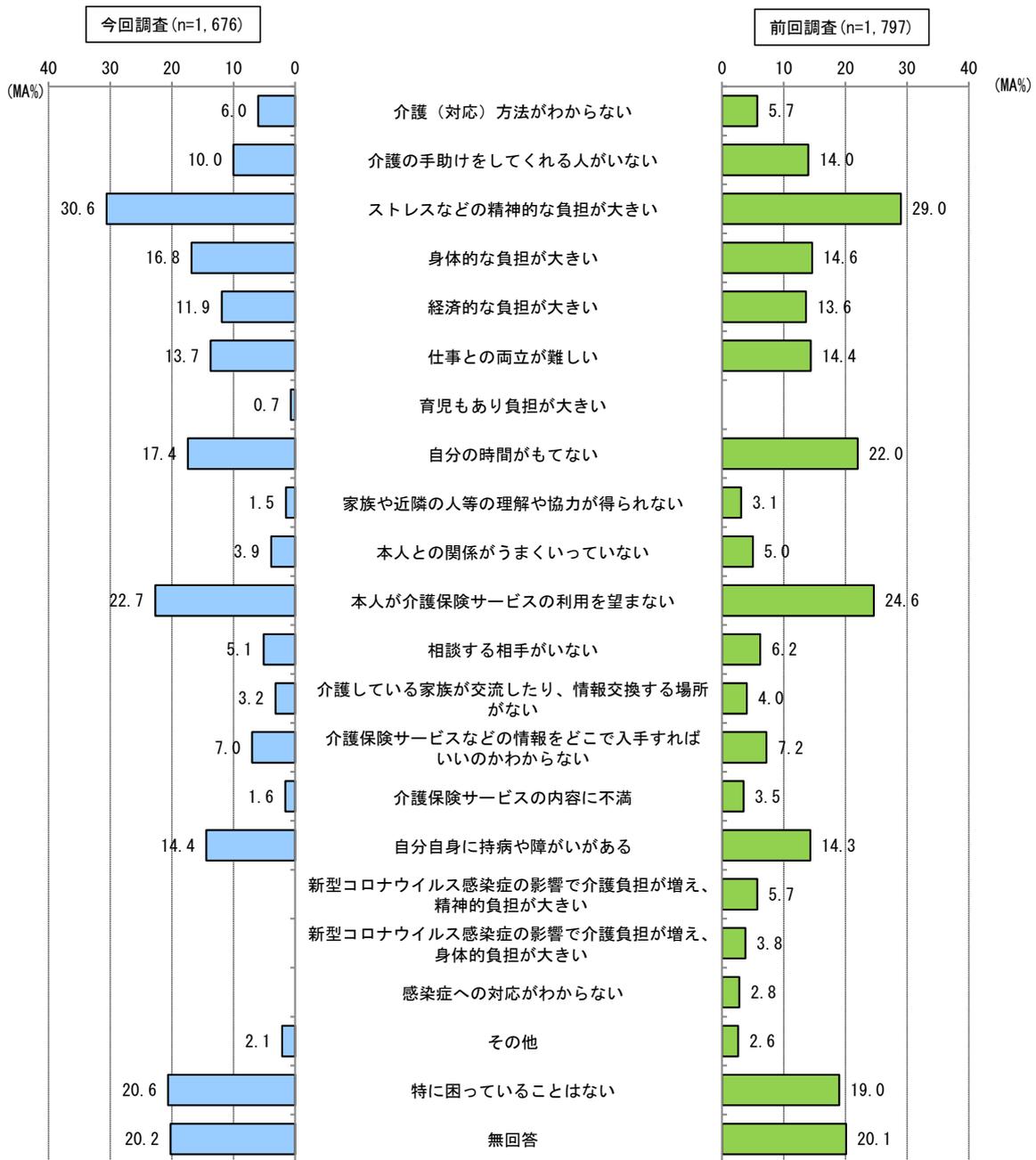
【介護者調査】

自宅でのサービス未利用者の介護で困っていることは、「ストレスなどの精神的な負担が大きい」の割合が30.6%で最も高く、次いで「本人が介護保険サービスの利用を望まない」が22.7%「自分の時間がもてない」が17.4%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(B問43[42])

< B. サービス未利用者 >

【B問43[42] 自宅での介護で困っていること（経年比較）】



※「育児もあり負担が大きい」は、今回調査の新規項目である。

※前回の「新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増え、精神的負担が大きい」「新型コロナウイルス感染症の影響で介護負担が増え、身体的負担が大きい」「感染症への対応がわからない」は、今回調査では設けていない。

【介護者調査】

本人の認知症の程度別では、認知症を有しない高齢者は「特に困っていることはない」の割合が33.0%で最も高くなっている。日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる高齢者では「本人が介護保険サービスの利用を望まない」の割合が最も高く、それ以外の高齢者では「ストレスなどの精神的な負担が大きい」の割合が最も高くなっている。(B問43[42]-a)

【B問43[42]-a 自宅での介護で困っていること（本人の認知症の程度別）】

(単位：MA%)

	n	介護（対応）方法がわからない	介護の手助けをしてくれる人がいない	大きなストレスなどの精神的な負担が大きい	身体的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事との両立が難しい	育児もあり負担が大きい	自分の時間がもてない	家族や近隣の人等の理解や協力が得られない
全く認知症の症状がない	655	5.3	7.9	23.7	15.3	11.5	12.7	1.1	14.0	1.1
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	456	6.4	9.4	30.5	17.5	11.2	12.5	0.4	15.4	0.7
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	198	7.1	14.1	48.0	18.2	15.7	22.7	-	27.3	3.0
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	97	7.2	21.6	57.7	23.7	13.4	24.7	2.1	35.1	5.2
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	44	11.4	27.3	81.8	43.2	27.3	27.3	-	59.1	2.3
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	15	26.7	20.0	46.7	46.7	26.7	6.7	-	33.3	6.7

	本人との関係がうまくいっていない	本人が介護保険サービスの利用を望まない	相談する相手がいない	介護している家族が交流しない	介護情報交換する場がない	介護保険サービスなどの情報がない	介護保険サービスの内容に不満	自分自身に持病や障がいがある	その他	特に困っていることはない	無回答
全く認知症の症状がない	2.6	15.4	4.6	2.0	6.1	1.7	11.9	1.1	33.0	15.4	
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	2.4	22.8	4.6	3.7	7.0	0.9	18.2	2.4	21.9	13.4	
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	7.6	48.5	7.6	5.6	6.6	2.0	14.1	3.0	7.6	4.0	
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	14.4	47.4	10.3	6.2	16.5	1.0	19.6	5.2	4.1	8.2	
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	20.5	40.9	11.4	6.8	13.6	4.5	31.8	11.4	2.3	6.8	
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	-	-	13.3	13.3	20.0	13.3	33.3	-	-	40.0	

問44[43] 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと

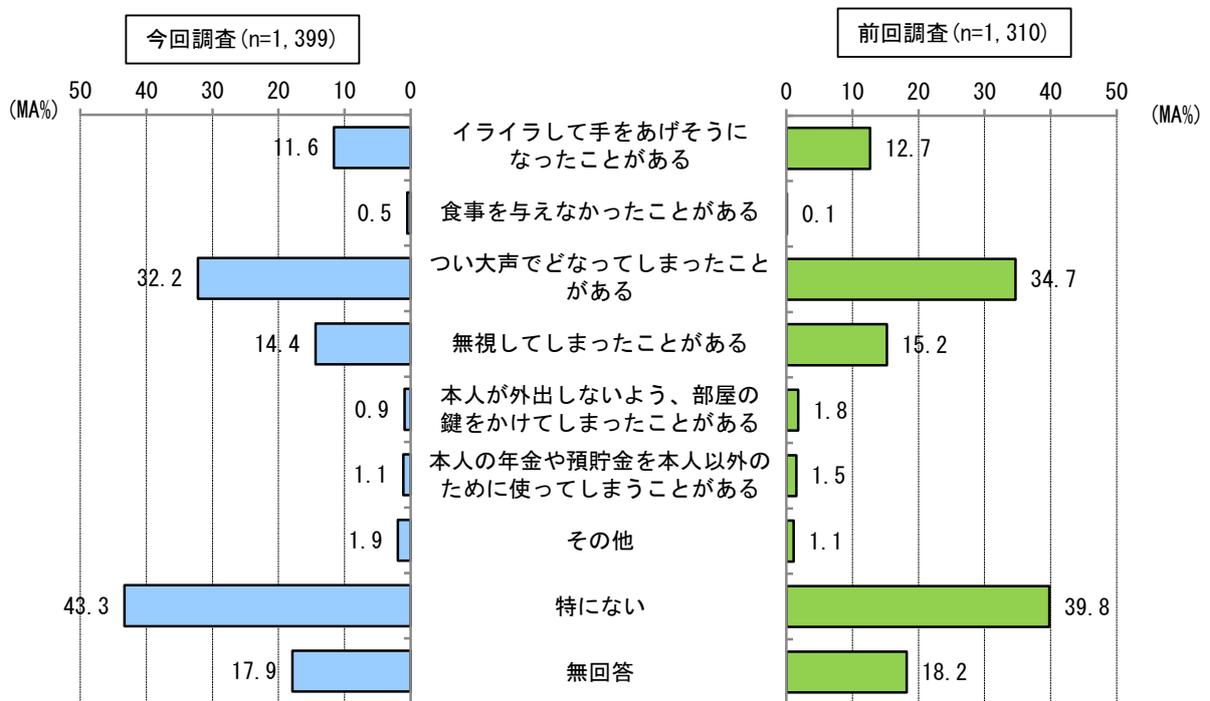
あなたが、自宅での介護を行ううえで、次のような状態になったことがありますか。  
(○はいくつでも)

自宅での介護でサービス利用者本人に対して行ってしまったことは、「つい大声でどなってしまったことがある」の割合が32.2%で最も高く、次いで「無視してしまっただことがある」が14.4%、「イライラして手をあげそうになったことがある」が11.6%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問44[43])

< A. サービス利用者 >

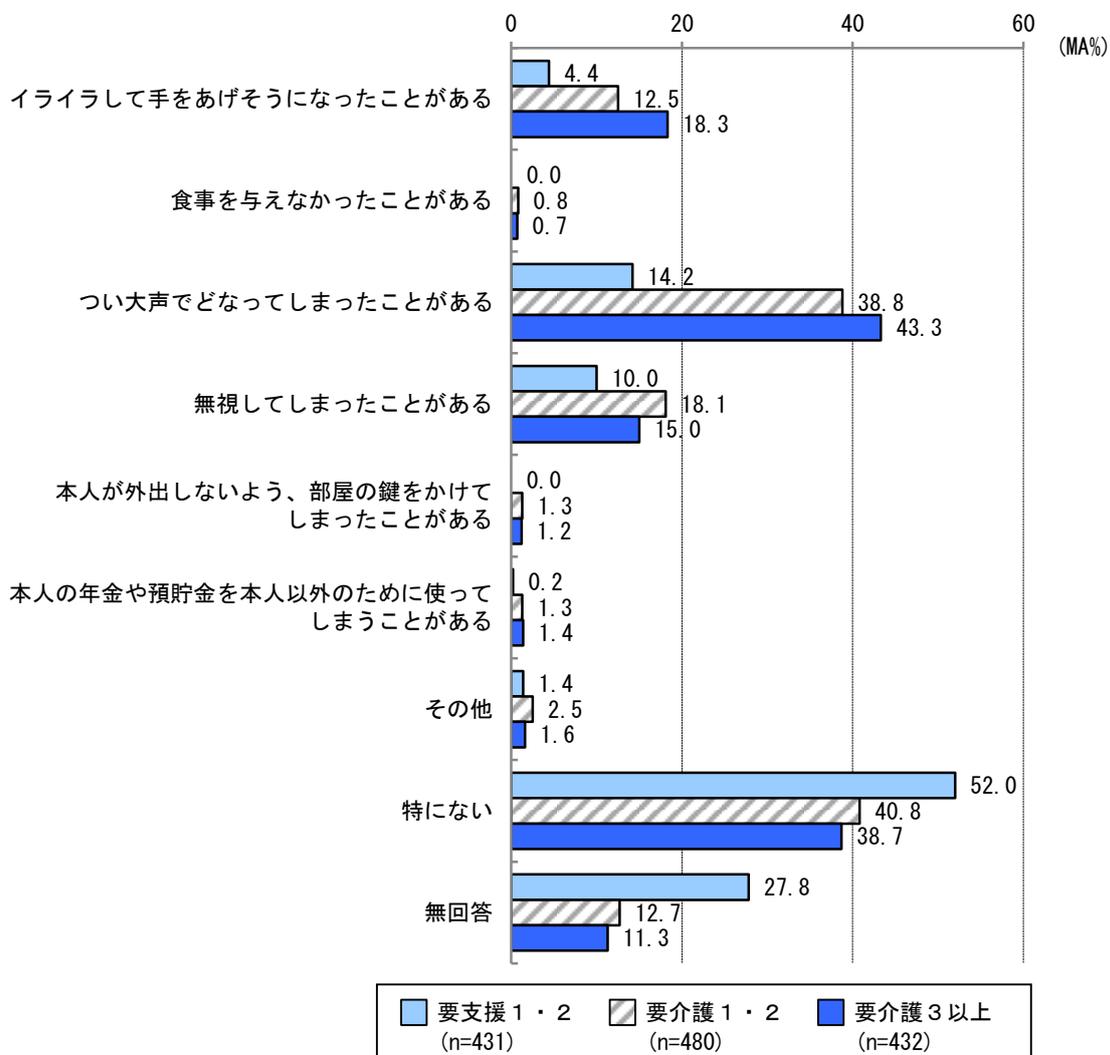
【A問44[43] 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（経年比較）】



【介護者調査】

本人の要介護度別では、要支援1・2、要介護1・2は「特にない」の割合が最も高いが、要介護度が重度になるほど低くなる傾向がみられる。要介護3以上では「つい大声でどなってしまったことがある」が43.3%で最も高くなっている。(A問44[43]-a)

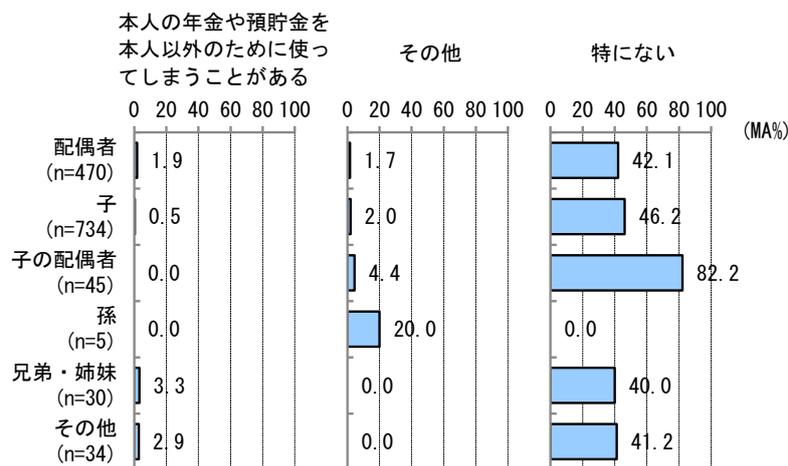
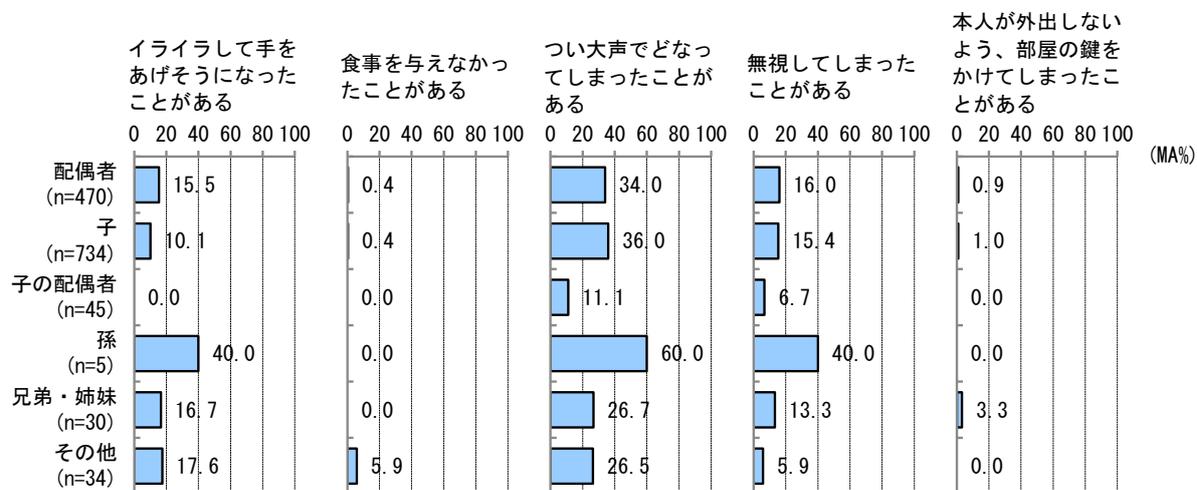
【A問44[43]-a 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人の要介護度別）】



【介護者調査】

本人との関係別では、n数が少ない孫を除いて、関係性にかかわらず「特にない」の割合が最も高くなっている。(A問44[43]-b)

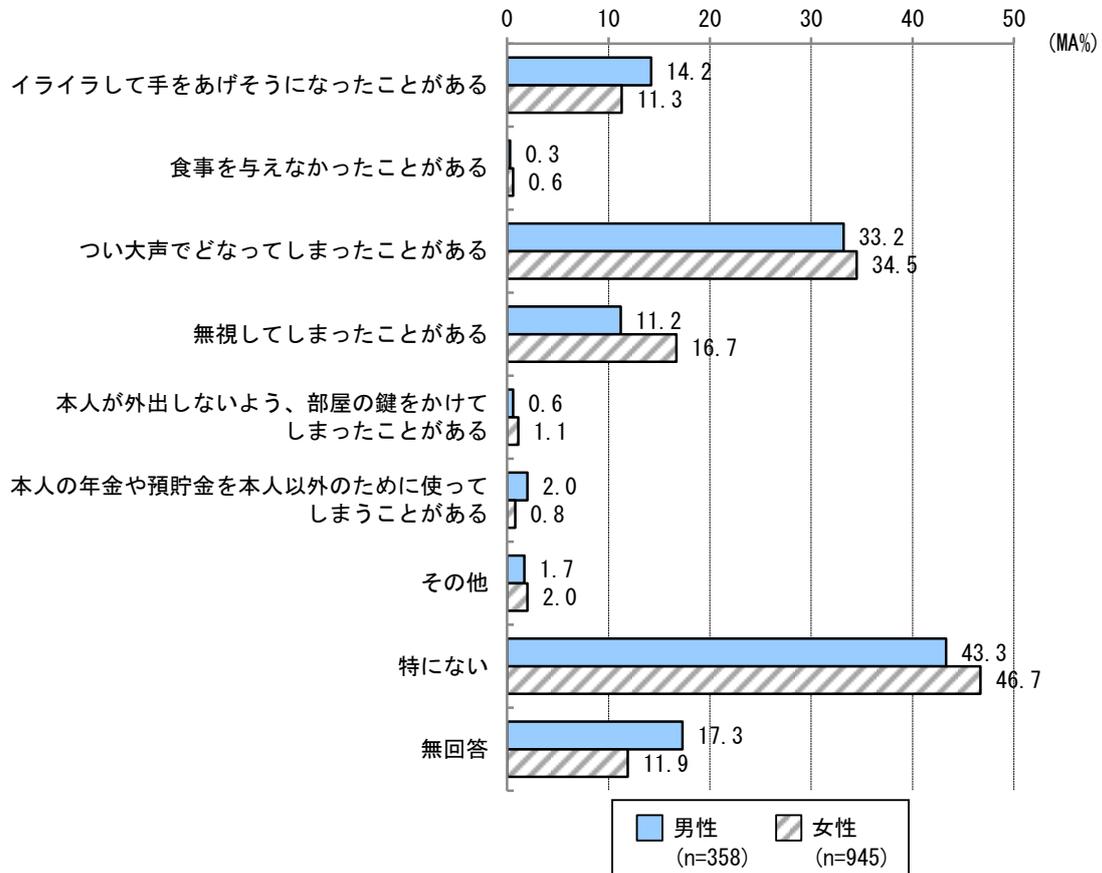
【A問44[43]-b 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人との関係別）】



【介護者調査】

介護者の性別では、男女とも「特にない」の割合が最も高く、次いで「つい大声でどなってしまったことがある」となっている。(A問44[43]-c)

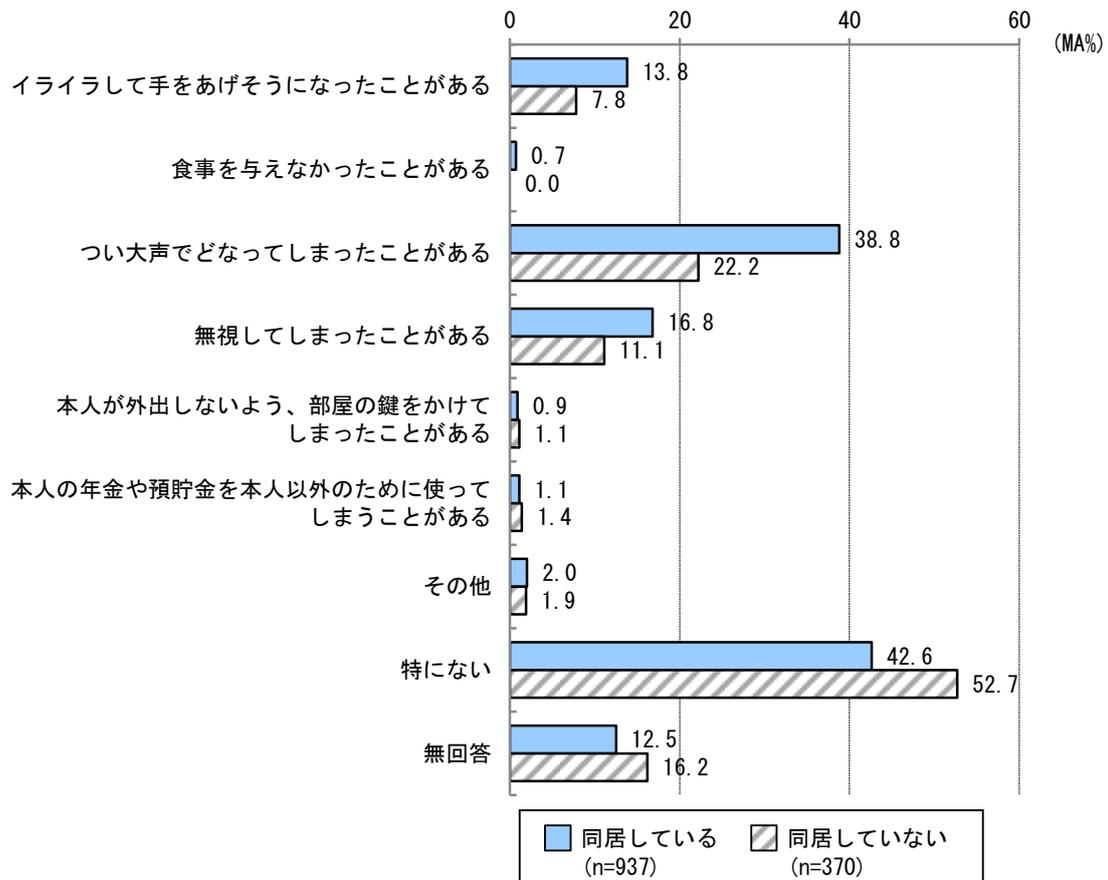
【A問44[43]-c 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（介護者の性別）】



【介護者調査】

本人との同居の有無別では、同居の有無にかかわらず「特にない」の割合が最も高い。次いで「つい大声でどなってしまったことがある」が続いており、同居していない介護者より同居している介護者の方が16.6ポイント高くなっている。本人に対して行ってしまった行為の割合は、「本人が外出しないよう、部屋の鍵をかけてしまったことがある」「本人の年金や預貯金を本人以外のために使ってしまうことがある」を除いて、同居していない介護者に比べて同居している介護者で高い傾向にある。(A問44[43]-d)

【A問44[43]-d 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人との同居の有無別）】



【介護者調査】

本人の認知症の程度別では、認知症を有しない高齢者や、何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している高齢者では「特にない」の割合が最も高くなっている。認知症の症状が見られ、見守りや介護を必要とする高齢者に対しては「つい大声でどなってしまったことがある」の割合が最も高くなっている。(A問44[43]-e)

【A問44[43]-e 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人の認知症の程度別）】

(単位：MA%)

	n	イライラして手 をあげそうになっ たことがある	食事を与えなかつた ことがある	つい大声でどなつて しまったことがある	無視してしまつたこ とがある	本人が外出しないよ う、部屋の鍵	本人の年金や預貯金 を本人以外のため に使うてしまふこと がある	その他	特にな い	無回 答
全く認知症の症状がない	533	8.1	0.4	19.7	6.8	0.2	0.6	0.8	60.8	15.2
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	400	8.3	0.5	32.8	17.3	-	0.8	2.0	45.5	12.5
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	167	17.4	0.6	55.7	28.1	2.4	3.0	3.6	30.5	4.8
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	104	33.7	1.0	66.3	25.0	3.8	1.0	3.8	20.2	5.8
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	50	28.0	-	66.0	30.0	6.0	4.0	4.0	12.0	14.0
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	3	33.3	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-	33.3

【介護者調査】

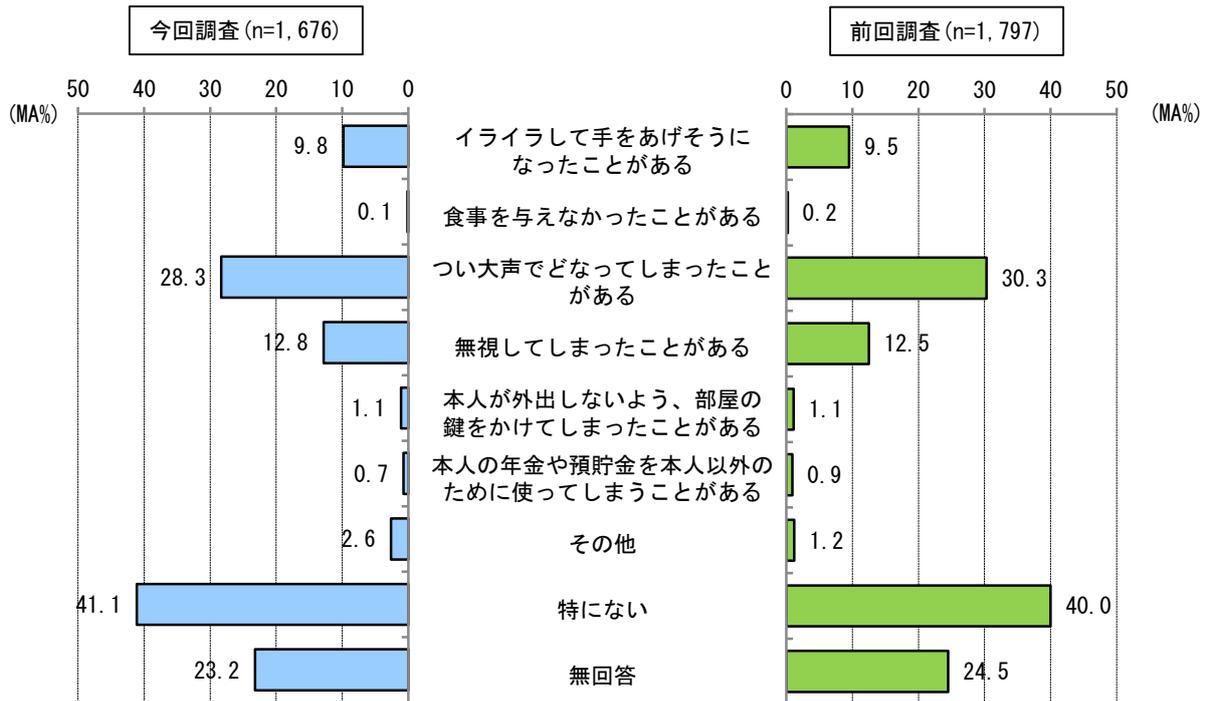
自宅での介護でサービス未利用者本人に対して行ってしまったことは、「つい大声でどなってしまったことがある」の割合が28.3%で最も高く、次いで「無視してしまっただことがある」が12.8%、「イライラして手をあげそうになったことがある」が9.8%となっている。

また、「特にない」が41.1%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(B問44[43])

< B. サービス未利用者 >

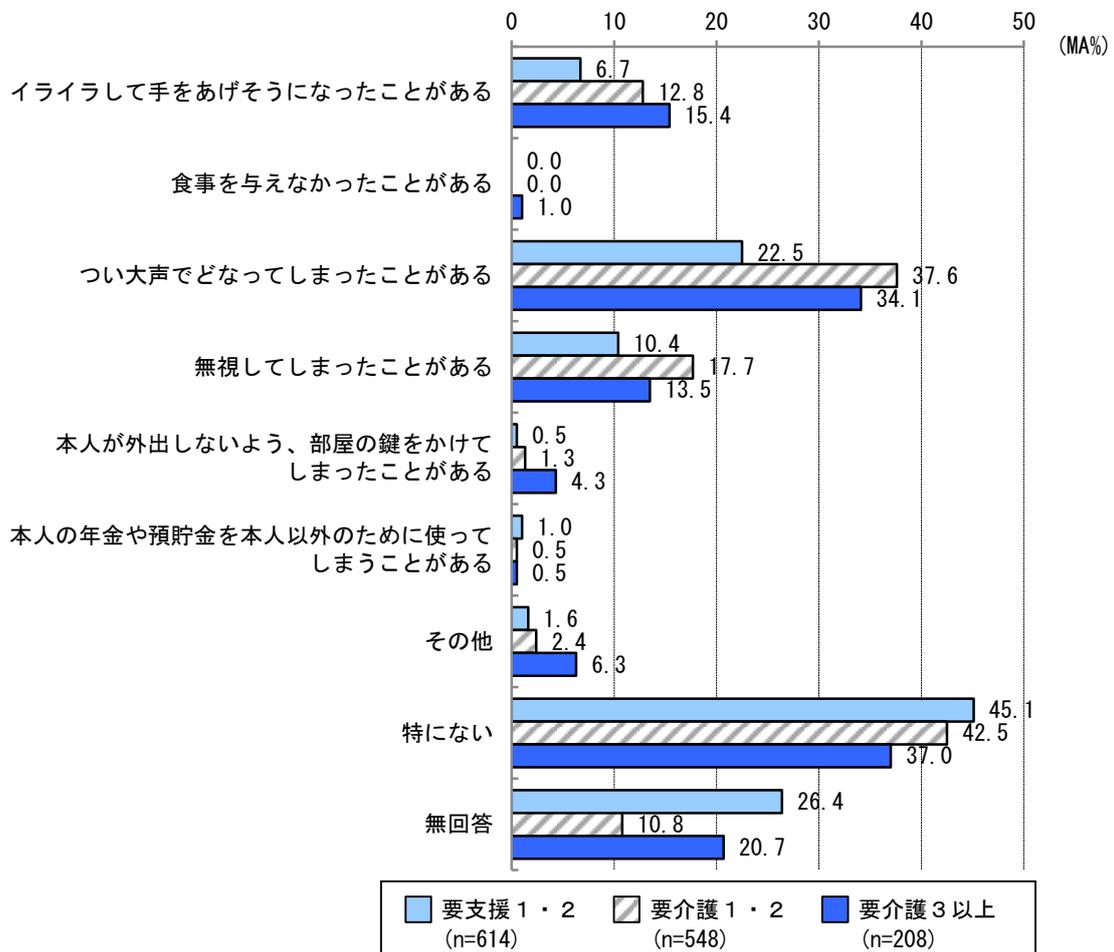
【B問44[43] 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（経年比較）】



【介護者調査】

本人の要介護度別では、要介護度にかかわらず「特にない」の割合が最も高い。次いでい  
 ずれも「つい大声でどなってしまったことがある」で、要介護1・2が37.6%で最も高くなっ  
 ている。(B問44[43]-a)

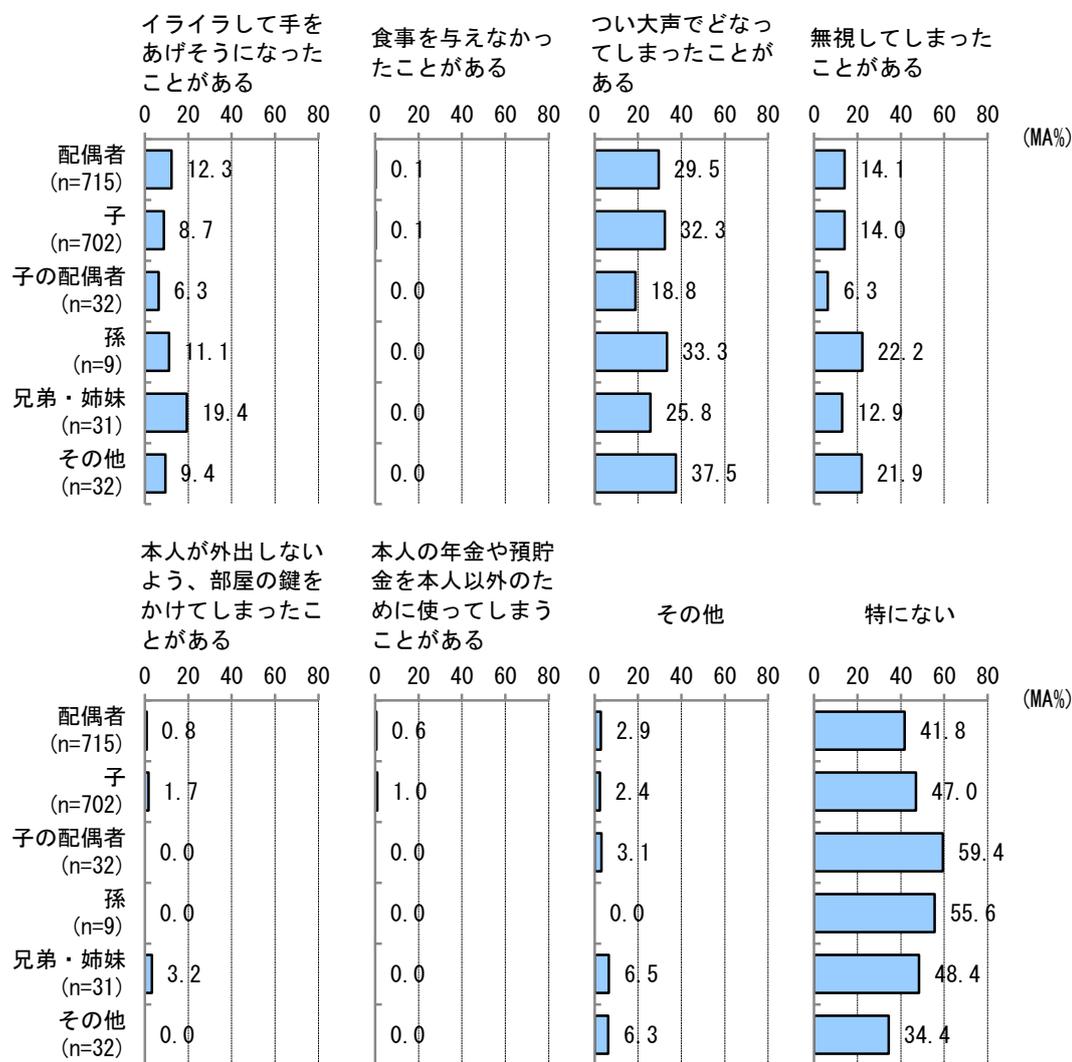
【B問44[43]-a 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人の要介護度別）】



【介護者調査】

本人との関係別では、その他を除いて、関係性にかかわらず「特にない」の割合が最も高くなっている。(B問44[43]-b)

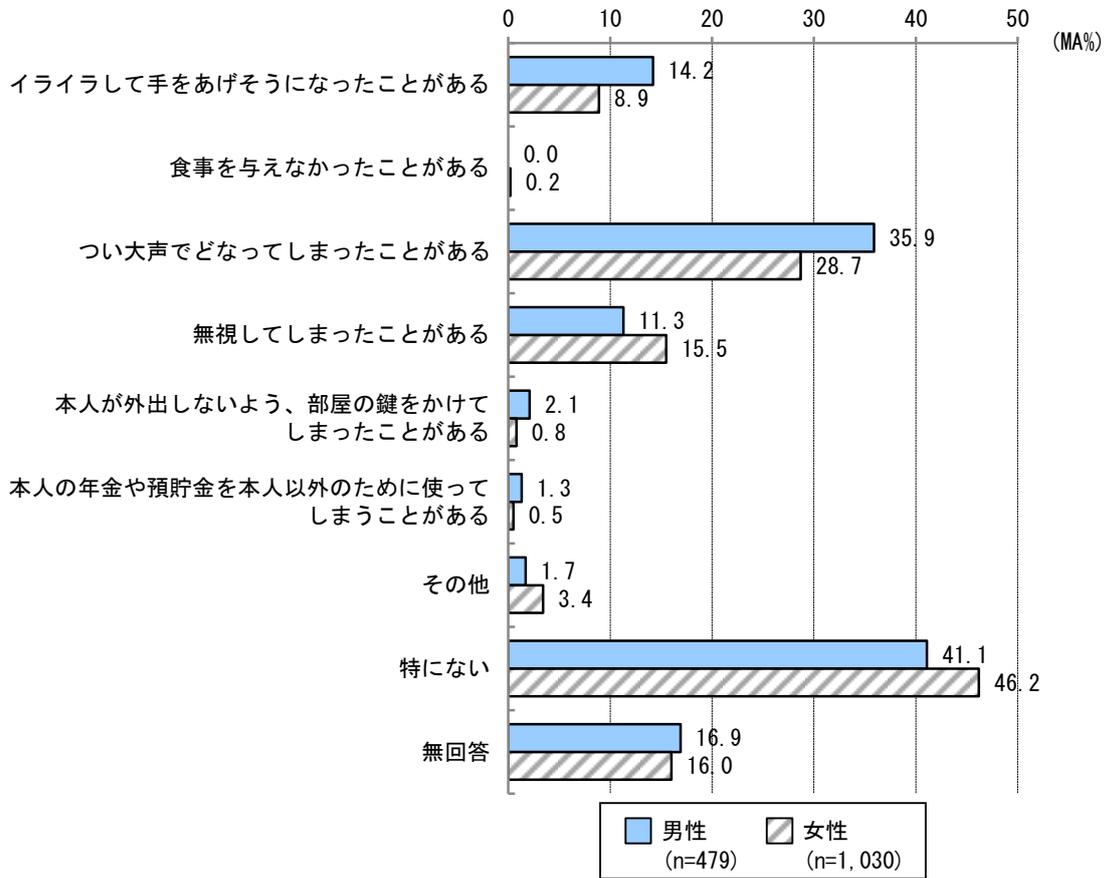
【B問44[43]-b 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人との関係別）】



【介護者調査】

介護者の性別では、男女とも「特にない」の割合が最も高い。次いで男女とも「つい大声でどなってしまったことがある」が続いている。(B問44[43]-c)

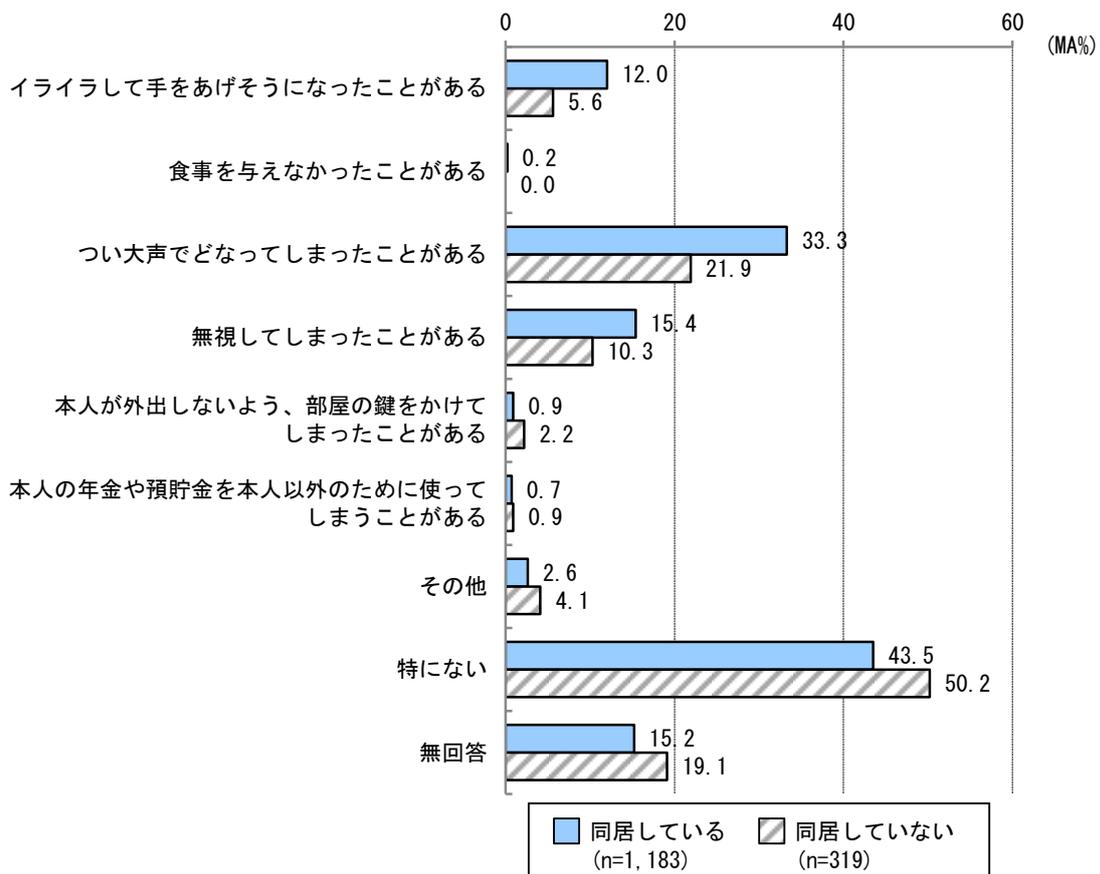
【B問44[43]-c 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（介護者の性別）】



【介護者調査】

本人との同居の有無別では、同居の有無にかかわらず「特にない」の割合が最も高く、次いで「つい大声でどなってしまったことがある」が続いている。本人に対して行ってしまった行為の割合は、「本人が外出しないよう、部屋の鍵をかけてしまったことがある」「本人の年金や預貯金を本人以外のために使ってしまうことがある」を除いて、同居していない介護者に比べて同居している介護者で高い傾向にある。(B問44[43]-d)

【B問44[43]-d 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人との同居の有無別）】



【介護者調査】

本人の認知症の程度別では、認知症を有しない高齢者や、何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している高齢者は「特にない」の割合が最も高くなっている。認知症の症状が見られ、見守りや介護を必要とする高齢者に対しては「つい大声でどなってしまったことがある」の割合が最も高くなっている。(B問44[43]-e)

【B問44[43]-e 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと（本人の認知症の程度別）】

(単位：MA%)

	n	こ イ ラ イ ア ル 手 を あ げ そ う に な っ た	食 事 を 与 え な か っ た こ と が あ る	あ つ い 大 声 で ど な っ て し ま っ た こ と が	無 視 し て し ま っ た こ と が あ る	本 人 が 外 出 し な い よ う 、 部 屋 の 鍵 を	本 人 の 年 金 や 預 貯 金 を 本 人 以 外 の た め に 使 っ て し ま う こ と が あ る	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全く認知症の症状がない	655	5.2	-	19.1	8.5	0.5	0.3	2.0	56.5	18.0
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	456	9.6	-	26.3	11.2	0.4	1.3	2.2	48.0	17.3
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	198	13.6	0.5	54.5	26.3	2.0	1.0	3.5	26.3	7.1
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	97	27.8	-	66.0	33.0	5.2	-	2.1	13.4	9.3
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	44	43.2	2.3	70.5	29.5	9.1	-	13.6	13.6	9.1
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	15	26.7	-	33.3	13.3	6.7	-	20.0	6.7	40.0

### 問44-1[43-1] 虐待的行為が緩和される支援(自由記述)

どのような支援があれば、問44[43]のような状態が緩和されますか。ご意見などありましたら、次の欄に記入してください。

#### <A. サービス利用者>

107人から延べ115件の意見が挙がっている。

##### 【主な意見】

- ・デイサービス・ショートステイを利用できれば良い。施設入所してほしい。
- ・必要な時にスムーズにサービスを利用したい。利用できるサービスを充実させてほしい。
- ・介護者のストレス解消、身近な相談窓口、共感してくれる人、交流の場がほしい。
- ・経済的支援をしてほしい。介護者に手当がほしい。
- ・現状の介護が大変である、辛い、ストレスが溜まっている。
- ・介護者が自分の時間をとれるような支援をしてほしい。ボランティアの支援を受けたい。
- ・認知症に対する理解を深める、認知症介護のアドバイスをしてほしい。
- ・コミュニケーションをとる、気持ちを切り替える、前向きに考える。

#### <B. サービス未利用者>

133人から延べ134件の意見が挙がっている。

##### 【主な意見】

- ・本人は望まないが、デイサービス・ショートステイを利用してほしい・施設入所してほしい。
- ・必要な時にスムーズにサービスを利用したい。一時的に利用できるサービスを充実させてほしい。
- ・気持ちを切り替える、前向きに考える、理解・我慢するしかない、仕方がない、諦めている。
- ・経済的支援をしてほしい。介護離職をしなくて良い支援が必要である。
- ・介護者のストレス解消、身近な相談窓口、共感してくれる人、交流の場がほしい。
- ・介護者が自分の時間をとれる支援をしてほしい。誰かの手助け・協力が必要である。
- ・介護者や家族以外の人とのコミュニケーションが増えれば良い。訪問介護の回数を増やしてほしい。
- ・現状の介護が大変である、辛い、ストレスが溜まっている。介護者の精神的ケアが必要である。

### 問45[44] 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度

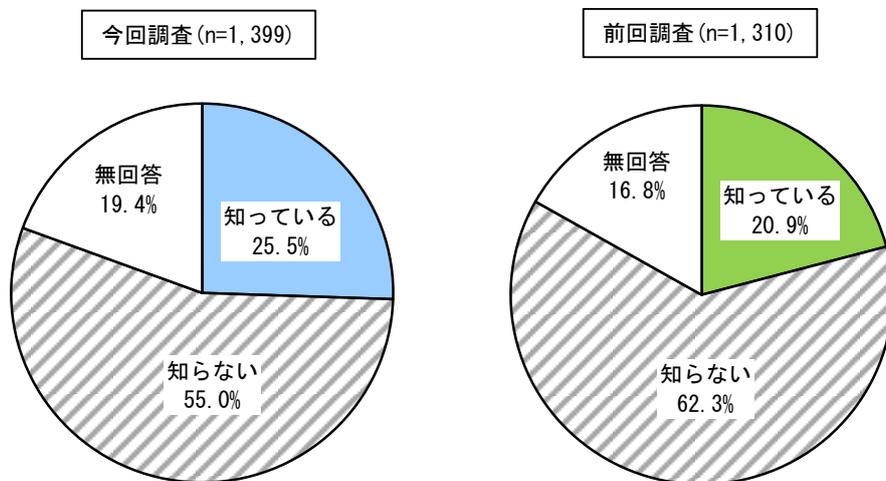
あなたは、あなたの周囲の高齢者が身近な人からの暴力や暴言、身体拘束や閉じ込め、介護や世話の放棄、年金の使い込みといった「高齢者虐待」を受けた場合の通報・相談先をご存じですか。(〇はひとつ)

サービス利用者本人の介護者で、高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先を「知っている」の割合は25.5%に対し、「知らない」が55.0%となっている。

前回調査の結果に比べ、「知っている」の割合は4.6ポイント増加している。(A問45[44])

#### <A. サービス利用者>

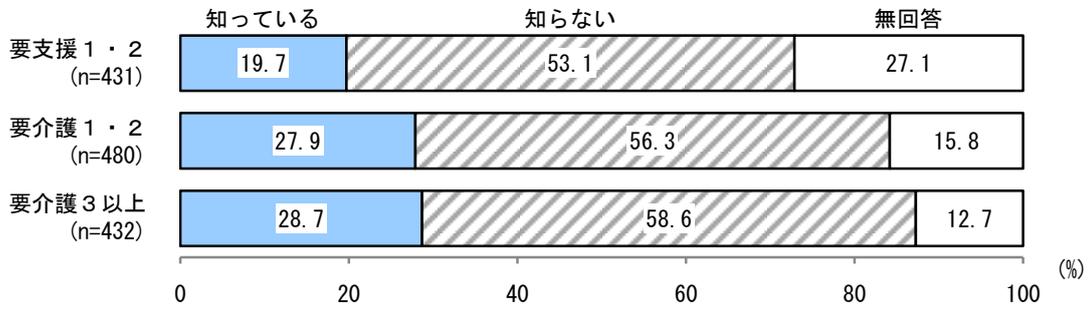
#### 【A問45[44] 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度（経年比較）】



【介護者調査】

本人の要介護度別では、「知っている」の割合は、要介護度が重度になるほど高く、要介護3以上が28.7%で最も高くなっている。(A問45[44]-a)

【A問45[44]-a 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度（本人の要介護度別）】



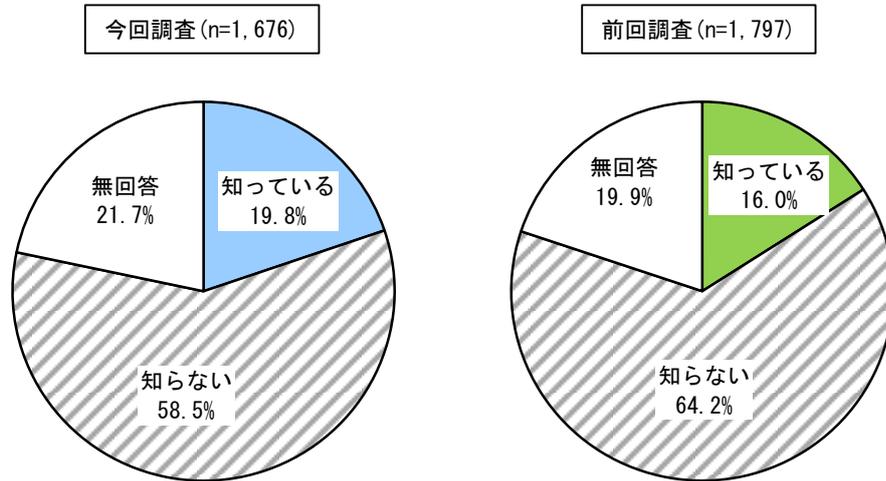
【介護者調査】

サービス未利用者本人の介護者で、高齢者虐待に対する通報・相談先を「知っている」の割合は19.8%に対し、「知らない」が58.5%となっている。

前回調査の結果に比べ、「知っている」の割合は3.8ポイント増加している。(B問45[44])

< B. サービス未利用者 >

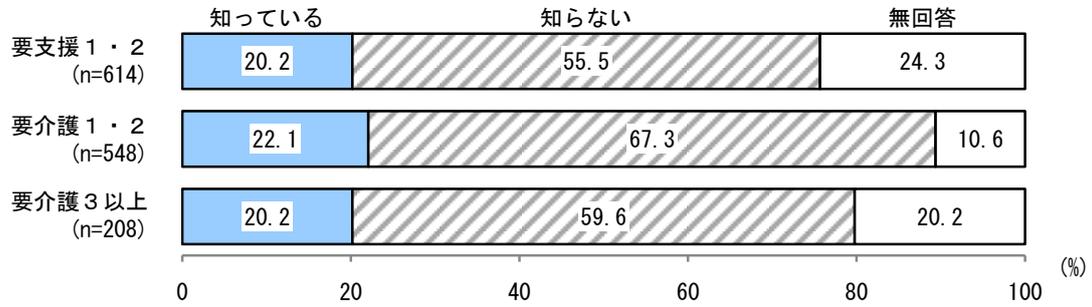
【B問45[44] 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度（経年比較）】



【介護者調査】

本人の要介護度別では、「知っている」の割合は要介護1・2が22.1%で最も高く、「知らない」の割合も要介護1・2が67.3%で最も高くなっている。(B問45[44]-a)

【B問45[44]-a 高齢者虐待を受けた場合の通報・相談先の認知度（本人の要介護度別）】



### 問46 本人が介護保険サービスを利用することによる介護者の変化

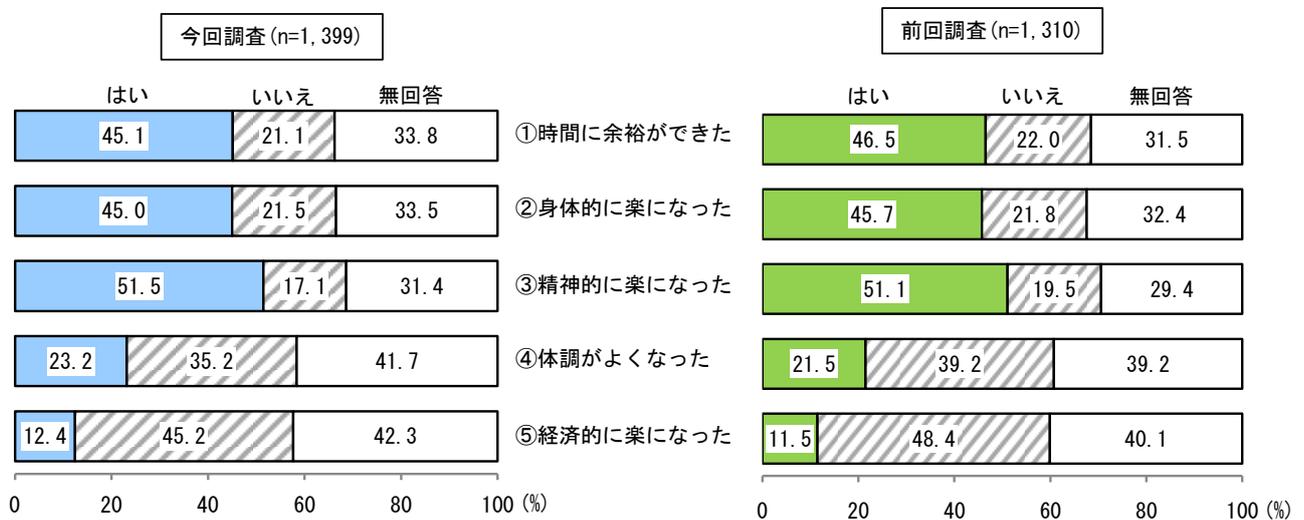
ご本人が介護保険サービスを利用することによって、あなたにどのような変化がありましたか。それぞれ「はい・いいえ」のどちらかに○をつけてください。

サービス利用者本人が介護保険サービスを利用することによる介護者の心身の変化で最も割合が高いものは、“③精神的に楽になった”（51.5%）で、次いで“①時間に余裕ができた”（45.1%）、“②身体的に楽になった”（45.0%）である。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（A問46）

#### < A. サービス利用者のみ >

【A問46 本人が介護保険サービスを利用することによる介護者の変化（経年比較）】



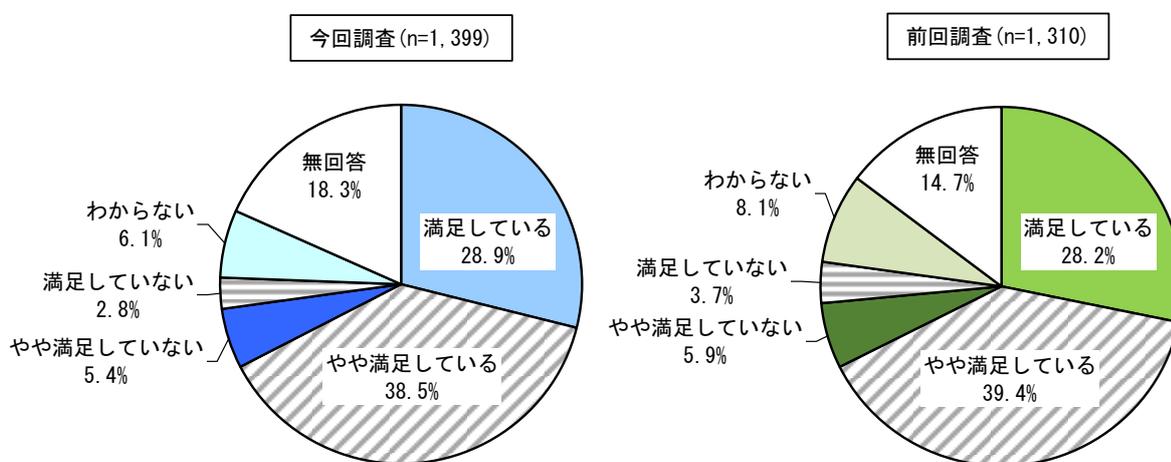
### 問47 本人が利用している介護保険サービスに対する介護者の満足度

ご本人が利用している介護保険サービスについて、主な介護者の方は満足していますか。  
(○はひとつ)

サービス利用者本人が利用している介護保険サービスに対し、介護者は、「やや満足している」の割合が38.5%で最も高く、次いで「満足している」が28.9%となっている。「満足している」と「ほぼ満足している」をあわせた『満足』の割合は67.4%となっている。(A問47) 前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問47)

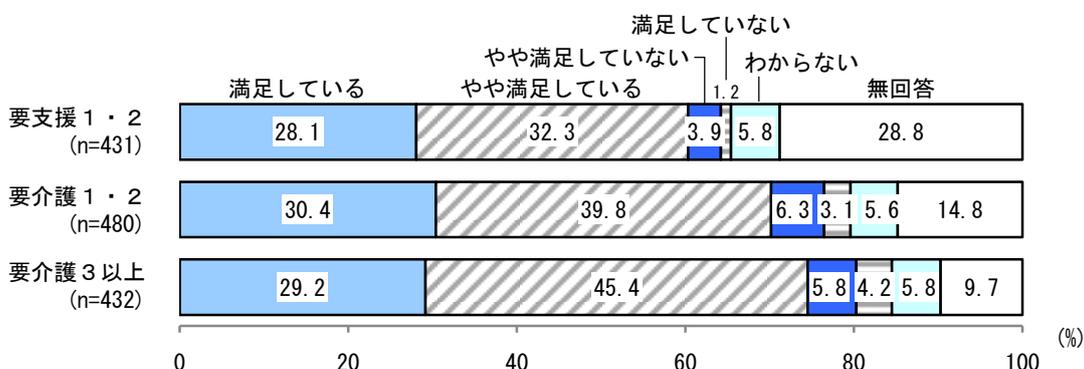
#### < A. サービス利用者のみ >

【A問47 本人が利用している介護保険サービスに対する介護者の満足度（経年比較）】



本人の要介護度別では、『満足』の割合は、要介護度が重度になるほど高く、要介護3以上が74.6%で最も高い。(A問47-a)

【A問47-a 本人が利用している介護保険サービスに対する介護者の満足度（本人の要介護度別）】



### 問47-1 本人利用の介護保険サービスに対する介護者の満足度の理由(自由記述)

上記を選択した具体的な理由等についてご記入ください。

#### <A. サービス利用者のみ>

355人から延べ375件の意見が挙がっている。

#### 【主な意見】

##### <満足理由>

- ・デイサービスに行くことが楽しみになっている様子である。
- ・本人が嫌がっていない、体調が良くなった。
- ・介護者の負担軽減になっている。介護者の自由時間ができて有難い。日中安心できるようになった。仕事と両立できるようになった。
- ・希望した介護や本人・家族の状況に応じたサービスを受けられている。困った時に助けてくれる。緊急時に対応してくれる。相談に乗ってもらえる。
- ・ケアマネジャーやヘルパーさんが良くしてくれる。
- ・手すり・スロープの取り付けや福祉用具を安価で利用できて助かっている。

##### <不満理由>

- ・介護者が希望していても、本人が希望していない。嫌がっている。本人の希望に合っていない。
- ・サービス提供時間が短い。サービス内容に不足がある。規制が多すぎる。希望するサービスは全て受けたい。
- ・経済的負担が大きい。
- ・もっと家族の負担を軽減したい。介護者の支援がない。結局家族の負担が増えている。

##### <どちらともいえない理由>

- ・サービスは有難いが、内容・時間・スタッフの質等に不足があり満足とはいえない。
- ・結局、家族の負担がある。

### 問[45] 本人に対する介護保険サービスの利用意向

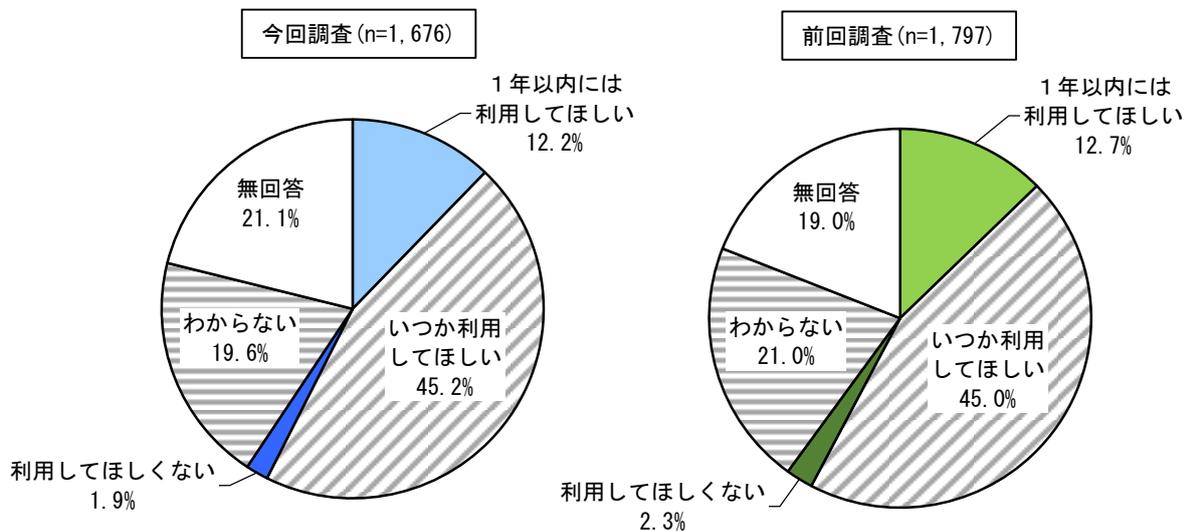
今後、ご本人に介護保険サービスの利用をしてほしいですか。(〇はひとつ)

介護者がサービス未利用者本人に介護保険サービスの利用を望むことについて、「いつか利用してほしい」の割合が45.2%で最も高く、次いで「1年以内には利用してほしい」が12.2%、「利用してほしくない」が1.9%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(B問[45])

#### < B. サービス未利用者のみ >

#### 【B問[45] 本人に対する介護保険サービスの利用意向（経年比較）】



問[46] 介護保険サービスを利用しようと思う本人の状態

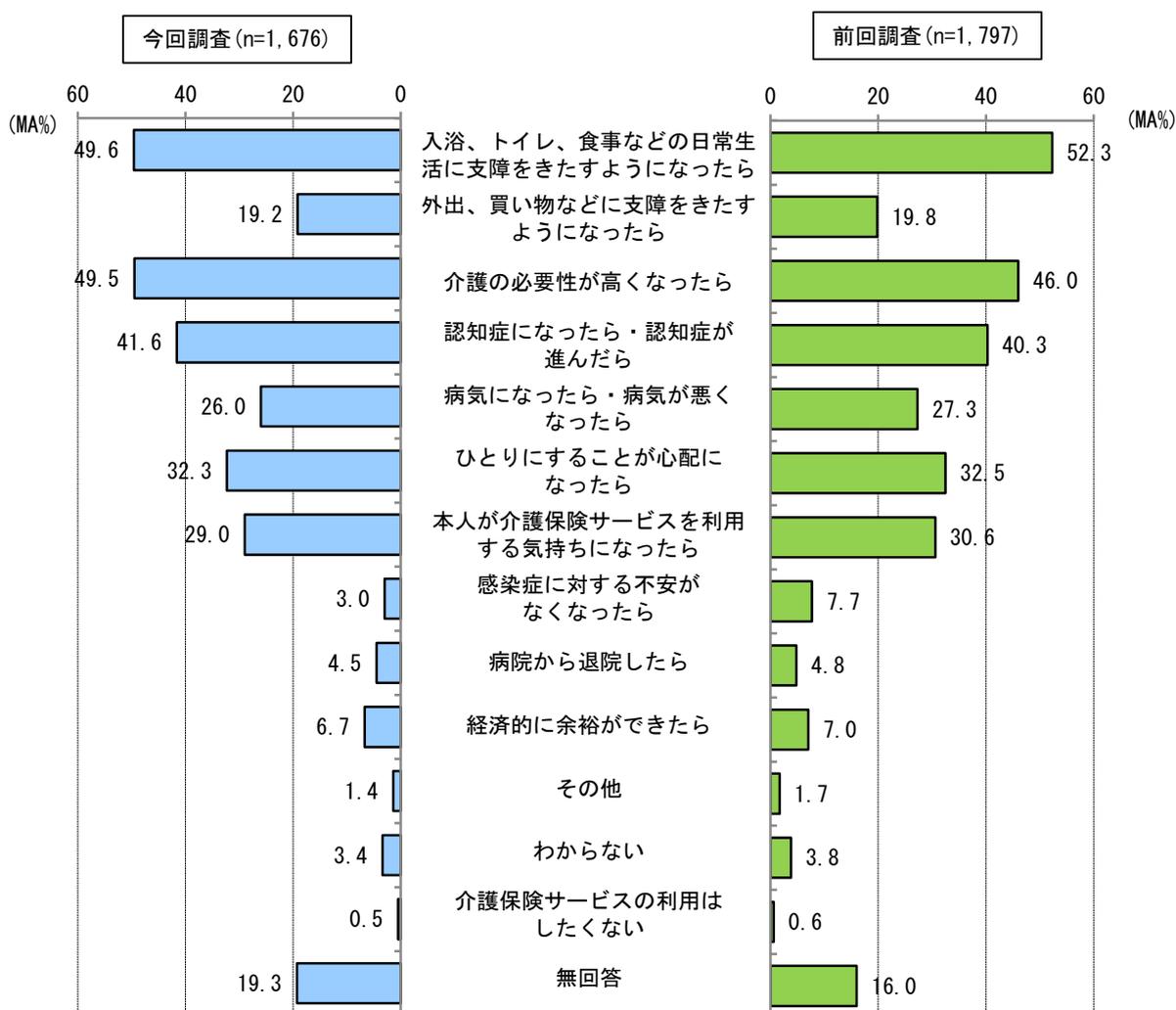
ご本人は、現在、介護保険サービスを利用していませんが、ご本人がどのような状態になれば介護保険サービスを利用しますか。(〇はいくつでも)

サービス未利用者本人が介護保険サービスを利用しようと思うようになる状態については、「入浴、トイレ、食事などの日常生活に支障をきたすようになったら」の割合が49.6%で最も高く、次いで「介護の必要性が高くなったら」が49.5%、「認知症になったら・認知症が進んだら」が41.6%となっている。

前回調査の結果に比べ、「介護の必要性が高くなったら」の割合は3.5ポイント増加している。(B問[46])

< B. サービス未利用者のみ >

【B問[46] 介護保険サービスを利用しようと思う本人の状態 (経年比較)】



※前回調査の「新型コロナウイルス感染症に対する不安がなくなったら」は、今回調査では「感染症に対する不安がなくなったら」に変更している。

問[47] 介護保険サービスを利用しようと思う介護者の状態

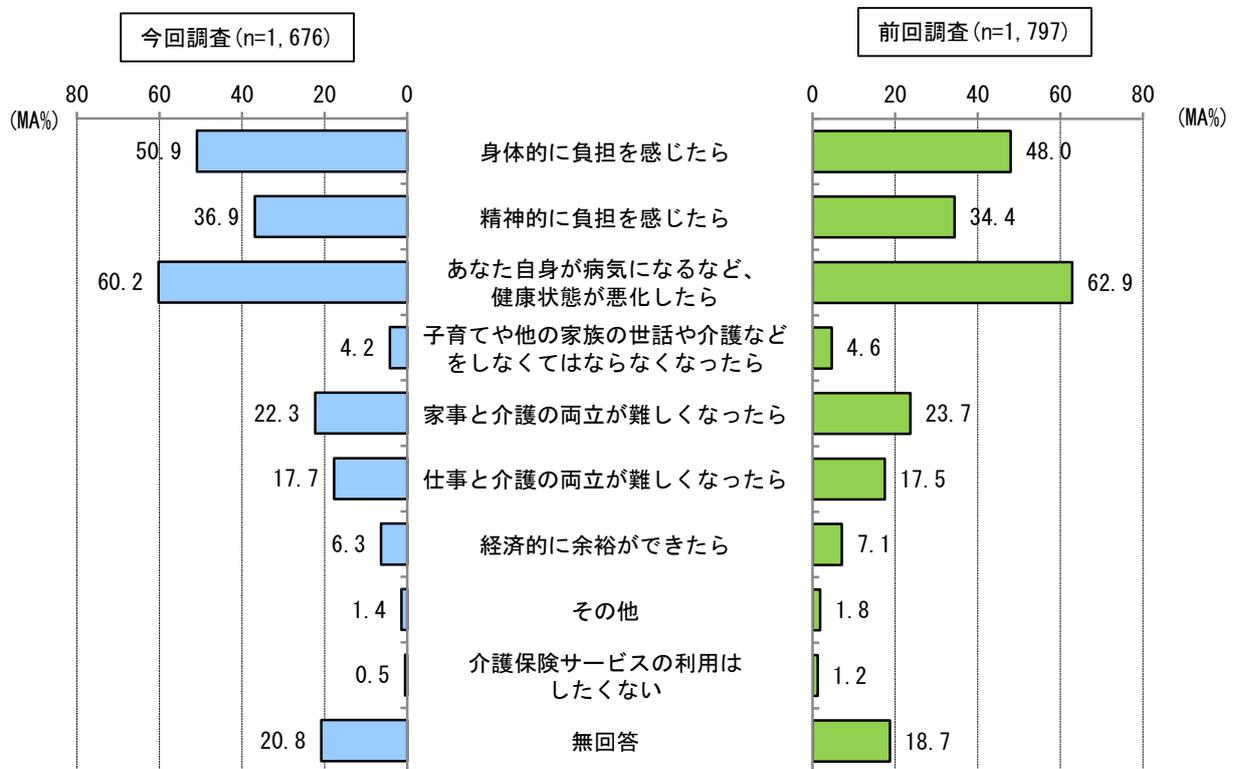
ご本人は、現在、介護保険サービスを利用していませんが、あなたがどのような状態になれば、介護保険サービスを利用しますか。(〇はいくつでも)

サービス未利用者本人が介護保険サービスを利用しようと思うようになる介護者の状態については、「あなた自身が病気になるなど、健康状態が悪化したら」の割合が60.2%で最も高く、次いで「身体的に負担を感じたら」が50.9%、「精神的に負担を感じたら」が36.9%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(B問[47])

< B. サービス未利用者のみ >

【B問[47] 介護保険サービスを利用しようと思う介護者の状態（経年比較）】



## 問48[48] 自宅での介護で重要なこと

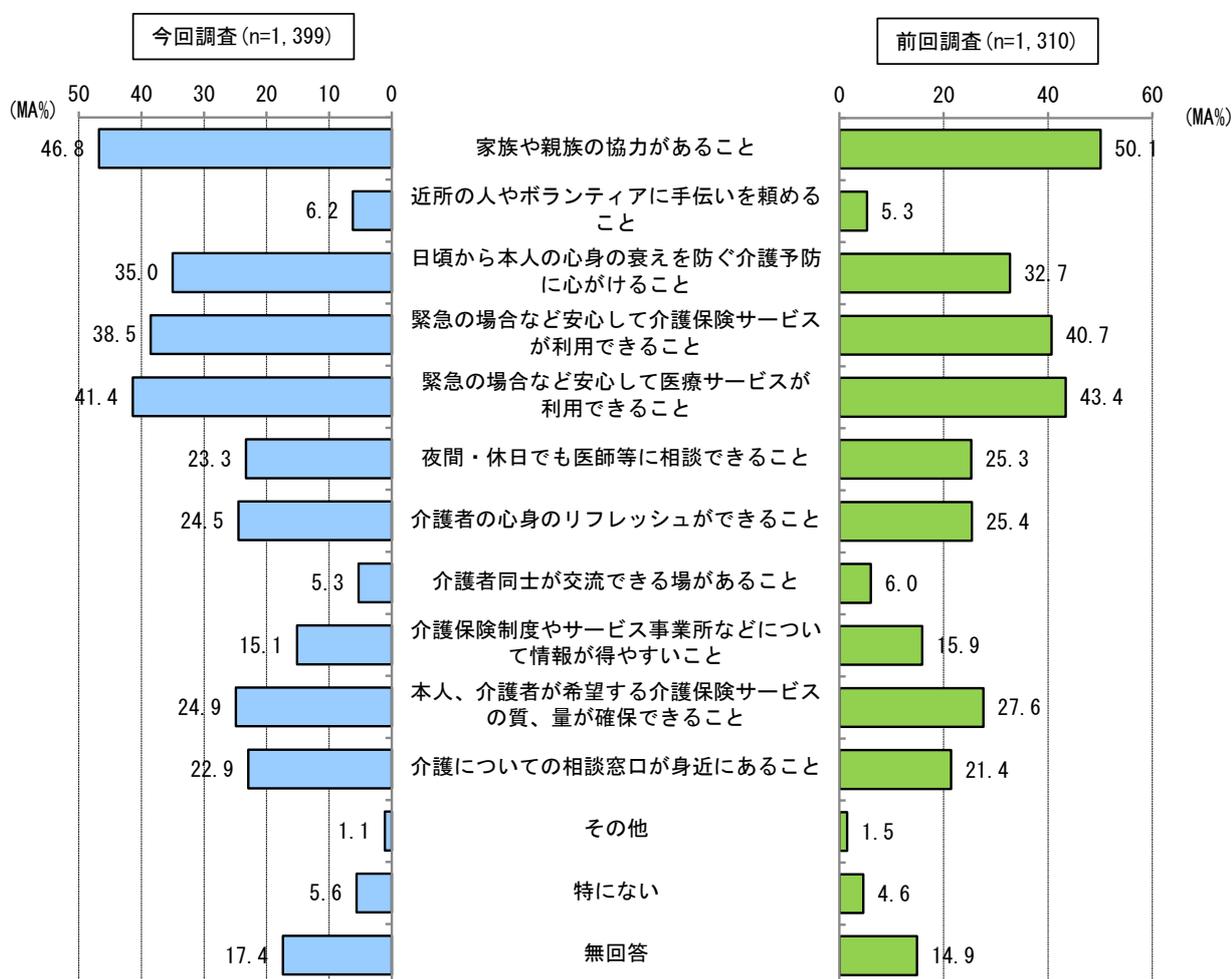
あなたにとって、自宅での介護にあたって重要なことは何ですか。(〇はいくつでも)

自宅でのサービス利用者の介護で重要なことは、「家族や親族の協力があること」の割合が46.8%で最も高く、次いで「緊急の場合など安心して医療サービスが利用できること」が41.4%、「緊急の場合など安心して介護保険サービスが利用できること」が38.5%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問48[48])

### <A. サービス利用者>

【A問48[48] 自宅での介護で重要なこと（経年比較）】



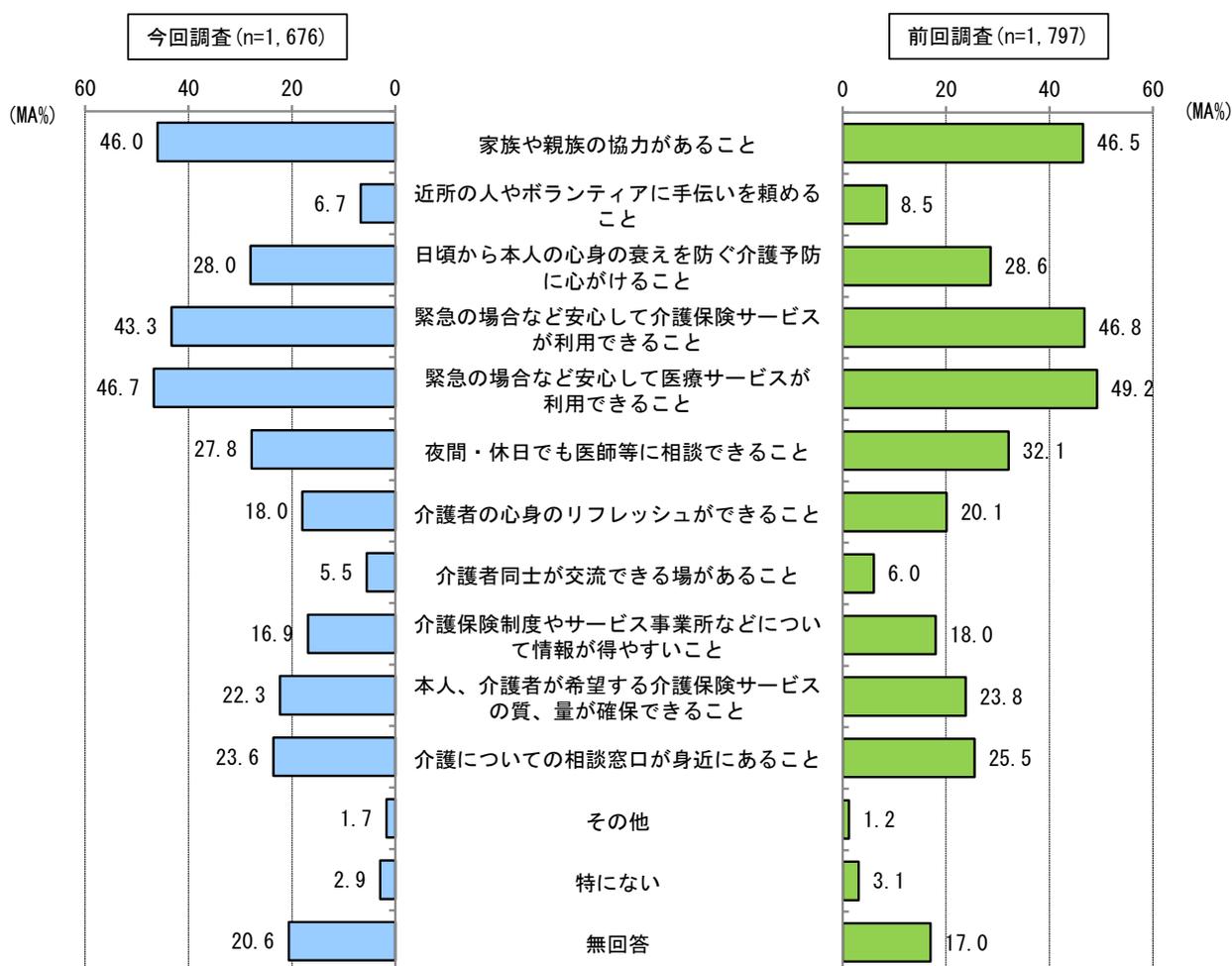
【介護者調査】

自宅でのサービス未利用者の介護で重要なことは、「緊急の場合など安心して医療サービスが利用できること」の割合が46.7%で最も高く、次いで「家族や親族の協力があること」が46.0%、「緊急の場合など安心して介護保険サービスが利用できること」が43.3%となっている。

前回調査の結果に比べ、「夜間・休日でも医師等に相談できること」の割合が4.3ポイント、「緊急の場合など安心して介護保険サービスが利用できること」の割合が3.5ポイント、それぞれ減少している。(B問48[48])

< B. サービス未利用者 >

【B問48[48] 自宅での介護で重要なこと（経年比較）】



(4) 介護離職に関する問題

問49[49] 介護者の就業状況

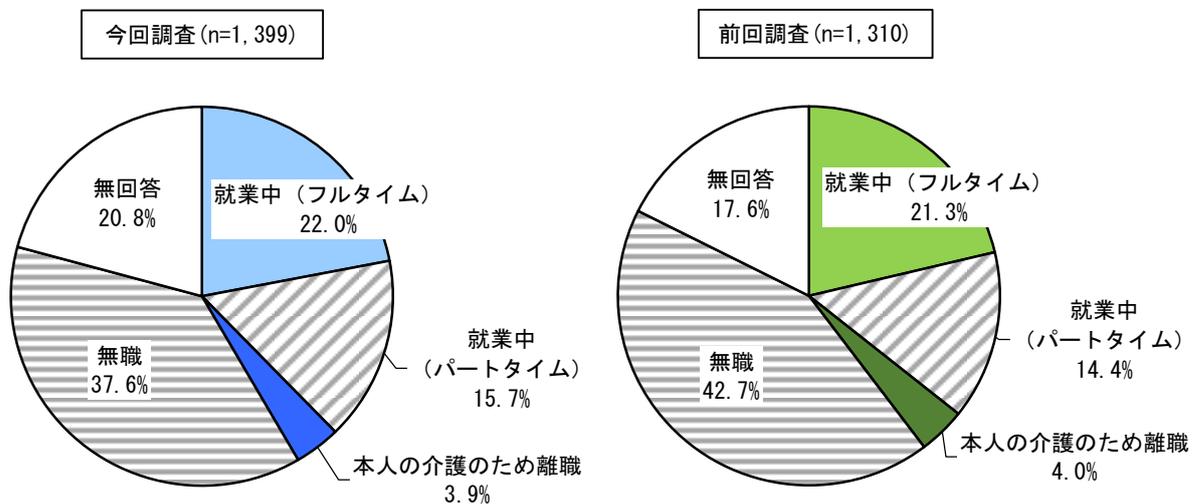
あなたの現在の就業状況についておたずねします。(○はひとつ)

サービス利用者本人の介護者の就業状況は、「無職」の割合が37.6%で最も高い。次いで「就業者（フルタイム）」が22.0%、「就業者（パートタイム）」が15.7%となっており、両者をあわせた『就業する介護者』の割合は37.7%となっている。また、「本人の介護のため離職」は3.9%である。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(A問49[49])

< A. サービス利用者 >

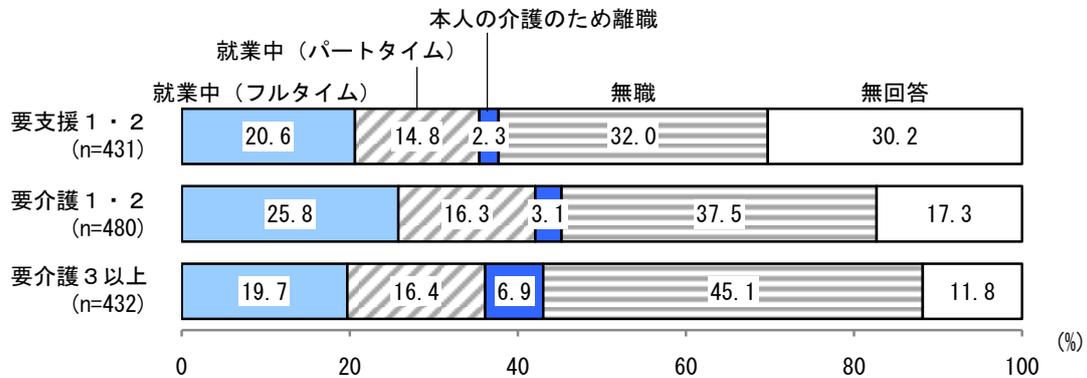
【A問49[49] 介護者の就業状況（経年比較）】



【介護者調査】

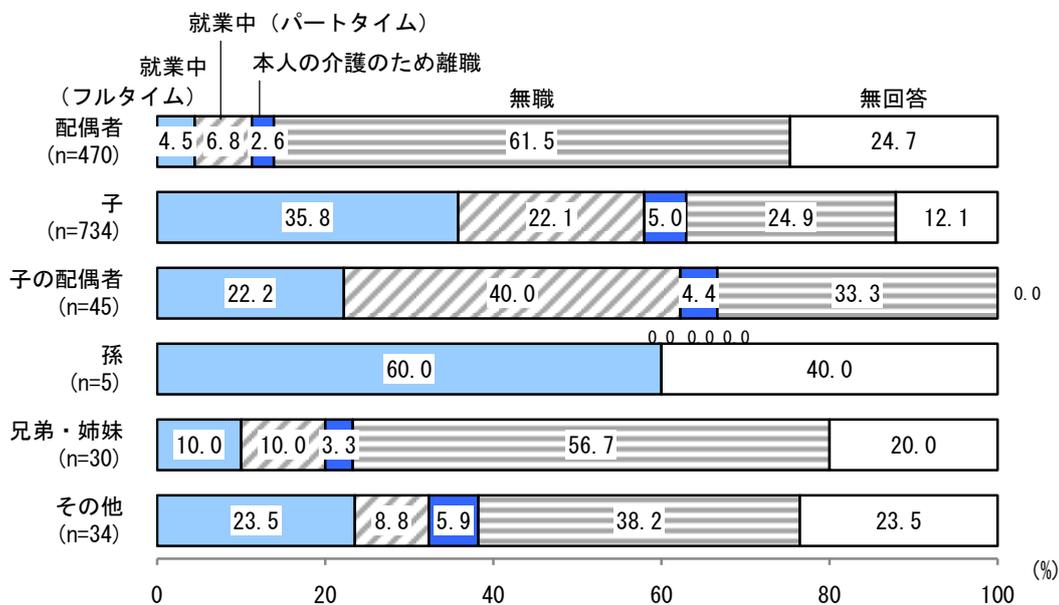
本人の要介護度別では、本人の要介護度にかかわらず、介護者は「無職」の割合が最も高くなっている。『就業する介護者』の割合は、要介護1・2が42.1%で最も高く、それ以外の要介護度ではいずれも3割台となっている。(A問49[49]-a)

【A問49[49]-a 介護者の就業状況（本人の要介護度別）】



本人との関係別では、「無職」の割合は配偶者、兄弟・姉妹で5割以上と高く、『就業する介護者』の割合は子の配偶者が62.2%で最も高くなっている。(A問49[49]-b)

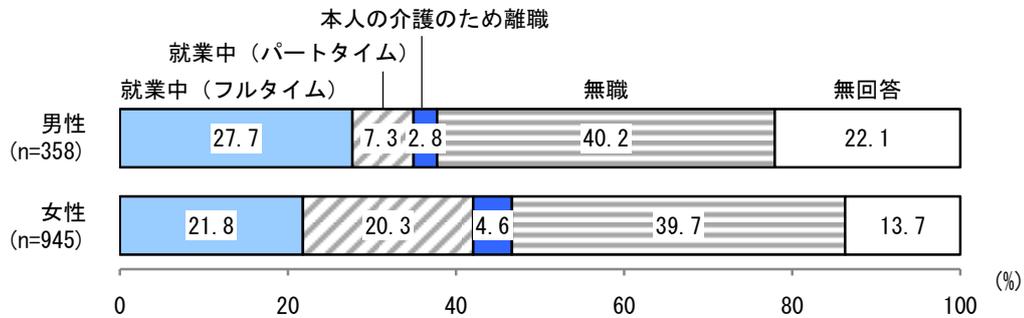
【A問49[49]-b 介護者の就業状況（本人との関係別）】



【介護者調査】

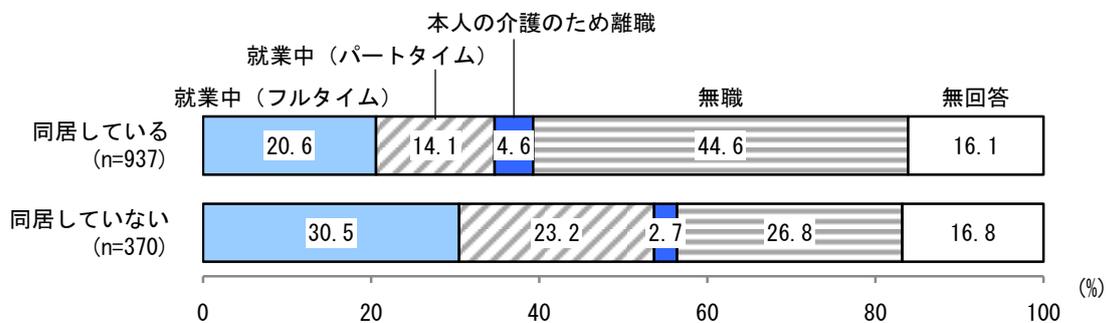
介護者の性別では、男女とも「無職」の割合が4割前後で最も高くなっている。『就業する介護者』の割合は、男性（35.0%）より女性（42.1%）の方が7.1ポイント高くなっている。（A問49[49]-c）

【A問49[49]-c 介護者の就業状況（介護者の性別）】



本人との同居の有無別では、同居している介護者は「無職」の割合が44.6%で最も高く、『就業する介護者』の割合は34.7%となっている。同居していない介護者は「就業中（フルタイム）」の割合が30.5%で最も高く、『就業する介護者』の割合は53.7%となっている。（A問49[49]-d）

【A問49[49]-d 介護者の就業状況（本人との同居の有無別）】



【介護者調査】

本人の認知症の程度別では、認知症の程度にかかわらず、介護者は「無職」の割合が最も高くなっている。(A問49[49]-e)

【A問49[49]-e 介護者の就業状況（本人の認知症の程度別）】

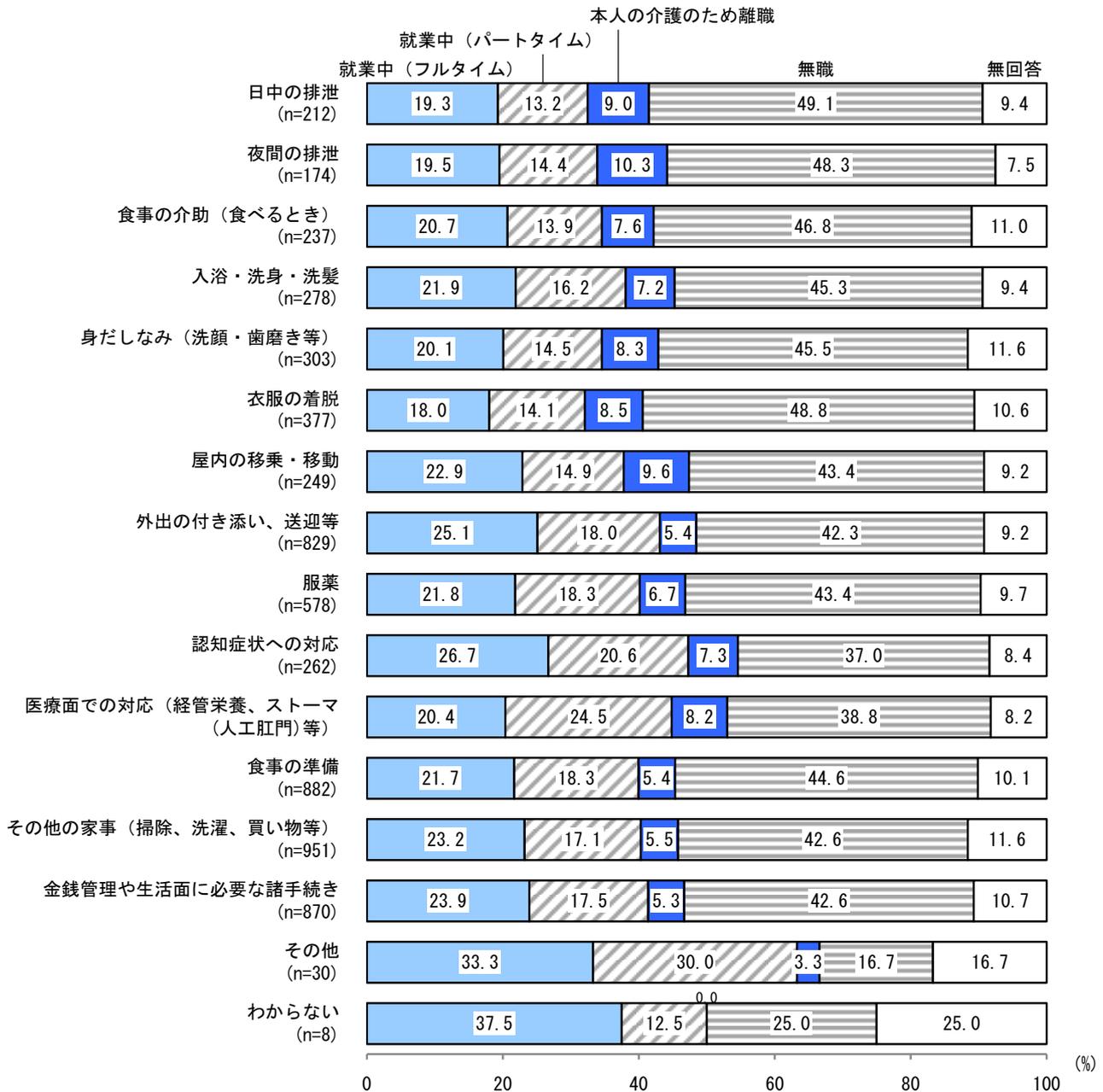
(単位：%)

	n	就業中 (フルタイム)	就業中 (パートタイム)	本人の介護のため 退職	無職	無回答
全く認知症の症状がない	533	22.1	18.0	3.0	41.1	15.8
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	400	25.5	16.5	5.0	38.3	14.8
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	167	24.0	16.8	5.4	42.5	11.4
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	104	27.9	16.3	5.8	40.4	9.6
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	50	26.0	12.0	6.0	50.0	6.0
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	3	-	33.3	-	33.3	33.3

【介護者調査】

本人に行っている介護内容別では、介護内容にかかわらず、介護者は「無職」の割合が最も高くなっている。「本人の介護のため離職」では、“夜間の排泄”の介護をしている介護者が10.3%で最も高く、次いで“屋内の移乗・移動”の介護をしている介護者は9.6%、“日中の排泄”の介護をしている介護者は9.0%となっている。(A問49[49]-f)

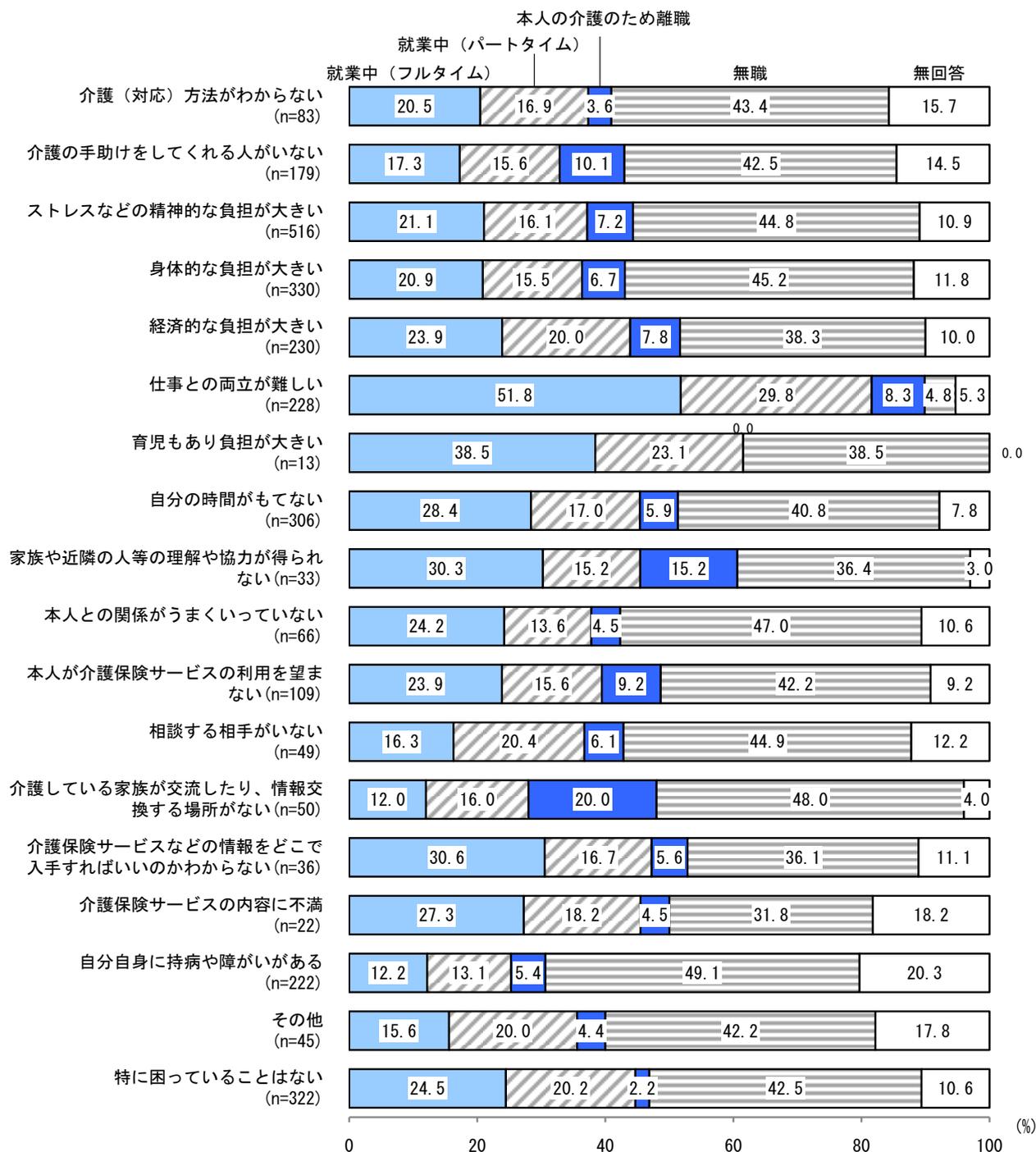
【A問49[49]-f 介護者の就業状況（本人に行っている介護内容別）】



【介護者調査】

自宅での介護で困っていること別では、「無職」の割合が高いのは、“自分自身に持病や障がいがある”が49.1%で、次いで“介護している家族が交流したり、情報交換する場所がない”が48.0%となっている。就業している介護者は“仕事との両立が難しい”の割合が8割を占めている。(A問49[49]-g)

【A問49[49]-g 介護者の就業状況（自宅での介護で困っていること別）】



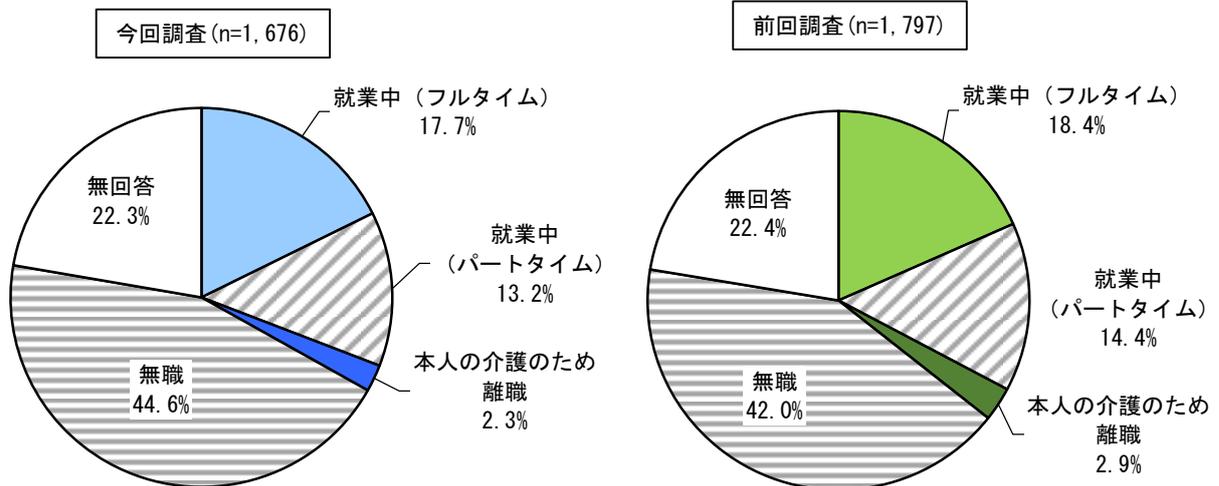
## 【介護者調査】

サービス未利用者本人の介護者の就業状況は、「無職」の割合が44.6%で最も高い。次いで「就業者（フルタイム）」が17.7%、「就業者（パートタイム）」が13.2%で、両者をあわせた『就業する介護者』の割合は30.9%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（B問49[49]）

### < B. サービス未利用者 >

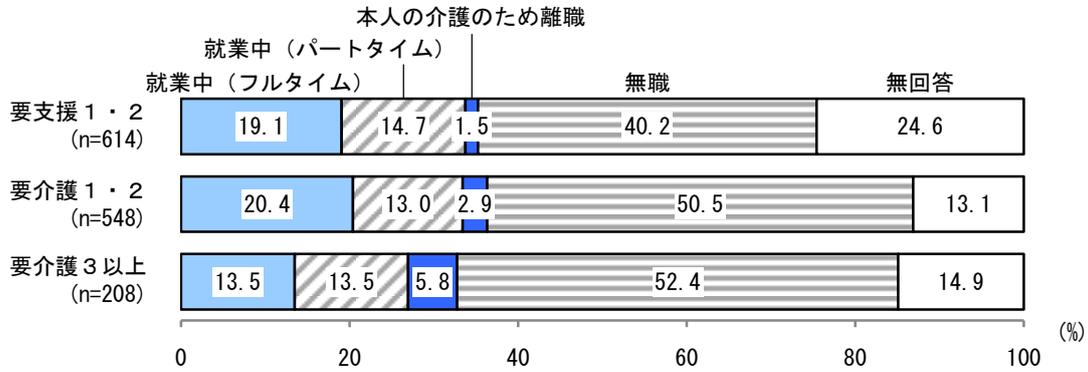
【B問49[49] 介護者の就業状況（経年比較）】



【介護者調査】

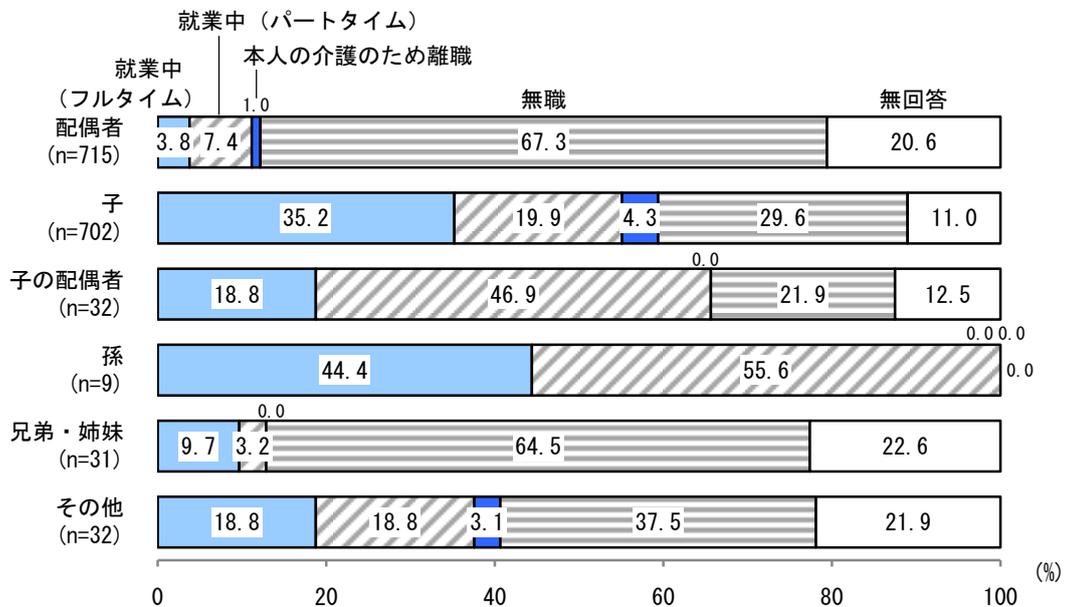
本人の要介護度別では、本人の要介護度にかかわらず、介護者は「無職」の割合が最も高くなっている。『就業する介護者』の割合は、要支援1・2が33.8%で最も高く、次いで要介護1・2の33.4%となっている。(B問49[49]-a)

【B問49[49]-a 介護者の就業状況（本人の要介護度別）】



本人との関係別では、「無職」の割合は配偶者、兄弟・姉妹で6割以上と高く、『就業する介護者』の割合は、子、子の配偶者、孫が高くなっている。(B問49[49]-b)

【B問49[49]-b 介護者の就業状況（本人との関係別）】

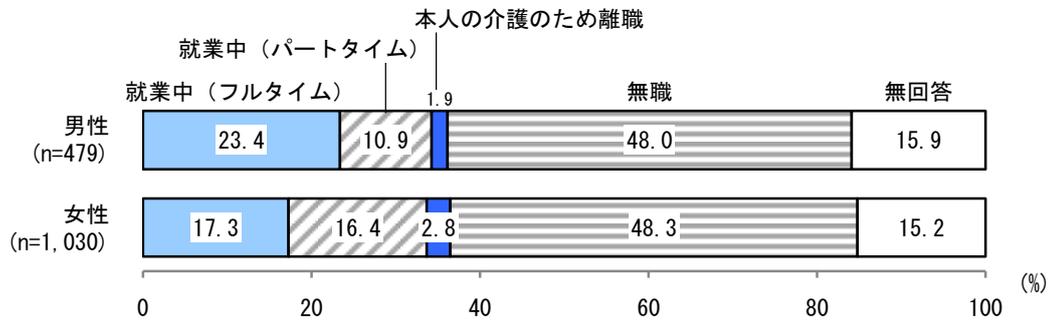


【介護者調査】

介護者の性別では、男女とも「無職」が4割台で最も高くなっている。

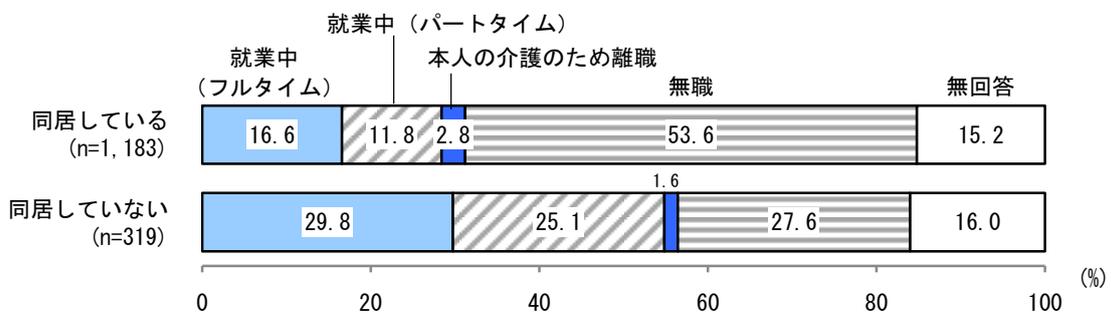
『就業する介護者』は、男女とも3割台で、大きな差はみられない。(B問49[49]-c)

【B問49[49]-c 介護者の就業状況（介護者の性別）】



本人との同居の有無別では、同居している介護者は「無職」の割合が53.6%で最も高く、『就業する介護者』の割合は28.4%となっている。同居していない介護者は「就業中 (フルタイム)」の割合が29.8%で最も高く、『就業する介護者』の割合は54.9%となっている。(B問49[49]-d)

【B問49[49]-d 介護者の就業状況（本人との同居の有無別）】



【介護者調査】

本人の認知症の程度別では、認知症の程度にかかわらず、介護者は「無職」の割合が最も高くなっている。(B問49[49]-e)

【B問49[49]-e 介護者の就業状況（本人の認知症の程度別）】

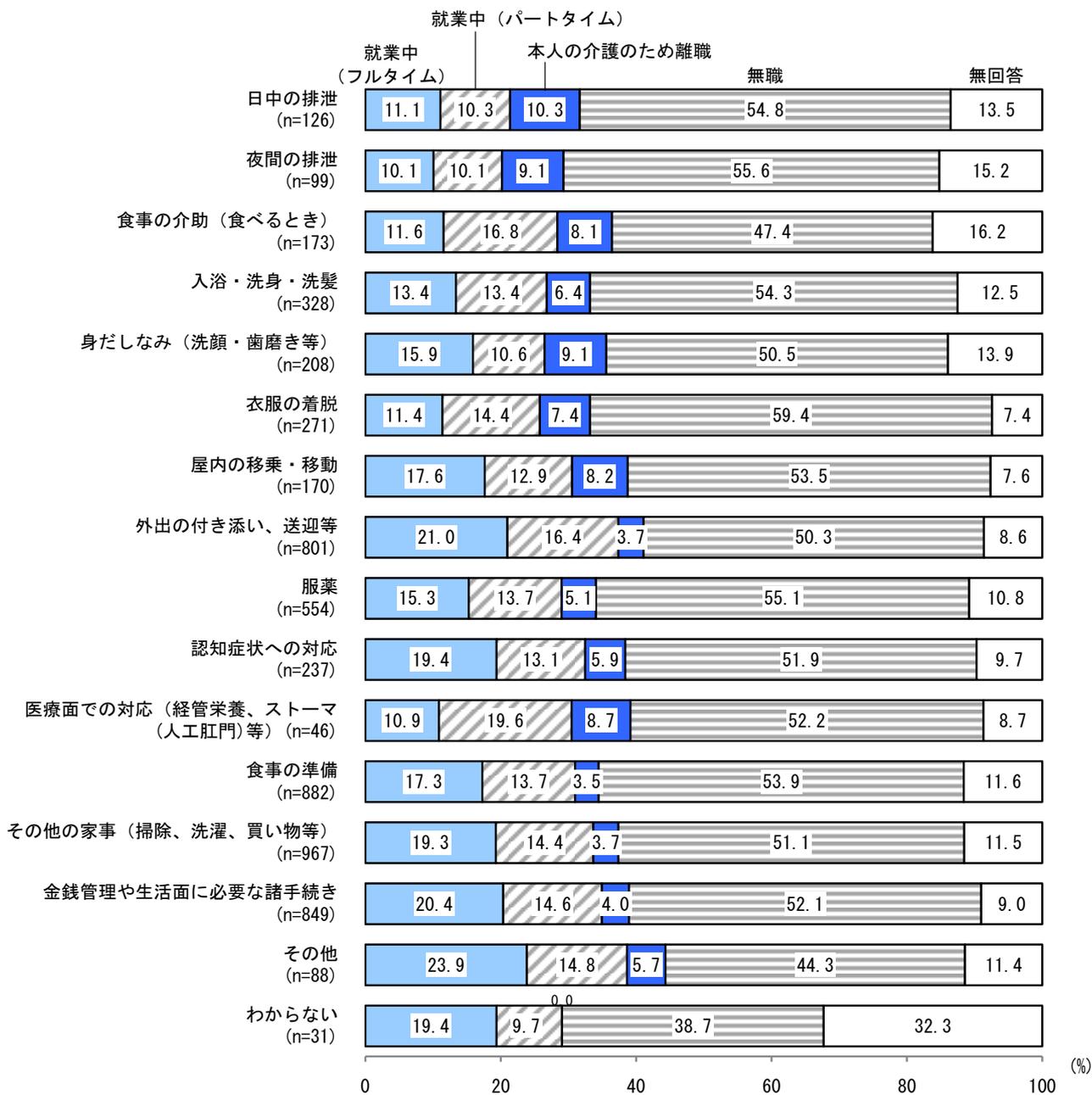
(単位：%)

	n	就 業 中 (フル タイム)	就 業 中 (パート タイム)	本 人 の 介 護 の た め 離 職	無 職	無 回 答
全く認知症の症状がない	655	19.2	16.0	2.1	47.5	15.1
何らかの認知症はあるが、日常生活はほぼ自立している	456	16.9	15.1	1.8	49.1	17.1
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	198	25.8	12.1	2.0	46.5	13.6
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	97	24.7	13.4	4.1	45.4	12.4
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	44	22.7	9.1	13.6	50.0	4.5
激しい精神症状、あるいは重い身体疾患があり、専門医療を必要とする	15	-	13.3	6.7	53.3	26.7

【介護者調査】

本人に行っている介護内容別では、介護内容にかかわらず、介護者は「無職」の割合が最も高くなっている。「本人の介護のため離職」では、「日中の排泄」の介護をしている介護者が10.3%で最も高くなっている。(B問49[49]-f)

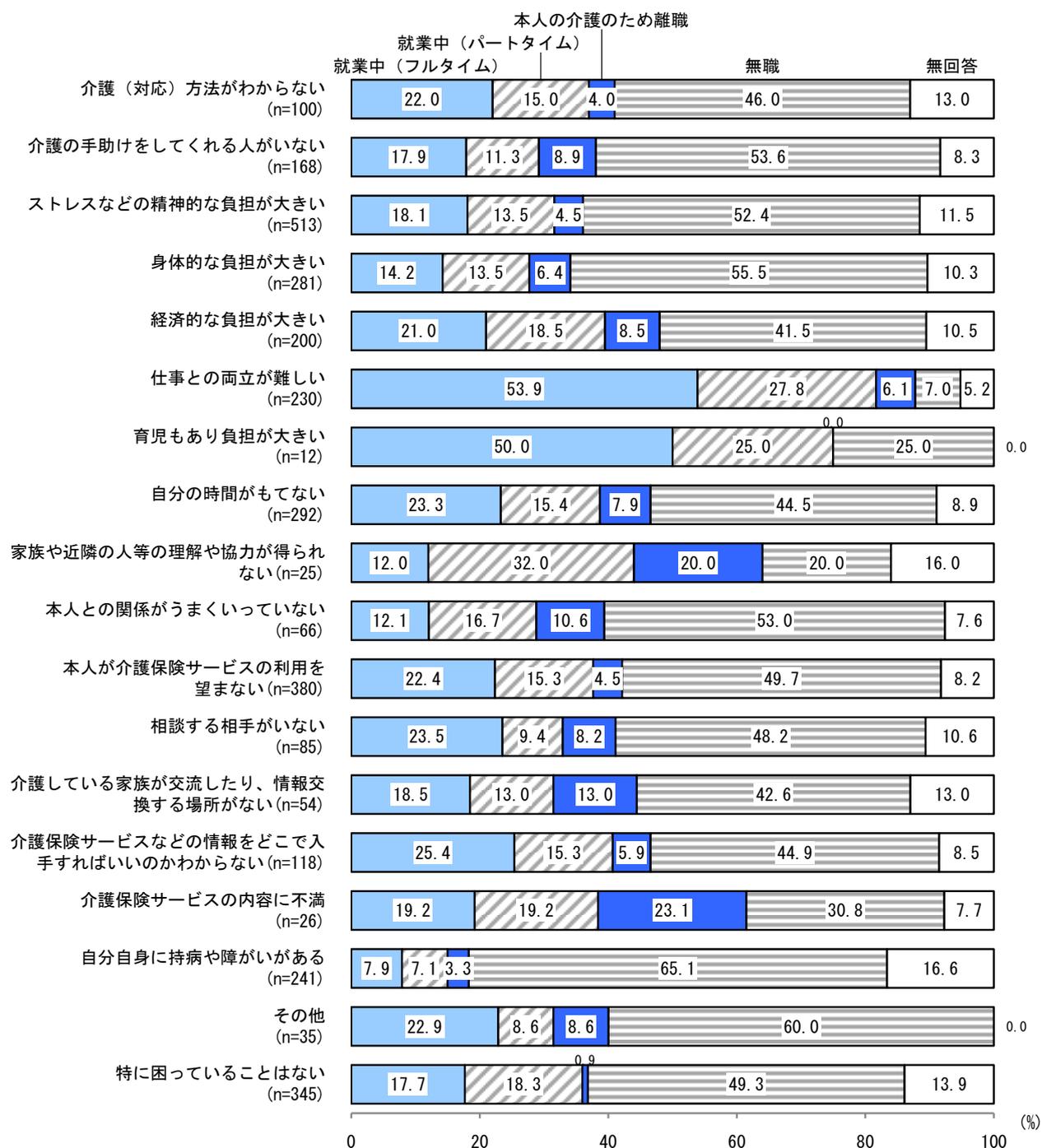
【B問49[49]-f 介護者の就業状況（本人に行っている介護内容別）】



【介護者調査】

自宅での介護で困っていること別では、「無職」は、“自分自身に持病や障がいがある”が65.1%で最も高くなっている。就業している介護者では“仕事との両立が難しい”の割合が81.7%を占めている。(B問49[49]-g)

【B問49[49]-g 介護者の就業状況（自宅での介護で困っていること別）】



問49-1[49-1] 介護をするにあたって行っている働き方の調整

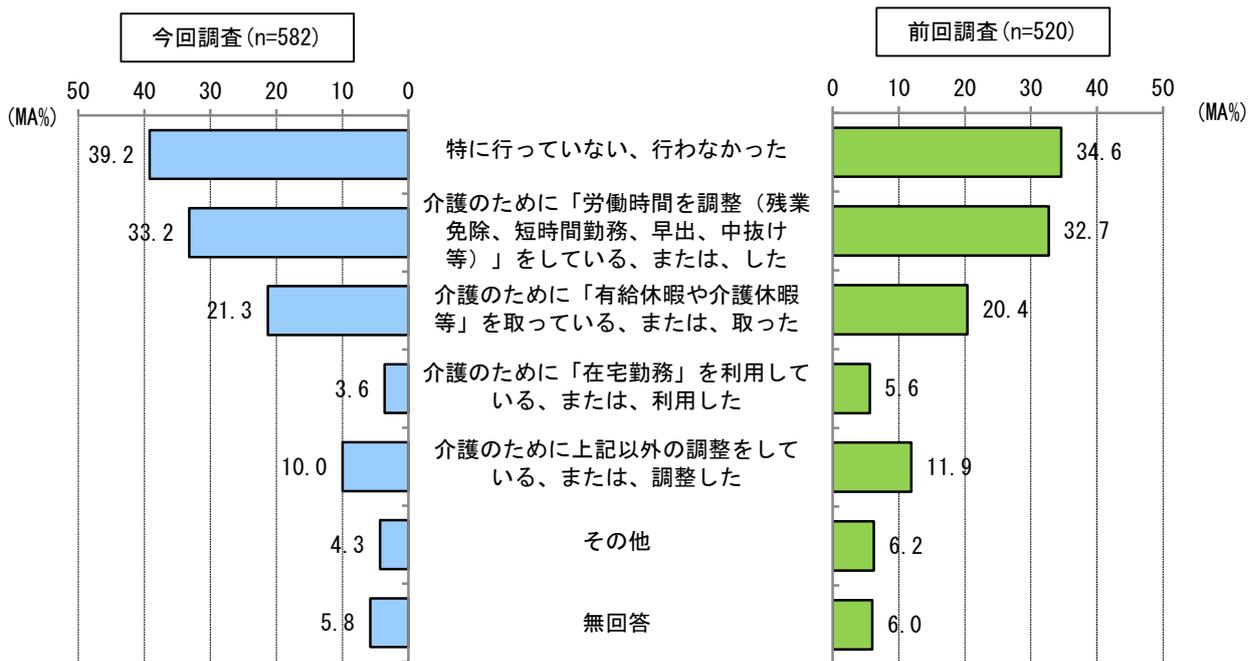
問49-1[49-1]は、問49[49]で「1 就業中（フルタイム）」、「2 就業中（パートタイム）」、「3 本人の介護のため離職」と回答された方のみお答えください。  
 あなたは、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか、または、していましたか。（〇はいくつでも）

サービス利用者の介護をするにあたって行っている働き方の調整について、「特に行っていない、行わなかった」が39.2%で最も高く、次いで「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、早出、中抜け等）」をしている、または、した」が33.2%、「介護のために「有給休暇や介護休暇等」を取っている、または、取った」が21.3%となっている。

前回調査の結果に比べ、「特に行っていない、行わなかった」が4.6ポイント増加している。  
 (A問49-1[49-1])

< A. サービス利用者 >

【A問49-1[49-1] 介護をするにあたって行っている働き方の調整（経年比較）】



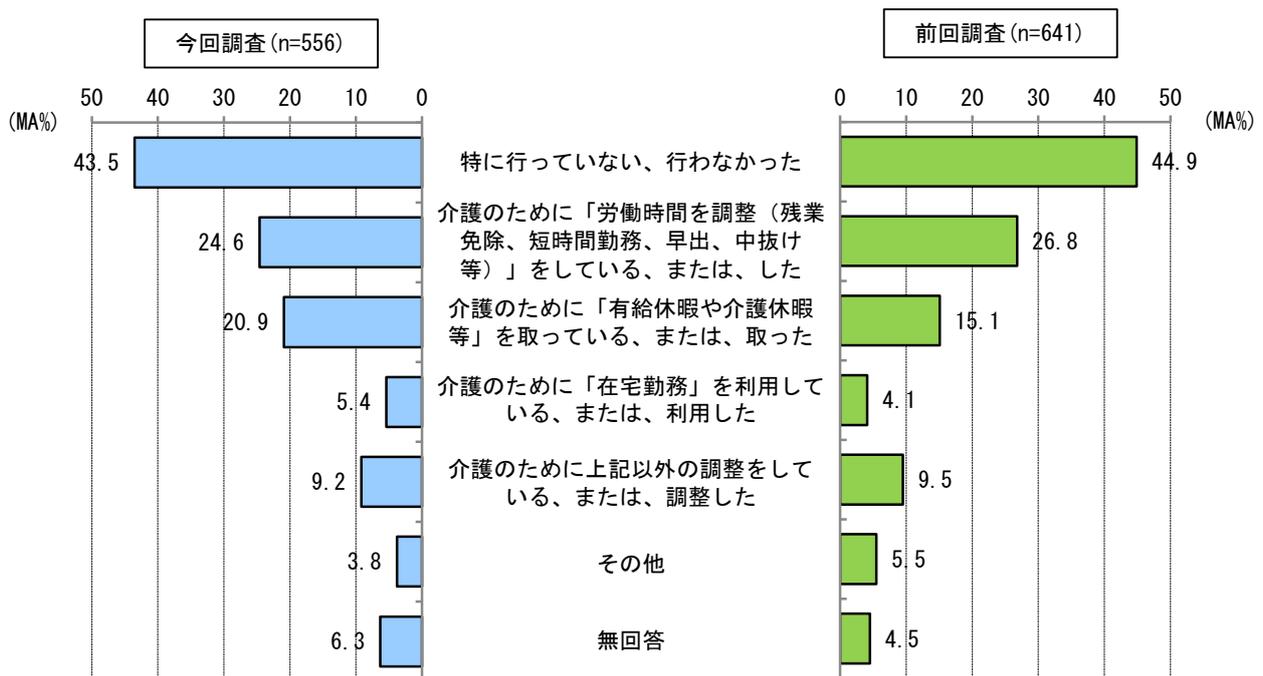
【介護者調査】

サービス未利用者の介護をするにあたって行っている働き方の調整について、「特に行っていない、行わなかった」の割合が43.5%で最も高く、次いで「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、早出、中抜け等）」をしている、または、した」が24.6%、「介護のために「有給休暇や介護休暇等」を取っている、または、取った」が20.9%となっている。

前回調査の結果に比べ、「介護のために「有給休暇や介護休暇等」を取っている、または、取った」が5.8ポイント増加している。（B問49-1[49-1]）

< B. サービス未利用者 >

【B問49-1[49-1] 介護をするにあたって行っている働き方の調整（経年比較）】



問49-2[49-2] 働きながら介護を続けることの意向

問49-2[49-2]は、問49[49]で「1 就業中（フルタイム）」、「2 就業中（パートタイム）」と回答された方のみお答えください。

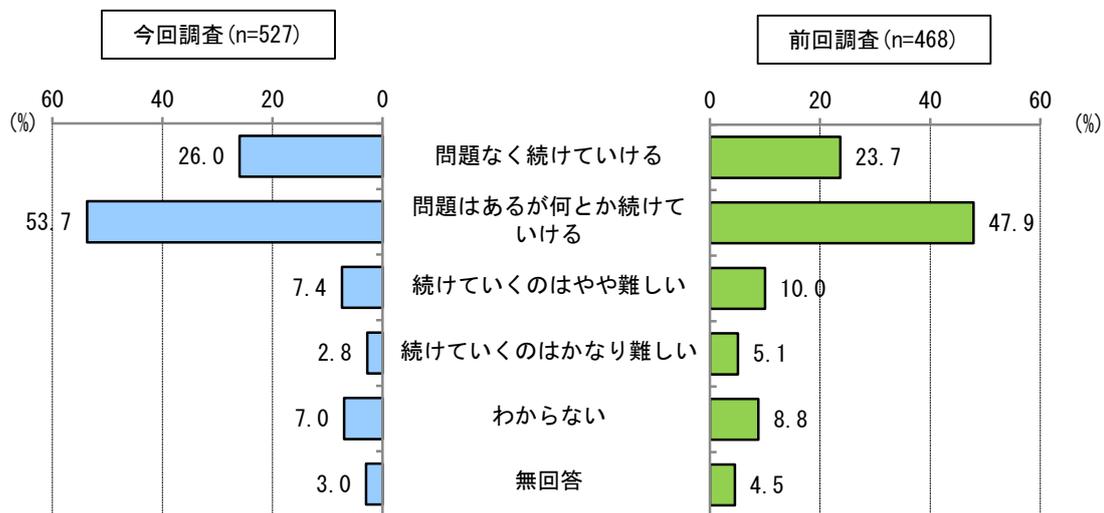
あなたは、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（○はひとつ）

就業中の介護者に、働きながらサービス利用者本人の介護の継続の考えをたずねると、「問題はあるが何とか続けていける」の割合が53.7%で最も高く、次いで「問題なく続けていける」が26.0%、「続けていくのはやや難しい」が7.4%となっている。

前回調査の結果に比べ、「問題はあるが何とか続けていける」の割合が5.8ポイント増加している。（A問49-2[49-2]）

< A. サービス利用者 >

【A問49-2[49-2] 働きながら介護を続けることの意向（経年比較）】



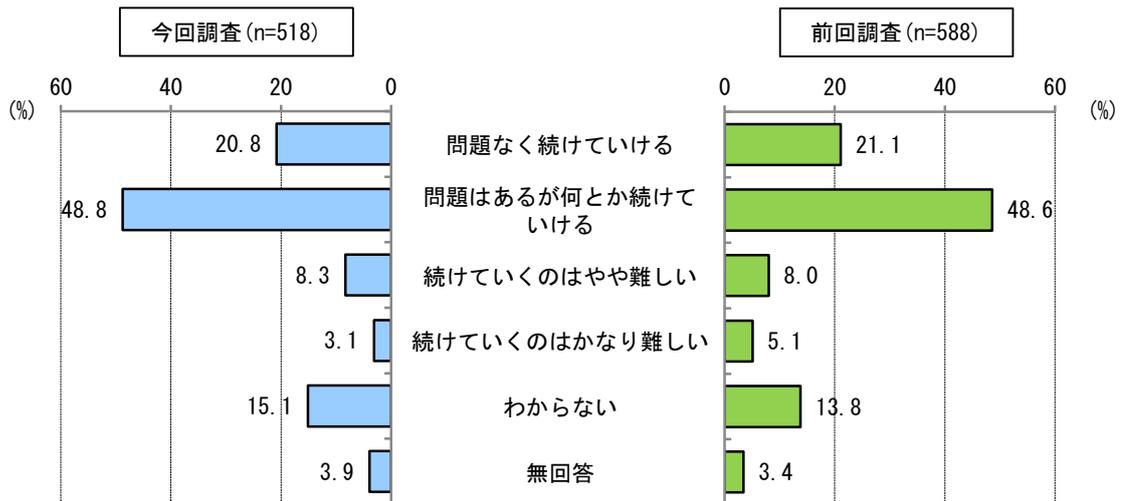
## 【介護者調査】

就業中の介護者に、働きながらサービス未利用者本人の介護の継続の考えをたずねると、「問題はあるが何とか続けていける」の割合が48.8%で最も高く、次いで「問題なく続けていける」が20.8%、「続けていくのはやや難しい」が8.3%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(B問49-2[49-2])

### < B. サービス未利用者 >

【B問49-2[49-2] 働きながら介護を続けることの意向（経年比較）】

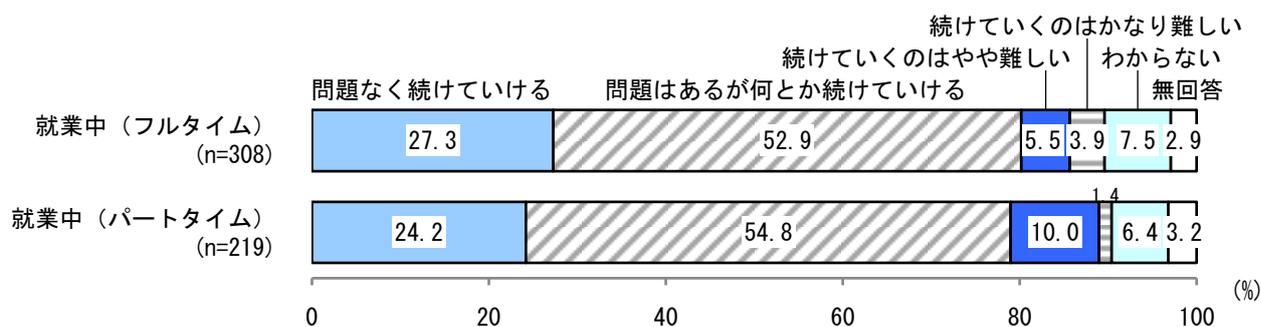


【介護者調査】

サービス利用者の就業中の介護者に対し、働きながら介護を継続することの考えをたずねると、フルタイム・パートタイムのいずれも「問題はあるが何とか続けていける」が5割を超えている。一方、パートタイムで「続けていくのはやや難しい」が10.0%と、フルタイムの5.5%に比べ高くなっている。(A問49-2[49-2]-a)

<A. サービス利用者>

【A問49-2[49-2]-a 働きながら介護を続けることの意味 (介護者の現在の就業状況別)】

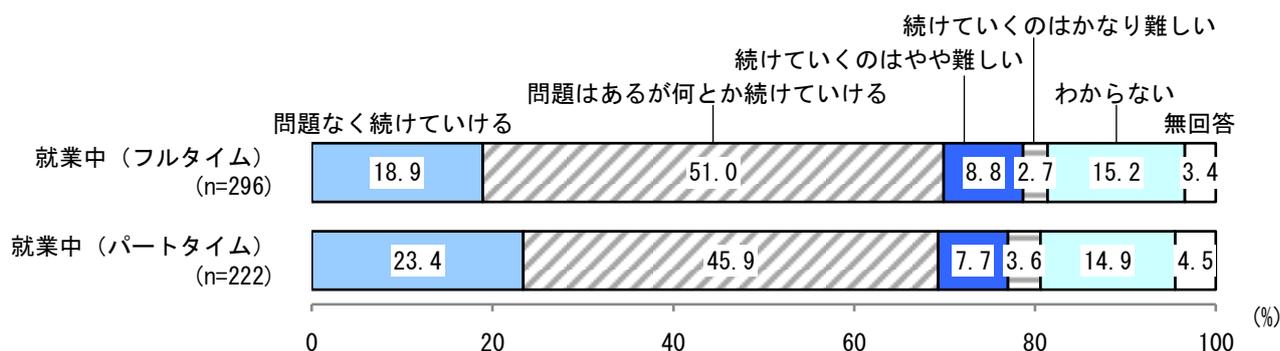


サービス未利用者の就業中の介護者に対し、働きながら介護を継続することの考えをたずねると、「問題はあるが何とか続けていける」の割合は、フルタイム51.0%に対し、パートタイム45.9%とパートタイムで低くなっているのに対し、「問題なく続けていける」の割合は、フルタイム18.9%に対し、パートタイム23.4%でパートタイムの方が高くなっている。

一方、「続けていくのはかなり難しい」「続けていくのはやや難しい」の各割合は、フルタイム・パートタイム間の差は小さくなっている。(B問49-2[49-2]-a)

<B. サービス未利用者>

【B問49-2[49-2]-a 働きながら介護を続けることの意味 (介護者の現在の就業状況別)】



問50[50] 介護を理由に仕事を辞めた人の有無

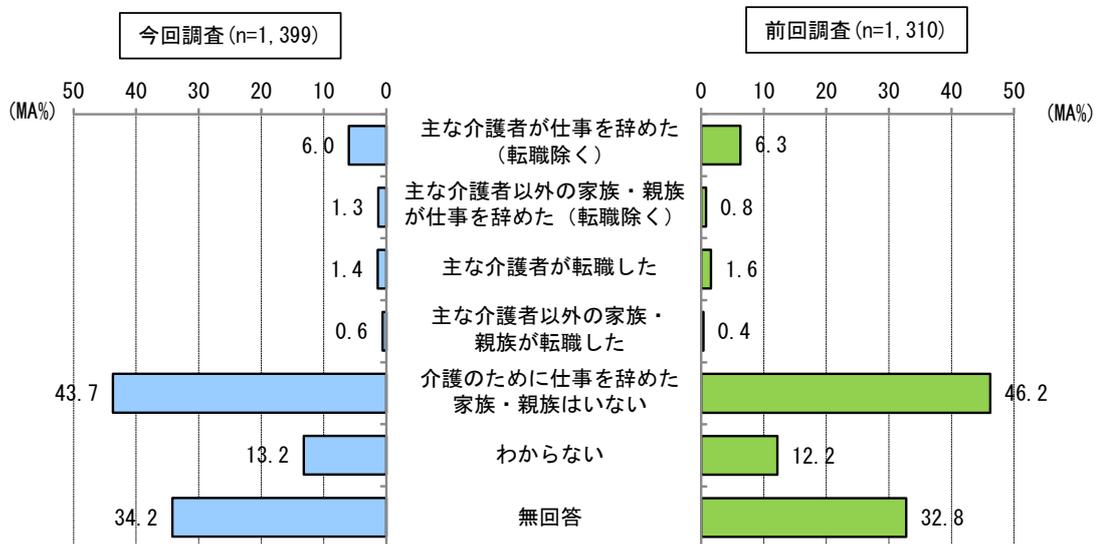
本人（要介護者）のご家族やご親族の中で、本人の介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた方はいますか。（フルタイム・パートタイマー等の勤務形態は問いません。また、その後再就職等により現在は働いているという方であってもご回答ください。）（○はいくつでも）

サービス利用者の介護を理由に仕事を辞めた人について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が43.7%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が6.0%、「主な介護者が転職した」が1.4%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（A問50[50]）

< A. サービス利用者 >

【A問50[50] 介護を理由に仕事を辞めた人の有無（経年比較）】



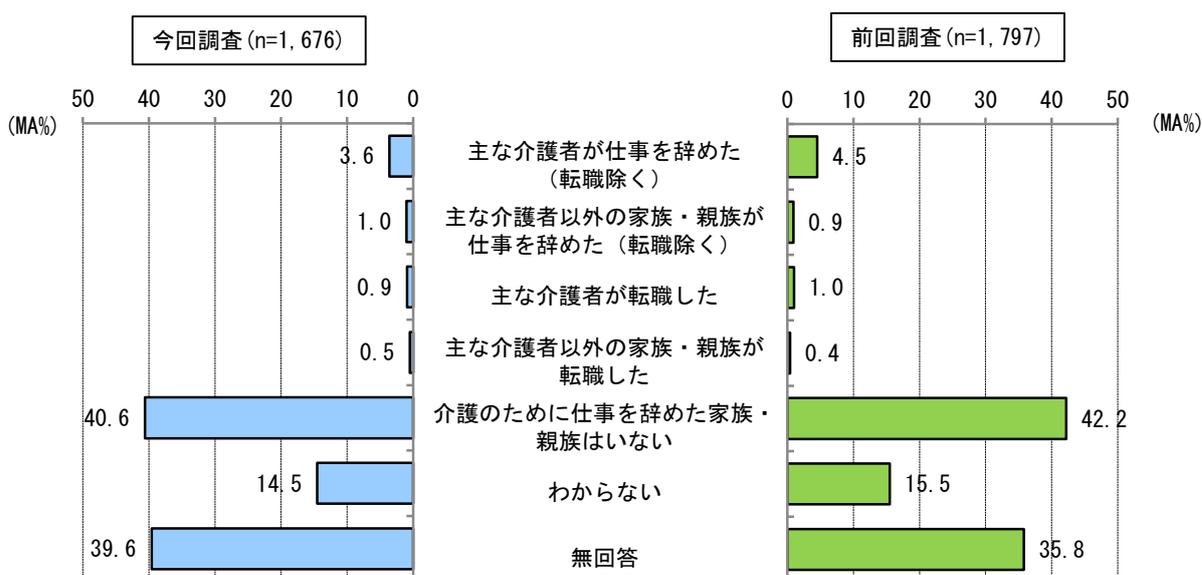
【介護者調査】

サービス未利用者の介護を理由に仕事を辞めた人について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が40.6%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が3.6%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」が1.0%となっている。

前回調査の結果に比べ、下位項目のうち、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」と「主な介護者が転職した」の順位が入れ替わっている。（B問50[50]）

< B. サービス未利用者 >

【B問50[50] 介護を理由に仕事を辞めた人の有無（経年比較）】



### 問51[51] 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援

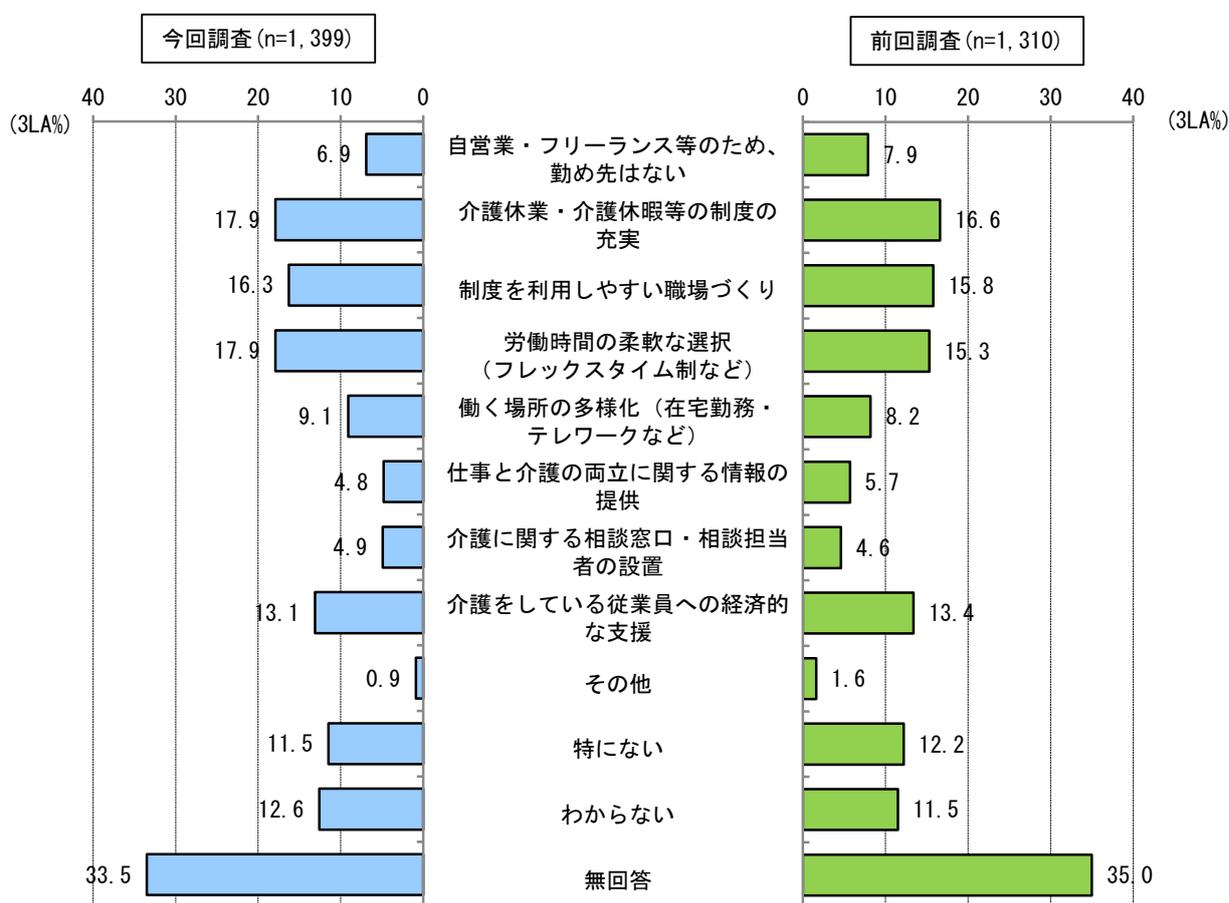
あなたは勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思われますか。(〇は3つまで)

サービス利用者の介護者の仕事と介護の両立に効果のある勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」と「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」がそれぞれ17.9%で最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が16.3%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が13.1%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「制度を利用しやすい環境づくり」と「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の順位が入れ替わっている。(A問51[51])

#### < A. サービス利用者 >

【A問51[51] 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援（経年比較）】



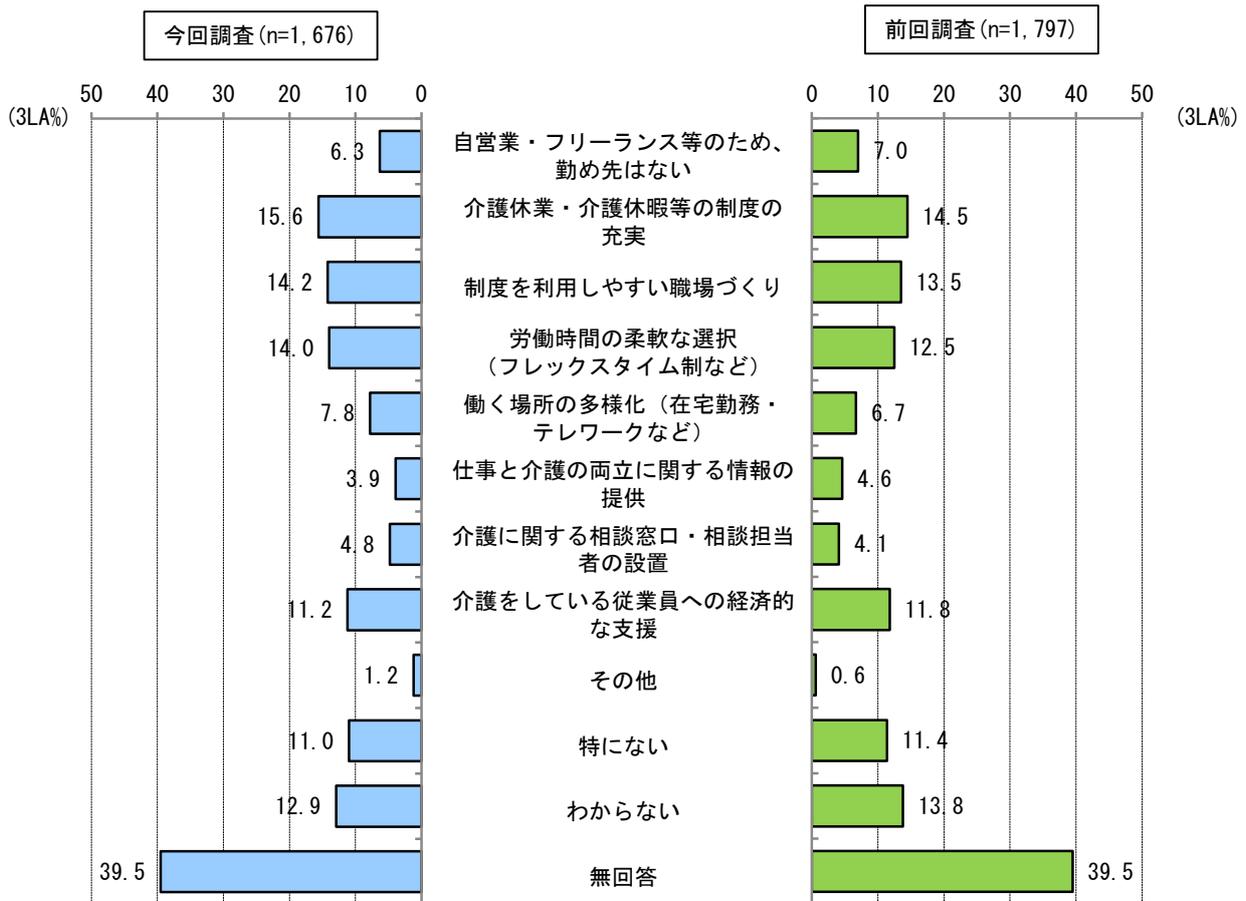
【介護者調査】

サービス未利用者の介護者の仕事と介護の両立に効果のある勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が15.6%で最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が14.2%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が14.0%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（B問51[51]）

< B. サービス未利用者 >

【B問51[51] 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援（経年比較）】



【介護者調査】

問52[52] 現在の生活を継続していくにあたって不安を感じる介護等

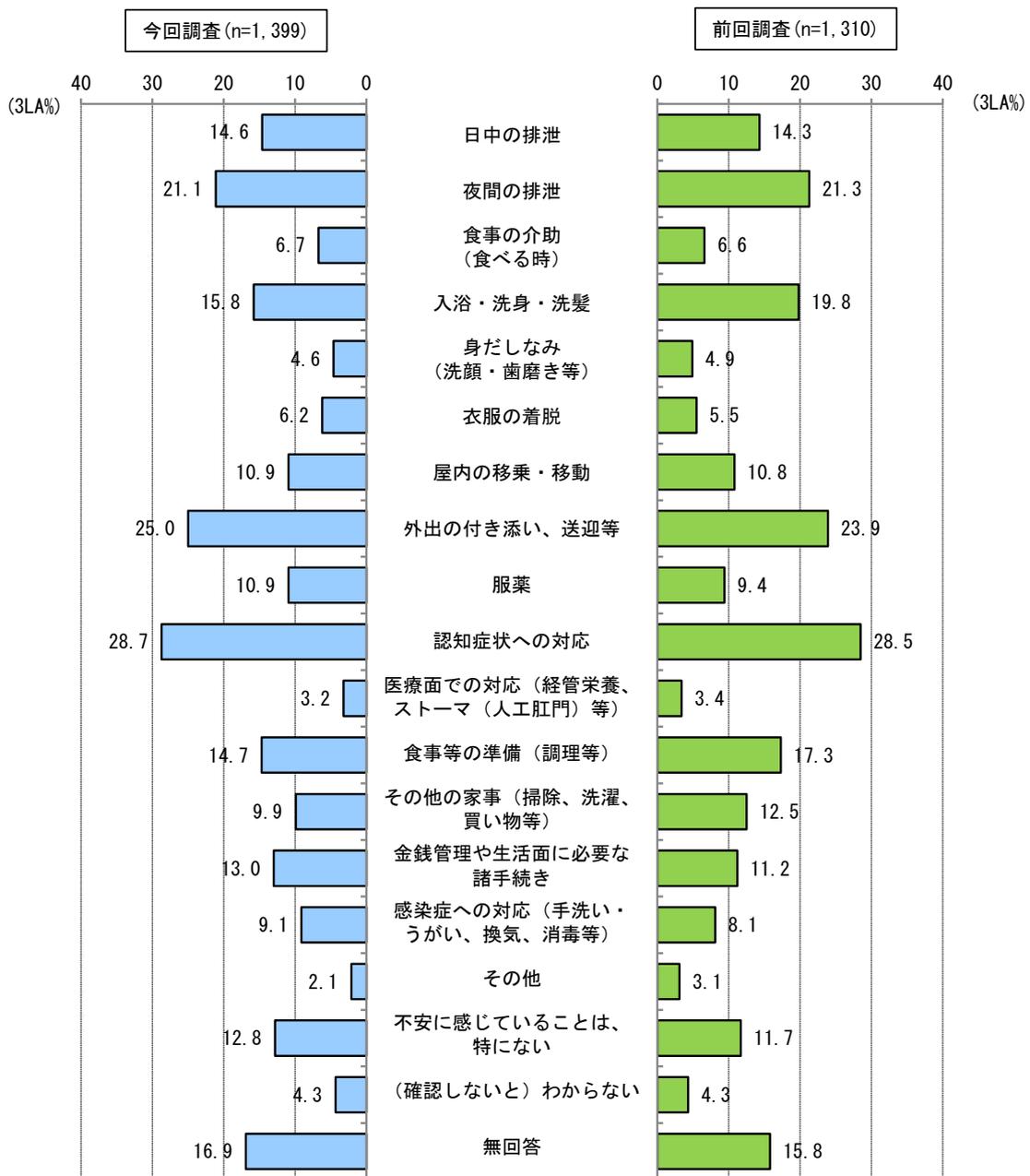
現在の生活を継続していくにあたって、あなたが不安を感じる介護等がありますか（介護等はどのようなことですか）。（現状で行っているか否かは問いません）（○は3つまで）

現在の生活を継続していくにあたって不安を感じるサービス利用者本人への介護については、「認知症状への対応」が28.7%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が25.0%、「夜間の排泄」が21.1%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（A問52[52]）

< A. サービス利用者 >

【A問52[52] 現在の生活を継続していくにあたって不安を感じる介護（経年比較）】



※前回調査の「入浴・洗身」は、今回調査では「入浴・洗身・洗髪」に変更している。

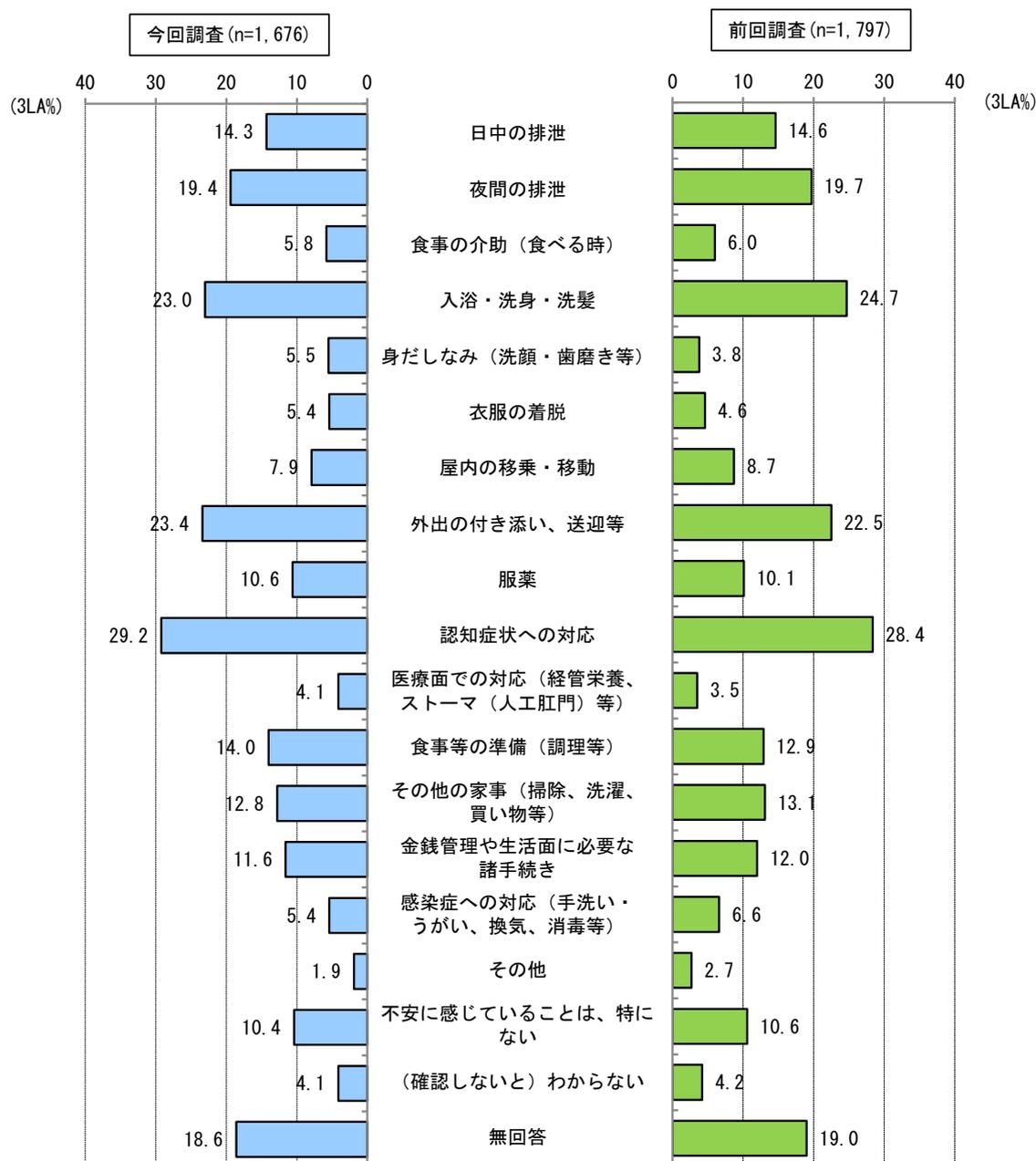
【介護者調査】

現在の生活を継続していくにあたって不安に感じるサービス未利用者本人への介護については、「認知症状への対応」の割合が29.2%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が23.4%、「入浴・洗身・洗髪」が23.0%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「入浴・洗身・洗髪」と「外出の付き添い、送迎等」の順位が入れ替わっている。(B問52[52])

< B. サービス未利用者 >

【B問52[52] 現在の生活を継続していくにあたって不安に感じる介護（経年比較）】



※前回調査の「入浴・洗身」は、今回調査では「入浴・洗身・洗髪」に変更している。

## (5) 介護保険制度についての意見・要望等

### 問53[53] 介護保険制度について、介護者としてのご意見・ご要望等(自由記述)

介護保険制度について、介護者としてご意見・ご要望等がありましたら次の欄に記入してください。

#### <A. サービス利用者>

156人から意見があり、延べ190件の回答が挙がっている。主な意見は次のとおり。

#### 【主な意見】

##### 《施設サービス、介護サービスの充実》(35件)

- ・本人・家族の状況に応じたサービスを利用したい。同居家族がいても受けられるサービスを増やしてほしい。
- ・希望した時にスムーズに安価で利用できる施設を増やしてほしい。
- ・要介護度にかかわらず利用できるサービスを増やしてほしい。

##### 《介護保険制度》(34件)

- ・介護保険制度は有難い、感謝している。今後も継続してほしい。
- ・介護保険制度は複雑でわかりにくい。手続きが煩雑で面倒である。もう少し利用しやすい制度にしてほしい。
- ・介護保険制度を改善してほしい。充実させてほしい。
- ・必要な時に十分な介護が受けられる制度にしてほしい。

##### 《介護保険料・介護保険サービス利用料・経済的負担》(34件)

- ・介護保険料や利用料が高い。
- ・収入(年金)が少なく、希望するサービスが利用できない。
- ・タクシーや駐車場の無料サービス・補助がほしい。

##### 《自宅介護・家族介護者・老々介護》(31件)

- ・家族が介護離職しないように、仕事と両立ができるように支援してほしい。
- ・老々介護の支援をしてほしい。老々介護のため不安である。
- ・自宅介護・家族介護者の負担を軽減してほしい。介護者が疲れている、日々の余裕がない。

##### 《介護スタッフ》(23件)

- ・介護スタッフの待遇改善・労働環境の改善・人材確保に努めてほしい。
- ・介護スタッフの質の向上を図ってほしい。

##### 《要介護認定》(8件)

- ・認定基準に疑問がある。要介護度が低すぎる。
- ・個々の状況・家族の負担も考慮して判断してほしい。
- ・介護認定がおりるまでの時間が長い。認定調査に来るのが遅い。

##### 《情報提供・相談》(5件)

- ・制度に関する情報提供が不足している。情報提供を充実させてほしい。
- ・緊急時の相談窓口が知りたい。

##### 《その他》(20件)

< B. サービス未利用者 >

---

164人から意見があり、延べ186件の回答が挙がっている。主な意見は次のとおり。

【主な意見】

《施設サービス、介護サービスの充実に関する意見》(47件)

- ・本人や介護者の実情に応じたサービス内容を充実させてほしい。
- ・利用時間やサービス内容など提供されているサービスが不十分、不満である。
- ・要支援でも利用できるサービスを充実させてほしい。
- ・介護者の負担を軽減するサービスを充実させてほしい。介護者の支援・交流の場がほしい。
- ・介護タクシーを必要に応じて利用できるようにしてほしい。交通費の補助がほしい。
- ・希望する施設にすぐ入所できるようにしてほしい。安価で入所できる施設を増やしてほしい。
- ・サービスを受けていなくてもケアマネジャーに相談できるようにしてほしい。ケアマネジャーと契約していなくてもサービスが利用できるようにしてほしい。

《自身の現状についての意見》(43件)

- ・自分・家族の現状や将来に不安がある、心配がある。
- ・老々介護をしている。
- ・できる限り自力で生活したい。現状は元気である。

《介護保険制度に関する意見】》(37件)

- ・制度の仕組みや利用方法が難しい。もっと説明・資料・情報提供してほしい。
- ・申請や手続きが煩雑で難しい。簡素化してほしい。
- ・平日以外も手続きできるようにしてほしい。
- ・制度の継続・充実させてほしい。
- ・気軽にできる相談窓口の充実を図ってほしい。

《介護保険料、介護保険サービス利用料に関する意見》(34件)

- ・介護保険料や利用料が高い。利用していない場合は返金・減免等してほしい。
- ・経済的支援を充実させてほしい。
- ・介護保険料に見合ったサービスが受けられるようにしてほしい。
- ・利用料金について納得がいかない、明確にしてほしい。

《訪問介護（ヘルパー）、ケアマネ、介護スタッフについての要望・不満》(9件)

- ・個々の能力・資質に差がある。資質の向上を図ってほしい。
- ・感謝している、安心できる。

《要介護認定に関する意見》(5件)

- ・認定基準に疑問がある。要介護度が低すぎる。
- ・認定調査の日程調整が困難である。
- ・認定基準を厳しくしてほしい。

《その他の意見》(11件)

---